

令和 6 年度 文化庁委託事業
伝統文化親子教室
子供たちの意識・行動に関する調査

報告書

目 次

1. 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査対象者.....	1
(3) 調査の方法.....	2
(4) 調査項目	2
(5) 調査の期間.....	2
(6) 調査票回収状況	2
(7) 調査結果の集計	2
(8) 調査対象者のプロフィール	3
1) 子供のプロフィール	3
① 子供の学年と性別	3
② 参加している「教室」の分野	4
③ 参加前の経験の有無.....	5
④ 参加年数（今年で何年目か）	5
2) 保護者のプロフィール.....	7
① 子供との続柄	7
② 子供の学年と性別	7
③ 子供が参加している「教室」の分野	8
④ 子供の参加年数.....	8
3) 指導者のプロフィール.....	9
① 指導者の年齢と性別.....	9
② 「教室」の分野.....	10
③ 指導者の「教室」での役割.....	10
④ 「教室」での指導経験年数.....	11
4) 指導者＜放課後子供教室＞のプロフィール	12
① 指導者＜放課後子供教室＞の年齢と性別	12
② ＜放課後子供教室＞の「教室」の分野.....	12
③ 指導者＜放課後子供教室＞の「教室」での役割	13
④ ＜放課後子供教室＞の「教室」での指導経験年数	14
2. 参加についての全体的な評価.....	15
(1) 参加についての総合評価	15
1) 子供からの評価	15
2) 保護者からの評価	16
(2) 習っていることへの意義.....	17
1) 子供の意義	17
2) 保護者の意義	18
(3) 継続への意欲・意向	19
1) 習い続けていくことについての子供たちの意欲	19
2) 習い続けさせたいかについての保護者の意向.....	20

3. 参加の動機・理由ときっかけ	22
(1) 参加した子供の立場から	22
1) 参加のきっかけ	22
2) 参加の動機	24
(2) 参加させた保護者の立場から	25
1) 教室についての情報源	25
2) 子供を参加させた理由	25
4. 参加による子供の変化	27
(1) 子供自身の認識	27
(2) 保護者の認識	31
(3) 指導者の認識	34
(4) 指導者＜放課後子供教室＞の認識	38
(5) 子供自身からみた変化と保護者、指導者からみた変化	41
5. 「伝統文化親子教室」事業の意義	42
(1) 保護者の立場から	42
1) 「文化伝統」についての保護者の考え	42
2) 保護者からみた「伝統文化親子教室」事業の意義	43
(2) 指導者の立場から	43
1) 指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の社会における役割	43
2) 指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の意義	45
3) 指導者からみた伝統文化親子教室」事業の【地域展開型】の認知	46
(3) 指導者＜放課後子供教室＞の立場から	47
1) 指導者からみたからみた＜放課後子供教室＞の社会における役割	47
2) 指導者からみたからみた＜放課後子供教室＞の意義	48
3) 指導者からみたからみた「伝統文化親子教室」事業と＜放課後子供教室＞の連携	48
4) 指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の【地域展開型】の認知	50
(4) 「伝統文化親子教室」事業の伝統文化の継承への効果	51
6. 付 録（調査票及び単純集計結果）	53
子供調査 単純集計結果	54
保護者調査 単純集計結果	62
指導者調査 単純集計結果	72
指導者調査＜放課後子供教室＞ 単純集計結果	84
7. 資 料	94
■ 調査実施計画	94

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

「伝統文化親子教室」事業は、「伝統文化・生活文化に関する活動を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する取組に対して支援を行うことにより、伝統文化・生活文化の継承・発展と、子供たちの豊かな人間性のかんよう（涵養）に資する」（令和6年度募集案内）ことを目的としている。

本調査は、この事業を通じて子供たちが計画的・継続的に伝統文化を体験・修得することで、子供たちの伝統文化への意識や行動がどのように変化したかを調査し、この事業の実施効果を把握しようとするものである。

(2) 調査対象者

本調査は、「伝統文化親子教室」（以下、「教室」あるいは「親子教室」という）に通っている子供を対象とする調査（子供調査）、その保護者を対象とする調査（保護者調査）、「教室」の指導者を対象とする調査（指導者調査）からなっている。なお、「教室」の対象学年は、原則、小学1年生から中学3年生としているが、本調査における調査の対象は、小学4年生以上に限っている。

また、「放課後子供教室」と連携した取組を実施している場合は、その取組の指導者を対象とする調査（指導者調査＜放課後子供教室＞）を同様に行った。

調査対象者の抽出は、「教室」の実施団体を基礎に行った。

基礎となる実施団体の抽出法は、以下の通りである。

【抽出の母体】 令和6年度親子教室実施団体のうち、事業の完了日が令和7年1月31日以降であり、事業の実施回数は、子供たちの変化が分かるように（複数分野にまたがる場合は合計）5回以上、かつ小学4年生～中学3年生が参加する実施団体。

【抽出の方法】 無作為抽出を基本とし、都道府県及び活動分野等が偏らないよう調整。
また、「放課後子供教室」にも参加する実施団体を考慮。

【抽出団体数】 500団体。

調査対象者は、上記の方法で抽出した実施団体から、更に抽出した。抽出方法は、以下の通りである。

【子供調査】 原則、参加者数が10名以上の規模で「教室」を行うようにしているため、当該「教室」に参加している子供（小学4年生～中学3年生）から1つの「教室」につき10名までを、当該「教室」に一任して抽出。

ただし、抽出にあたっては、特定の学年や性別に集中しないように依頼。

【保護者調査】 子供調査の対象となった子供の保護者（1団体当たり10名）を調査対象者として指定。

【指導者調査】 当該「教室」の指導者から2名までを、当該「教室」に一任して抽出。

【指導者調査＜放課後子供教室＞】

当該「教室」の指導者から2名までを、当該「教室」に一任して抽出。

(3) 調査の方法

調査の実施にあたっては、伝統文化親子教室事業事務局（以下、「事務局」という）から調査対象団体の代表者に調査票を送付し、3種類（「放課後子供教室」と連携した取組を実施している場合は4種類）の調査票の配布と回収を依頼した。【子供調査】に関しては、「教室」開催時に調査対象の子供に調査票を配布し、記入後に回収してもらった。【保護者調査】に関しては、子供を通して保護者に記入を依頼し、回収してもらった。【指導者調査】及び【指導者調査＜放課後子供教室＞】に関しては、各「教室」において指導者に記入してもらった。調査対象団体には、その後、3種類または4種類の調査票を取りまとめ、「伝統文化親子教室 子供たちの意識・行動に関する調査」返却先である株式会社KBCに送付してもらった。

(4) 調査項目

【子供調査】においては、「教室」への参加の実態、参加の動機、「教室」に参加したことによる変化の認識、参加したことについての評価に関わる事柄など、全16問の質問を行っている。【保護者調査】では、子供を「教室」に参加させた理由や「教室」についての情報源、「教室」への参加によって子供がどのように変化したかについての認識、子供を「教室」に参加させたことについての評価、「教室」の事業についての評価など、全部で16問の質問を行っている。【指導者調査】では、「教室」の所在地域の特性や開催場所・施設、参加している子供の人数や指導者の人数など、「教室」の実態に関わる質問、参加したことによる子供の変化に関わる質問、「教室」の役割やこの事業の意義などに関する質問など、全部で22問の質問を行っている。【指導者調査＜放課後子供教室＞】では、【指導者調査】とほぼ同内容の質問に加え、「伝統文化親子教室」事業が連携した結果の効果に関する質問など、全部で21問の質問を行っている。

なお、質問項目の全体については「資料」として付した「調査実施計画」を、質問の実際については「付録」の「調査票及び単純集計結果」を参照願いたい。

(5) 調査の期間

調査の期間は、以下の通り。

令和6年10月25日～令和6年12月6日

(6) 調査票回収状況

各調査の調査票配布状況は、以下の通り。

- ・【子供調査】のアンケート調査表の配布数は5,000枚（セット）
- ・【保護者調査】のアンケート調査表の配布数は5,000枚（セット）
- ・【指導者調査】のアンケート調査表の配布数は1,000枚（セット）
- ・【指導者調査＜放課後子供教室＞】のアンケート調査表の配布数は60枚（セット）

の配布を行った。

(7) 調査結果の集計

調査結果の集計は、「伝統文化親子教室 子供たちの意識・行動に関する調査」返却係である株式会社KBCが行った。集計は、単純集計及び基本となるクロス集計に加えて、適宜、分析に必要な集計を行った。基本となるクロス集計において表側（左側の項目）としたのは、以下の変数である。

【子 供 調 査】 学年、性別、参加している「教室」の分野

【保護者調査】 子供の学年、子供の性別、子供が参加している「教室」の分野

【指導者調査】 「教室」の分野、指導者の年齢、指導者の性別

【指導者調査＜放課後子供教室＞】 「教室」の分野、指導者の年齢、指導者の性別

なお、本「報告書」では、単純集計の結果を中心に、必要に応じてクロス集計等の結果に言及する形で結果を報告する。単純集計の結果は「付録」に付した。クロス集計等の結果については、紙幅の関係で掲載を省略した。

本「報告書」に掲載の図表において、比率(%)の合計が、99.9%であったり、100.1%であったり、100.0%とならないケースが存在する。これは比率の計算において小数第2位を四捨五入しているためである。

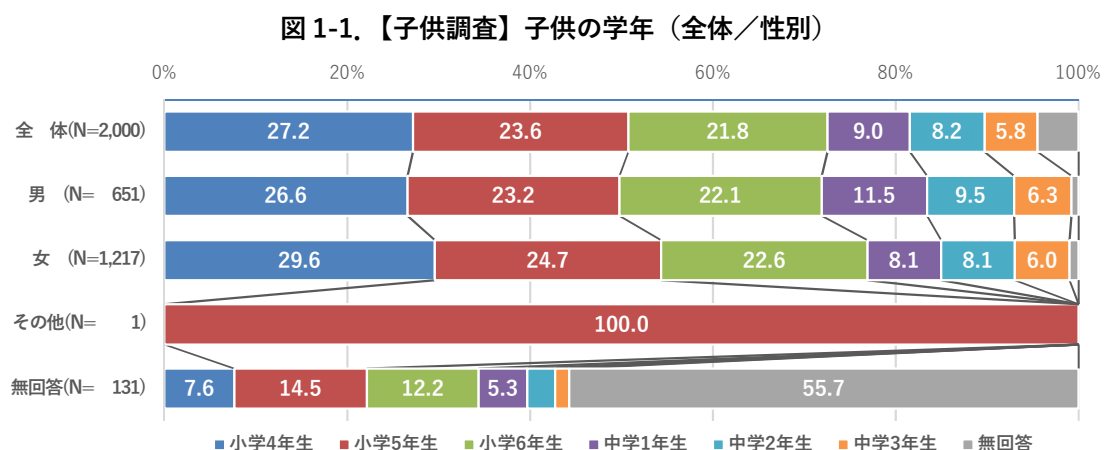
(8) 調査対象者のプロフィール

調査対象者のプロフィールは、次のようになっている。

1) 子供のプロフィール

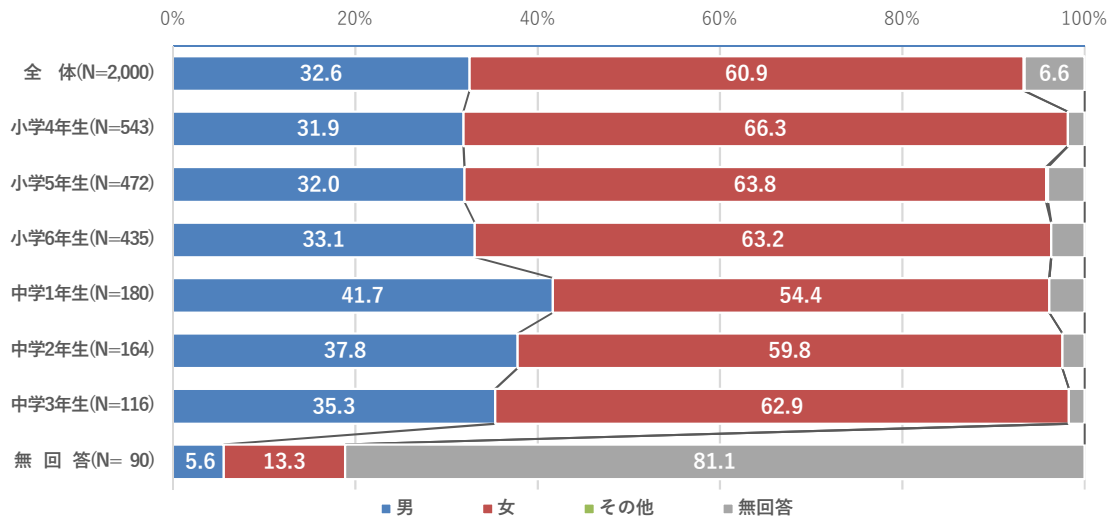
① 子供の学年と性別

調査対象の子供のうち、7割強（72.6%）が小学生、2割強（23.0%）が中学生である。子供の学年別の割合は、小学生では各学年2割を超えているが、中学生では各学年1割以下になっている。性別をみると、男子に比べ女子の方が小学生の比率がやや高い。（図1-1）



調査対象の子供の6割は女子である。学年ごとに性別をみると、全ての学年において女子の割合が男子を上回っている。（図1-2）

図 1-2. 【子供調査】子供の性別（全体／学年別）



② 参加している「教室」の分野

「教室」の分野では、「茶道、華道」(18.2%)に参加する子供の割合が高く、次いで、「百人一首、カルタ、囲碁、将棋」(11.4%)「邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など」(9.7%)の順に高くなっている。(表 1-1)

学年別にみると、小学生に比べて中学生の参加率が高いのは「神楽、獅子舞、お囃子」「邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など」である。一方、中学生に比べて小学生の参加率が高いのは「茶道、華道」「百人一首、カルタ、囲碁、将棋」である。

性別にみると、女子に比べて男子の参加率が高いのは、「神楽、獅子舞、お囃子」「百人一首、カルタ、囲碁、将棋」「武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など」である。逆に男子に比べて女子の参加率が高いのは、「茶道、華道」「邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など」「日本舞踊、邦舞」である。

表 1-1. 【子供調査】参加している「教室」の分野（全体／学年／性別）

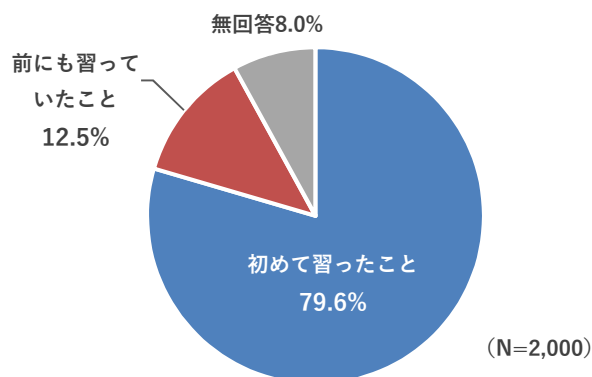
(%)

教室の分野	合計 N=2,000	学 年							性 別			
		小学 4年生 N=543	小学 5年生 N=472	小学 6年生 N=435	中学 1年生 N=180	中学 2年生 N=164	中学 3年生 N=116	無回答 N= 90	男子 N=651	女子 N=127	その他 N= 1	無回答 N=131
神楽、獅子舞、お囃子	8.9	7.0	6.1	8.9	12.8	13.4	20.4	2.2	14.7	6.0	0.0	4.4
民謡、民舞、民俗芸能	3.9	5.0	2.8	5.3	2.8	2.5	2.9	2.2	3.4	4.4	0.0	1.5
和太鼓	6.9	4.5	7.0	7.0	10.4	11.4	10.9	0.0	8.8	6.4	0.0	2.2
祭り行事	4.7	4.3	4.2	4.7	6.6	5.9	6.6	0.0	8.1	3.0	0.0	2.9
能楽	2.7	2.5	1.8	2.8	3.8	5.9	2.2	0.0	2.8	2.9	33.3	0.0
邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など	9.7	6.3	8.1	11.6	12.3	15.8	14.6	5.5	6.4	11.0	0.0	15.3
日本舞踊、邦舞	6.4	7.1	6.1	4.7	4.7	9.9	8.8	5.5	1.5	9.5	0.0	2.9
伝統工芸：昔から伝えられてきた物づくり	1.9	2.0	2.8	2.1	0.9	1.5	1.5	0.0	1.8	2.2	0.0	0.0
百人一首、カルタ、囲碁、将棋	11.4	13.2	11.2	11.7	12.8	8.4	10.2	3.3	18.7	7.9	0.0	5.8
茶道、華道	18.2	23.2	22.6	18.2	15.6	8.9	6.6	1.1	7.3	25.6	33.3	4.4
武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など	7.8	7.4	7.7	8.7	8.5	10.4	7.3	0.0	14.1	4.8	0.0	2.9
書道	3.3	4.8	5.0	2.5	2.8	0.0	0.7	0.0	2.6	3.6	33.3	2.9
着物の着付けや作法	2.8	3.6	2.9	2.7	1.9	2.5	2.2	1.1	1.3	3.8	0.0	1.5
昔の遊びや仕事(おりがみ、お手玉、さかなとり、田植えなど)	0.7	1.4	0.9	0.4	0.0	0.0	0.7	0.0	0.9	0.7	0.0	0.0
食文化、郷土料理	0.8	0.9	1.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.8	0.0	1.5
その他	6.5	6.5	9.2	7.6	3.3	3.5	4.4	2.2	6.9	6.9	0.0	0.7
無回答	3.2	0.3	0.6	0.0	0.5	0.0	0.0	76.9	0.1	0.4	0.0	51.1

③ 参加前の経験の有無

「教室」で体験する分野について、そこに「通うようになってはじめて習った」という子供の割合が、約 8 割 (79.6%) を占め、「通う前にも習っていた」という子供の割合は 12.5%に過ぎなかった。(図 1-3)

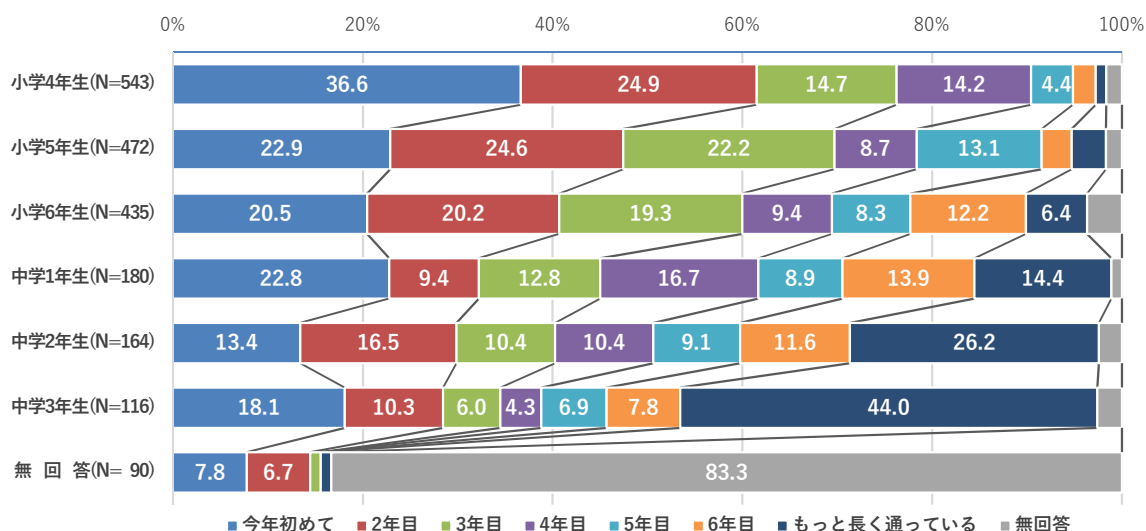
図 1-3. 【子供調査】参加前の経験の有無（全体）



④ 参加年数（今年で何年目か）

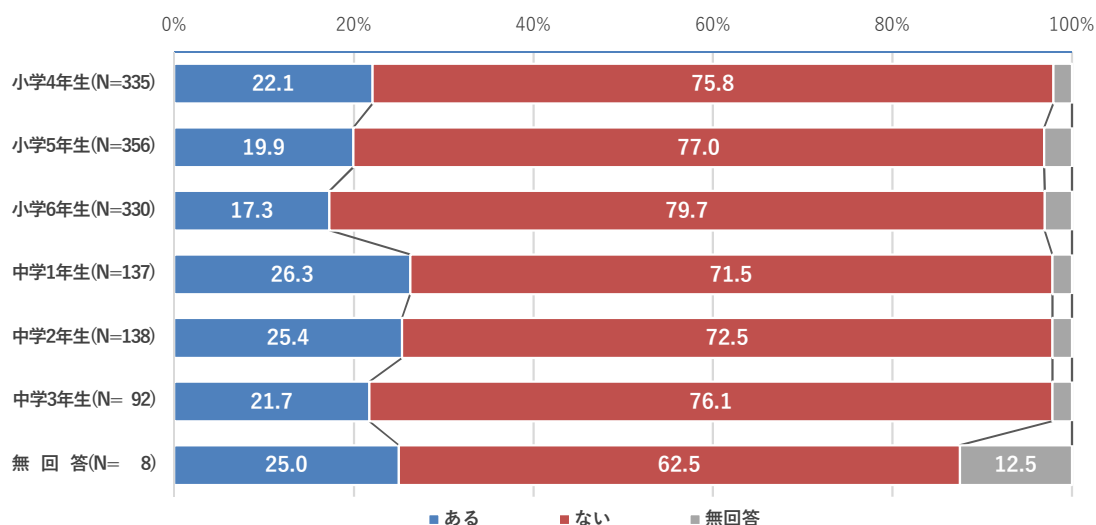
教室の参加年数は学年が上になるほど「もっと長く通っている」の割合が高くなっており、学年が上になるほど「教室」に長く参加していることが分かる。「教室」にはじめて参加するのは、低学年ほど多くなる。中学 3 年生では 6 年以上（「6 年目」及び「もっと長く通っている」）参加している子供の割合が約 5 割である。(図 1-4-1)

図 1-4-1. 【子供調査】参加年数（今年で何年目か）（全体／学年別）



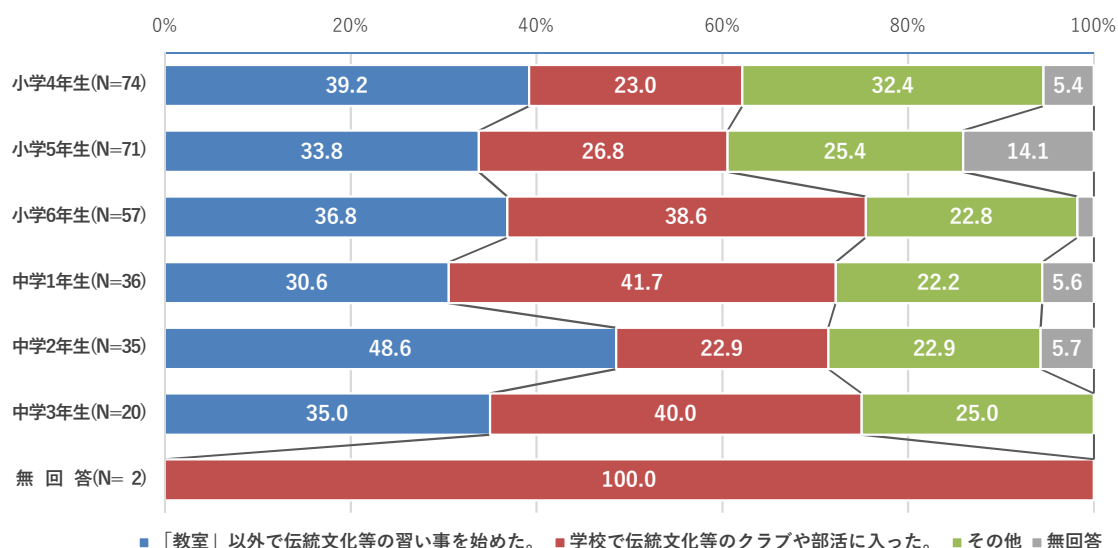
参加2年目以降、教室で習ったことをきっかけに伝統文化等の活動を行ったことがあるのは、どの学年においても、「ない」の割合が高い。また学年での割合の差も大きくは変わらない。(図 1-4-2)

図 1-4-2. 【子供調査】参加2年目以降で伝統文化等にかかわる活動を行ったか？（全体／学年別）



具体的な活動については、学年によりバラつきはあるものの、中学生以上では7割以上が、新たな習い事や、学校のクラブや部活で活動している。その他の回答では、「学校の文化祭」「地域のお祭り」「地域のイベント」など様々な回答があった。(図 1-4-3)

図 1-4-3. 【子供調査】伝統文化等にかかわる具体的な活動（全体／学年別）

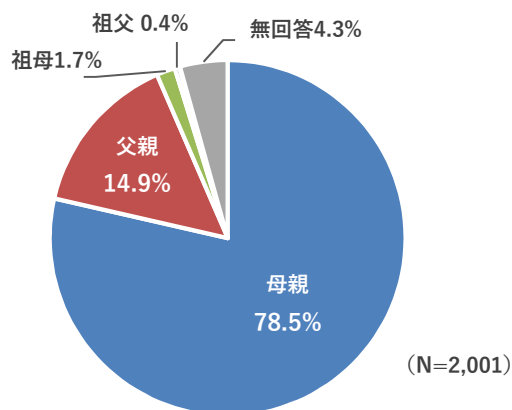


2) 保護者のプロフィール

① 子供との続柄

【保護者調査】の回答者は、約8割（78.5%）が母親であった。父親が回答した割合は全体の14.9%を占めている。祖母や祖父が回答しているケースは、ごくわずかである。（図1-5）

図1-5. 【保護者調査】子供との続柄（全体）



② 子供の学年と性別

【保護者調査】で尋ねた「子供の学年」（図1-6）、「子供の性別」（図1-7）の結果については、【保護者調査】の回答者が【子供調査】の対象者の保護者であることから【子供調査】の結果とほぼ同一である。

図1-6. 【保護者調査】子供の学年（全体／性別）

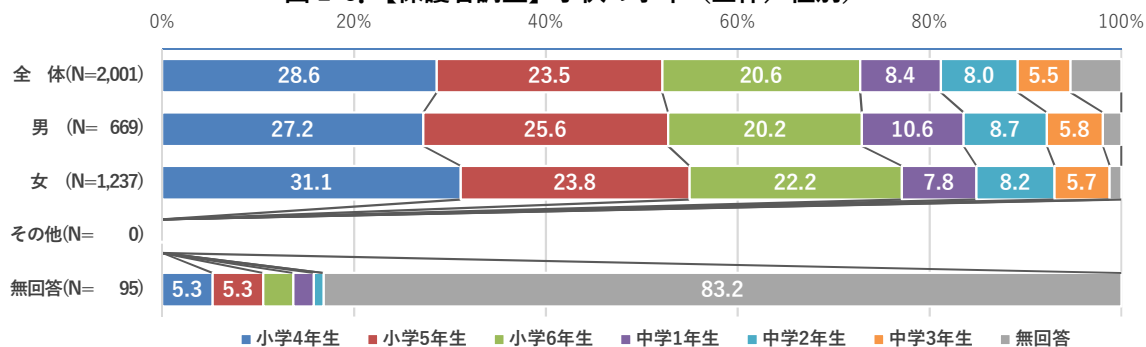
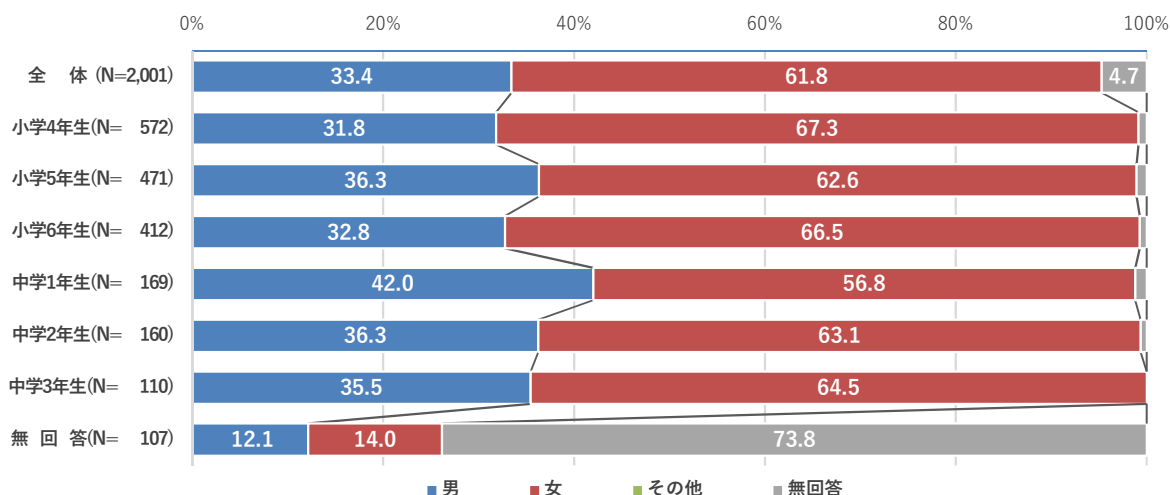


図1-7. 【保護者調査】子供の性別（全体／学年別）



③ 子供が参加している「教室」の分野

【保護者調査】で尋ねた「子供が参加している「教室」の分野」（表 1-2）も、【保護者調査】の回答者が【子供調査】の対象者の保護者であることから【子供調査】の結果とほぼ同一である。

表 1-2. 【保護者調査】子供が参加している「教室」の分野（全体／学年／性別）

(%)

教室の分野	合計 N=2,001	学 年							性 別			
		小学 4 年生 N=572	小学 5 年生 N=471	小学 6 年生 N=412	中学 1 年生 N=169	中学 2 年生 N=160	中学 3 年生 N=110	無回答 N=107	男子 N=669	女子 N=1,237	その他 N= 0	無回答 N= 95
神楽、獅子舞、お囃子	8.6	6.3	7.4	7.9	13.1	14.5	16.5	4.3	15.5	5.2	0.0	3.0
民謡、民舞、民俗芸能	4.1	5.1	2.5	5.9	4.2	3.0	3.3	0.9	3.3	4.6	0.0	2.0
和太鼓	6.9	5.2	6.8	6.3	7.9	12.5	14.9	0.0	8.3	6.5	0.0	1.0
祭り行事	4.2	3.9	4.9	3.8	4.7	5.0	5.0	1.7	7.3	2.7	0.0	1.0
能楽	2.4	2.2	1.7	2.2	4.2	5.0	2.5	0.0	1.9	2.8	0.0	0.0
邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など	8.2	4.8	8.9	9.5	9.4	14.0	11.6	2.6	5.5	9.9	0.0	4.0
日本舞踊、邦舞	6.7	6.6	6.8	5.1	5.2	12.0	9.9	3.4	2.1	9.6	0.0	1.0
伝統工芸：昔から伝えられてきた物づくり	1.9	2.3	1.9	2.4	1.0	1.5	1.7	0.0	1.7	2.2	0.0	0.0
百人一首、カルタ、囲碁、将棋	10.9	11.7	10.4	11.9	12.6	7.5	9.9	7.7	17.3	7.8	0.0	4.0
茶道、華道	18.2	24.8	20.9	17.0	18.3	7.5	7.4	4.3	8.7	24.7	0.0	0.0
武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など	7.8	7.9	8.7	8.3	7.9	7.0	9.1	0.9	14.2	4.6	0.0	2.0
書道	2.6	3.7	3.4	2.2	1.0	0.0	0.8	3.4	2.4	2.9	0.0	0.0
着物の着付けや作法	4.3	5.1	3.8	4.7	3.1	6.0	3.3	0.9	1.4	6.1	0.0	1.0
昔の遊びや仕事(おりがみ、お手玉、さかなとり、田植えなど)	0.6	0.9	0.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.8	0.6	0.0	0.0
食文化、郷土料理	0.8	0.9	1.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	0.8	0.0	0.0
その他	6.5	6.9	7.9	8.3	3.7	3.0	4.1	3.4	6.8	6.7	0.0	1.0
無回答	5.3	1.7	2.5	2.4	3.7	1.5	0.0	65.0	1.8	2.0	0.0	79.8

④ 子供の参加年数

【保護者調査】で尋ねた「子供の参加年数」（図 1-8-1）も、【保護者調査】の回答者が【子供調査】の対象者の保護者であることから【子供調査】の結果とほぼ同一である。

教室を習ったきっかけで、伝統文化等にかかわった活動についても同様（図 1-8-2、1-8-3）

図 1-8-1. 【保護者調査】子供の参加年数（今年で何年目か）（全体／学年別）

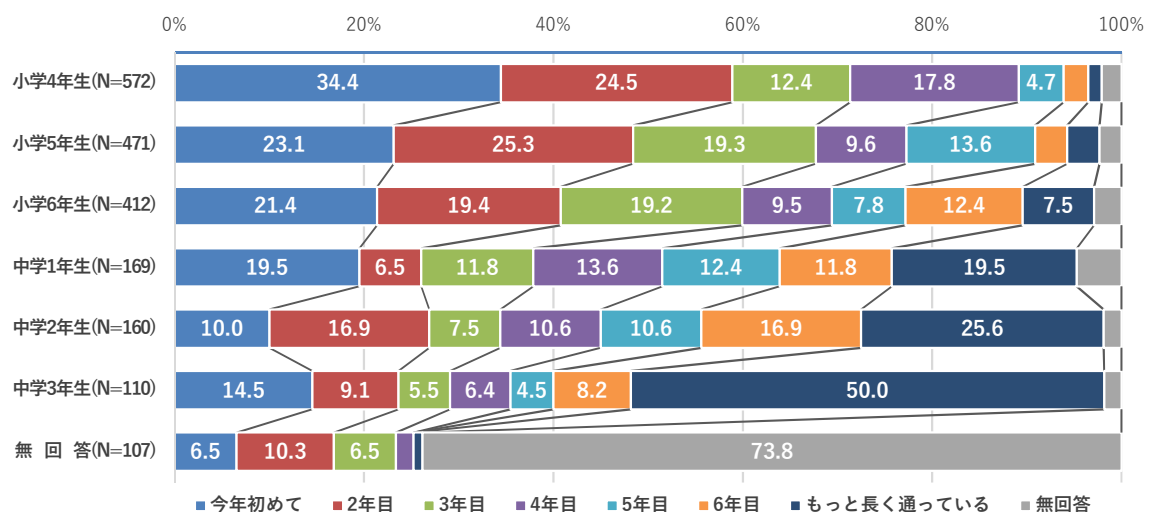


図 1-8-2. 【保護者調査】参加 2 年目以降で伝統文化等にかかわる活動を行ったか？（全体／学年別）

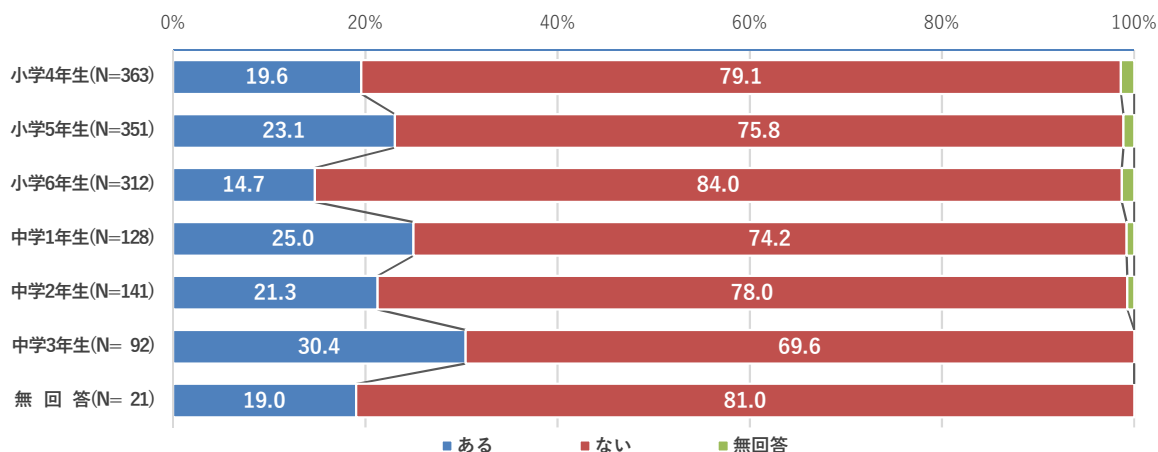
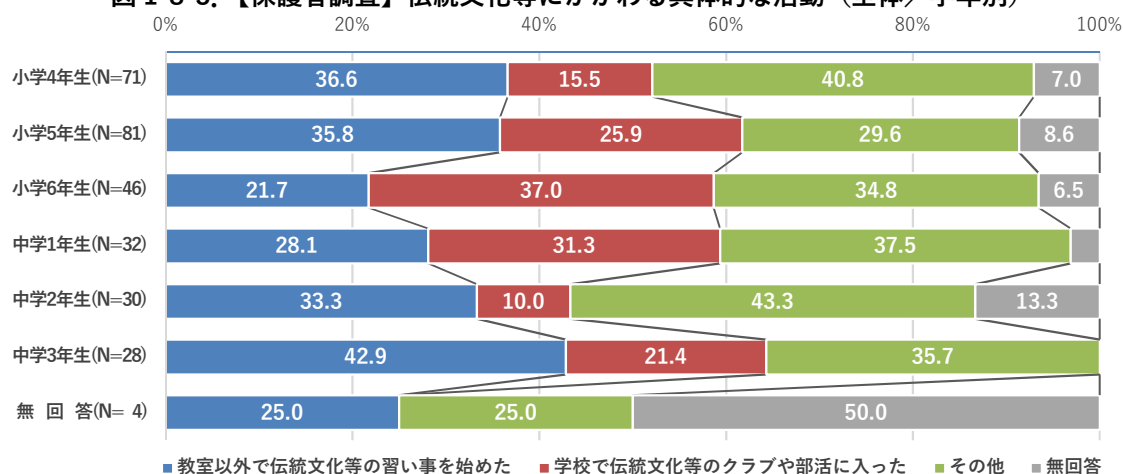


図 1-8-3. 【保護者調査】伝統文化等にかかわる具体的な活動（全体／学年別）



3) 指導者のプロフィール

① 指導者の年齢と性別

【指導者調査】における調査対象の指導者の年齢は、「60 歳代（60 歳～69 歳）」（21.9%）「70 歳代（70 歳～79 歳）」（21.7%）の順に多く、この二つで全体の約 4 割（43.6%）を占めている。次いで多いのは、「50 歳代（50 歳～59 歳）」（19.0%）「40 歳代（40 歳～49 歳）」（15.2%）である。指導者の年齢を男女別にみると、男性の指導者は 40 歳代、50 歳代・70 歳代の順に多く、女性の指導者は 60 歳代、70 歳代、50 歳代の順に多い。（表 1-3）

性別（表 1-4）の割合は、男性（37.9%）、女性（59.4%）で、女性の指導者の割合が多い。年齢別にみると、10 歳代から 30 歳代まで男性比率が高く、40 歳代以上は女性比率が高い。

表 1-3. 【指導者調査】指導者の年齢（全体／性別）

(%)

	19 歳以下	20 歳～29 歳	30 歳～39 歳	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳～79 歳	80 歳以上	無回答
全 体 (N= 525)	0.4	4.8	6.7	15.2	19.0	21.9	21.7	8.2	2.1
男 性 (N= 199)	1.0	6.5	12.1	19.1	18.1	17.1	18.1	8.0	0.0
女 性 (N= 312)	0.0	3.5	3.2	13.1	20.5	25.6	25.0	8.7	0.3
そ の 他 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無 回 答 (N= 14)	0.0	7.1	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	71.4

表 1-4. 【指導者調査】指導者の性別（全体／年齢別）

（％）

	男 性	女 性	その他	無回答
全 体（N= 525）	37.9	59.4	0.0	2.7
19 歳以下（N= 2）	100.0	0.0	0.0	0.0
20 歳～29 歳（N= 25）	52.0	44.0	0.0	4.0
30 歳～39 歳（N= 35）	68.6	28.6	0.0	2.9
40 歳～49 歳（N= 80）	47.5	51.3	0.0	1.3
50 歳～59 歳（N= 100）	36.0	64.0	0.0	0.0
60 歳～69 歳（N= 115）	29.6	69.6	0.0	0.9
70 歳～79 歳（N= 114）	31.6	68.4	0.0	0.0
80 歳以上（N= 43）	37.2	62.8	0.0	0.0
無 回 答（N= 11）	0.0	9.1	0.0	90.9

② 「教室」の分野

【指導者調査】における回答者が指導している「教室」の分野構成は、「教室」単位で調査を実施していることから、【子供調査】【保護者調査】と似通っている。

「茶道、華道」（22.1%）、「百人一首、カルタ、囲碁、将棋」（11.2%）、「邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など」（9.7%）の順に多く、この三つで全体の約 4 割を占めている。（表 1-5）

表 1-5. 【指導者調査】指導している「教室」の分野

（％）

教室の分野	合 計 N= 525
神楽、獅子舞、お囃子	8.3
民謡、民舞、民俗芸能	4.5
和太鼓	6.6
祭り行事	4.3
能楽	3.3
邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など	9.7
日本舞踊、邦舞	6.4
伝統工芸：昔から伝えられてきた物づくり	1.9
百人一首、カルタ、囲碁、将棋	11.2
茶道、華道	22.1
武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など	6.7
書道	2.2
着物の着付けや作法	5.2
昔の遊びや仕事（おりがみ、お手玉、さかなとり、田植えなど）	0.2
食文化、郷土料理	0.9
その他	6.0
無回答	0.5

③ 指導者の「教室」での役割

指導者の「教室」での役割についての回答は、「子供に直接指導」している指導者が全体の 約 8 割（78.3%）を占め、「指導の補助」をしている指導者は 約 1 割（11.2%）、「「教室」を開催するための準備」をしている指導者の割合はわずか（4.0%）であった。（図 1-9）

年齢別に役割をみると、「子供に直接指導」する役割を担う指導者の割合が多いのは、「19 歳以下」（100.0%）、「80 歳以上」（86.0%）、「50 歳代（50 歳～59 歳）」（84.0%）と年齢のばらつきがあった。性別では、「子供に直接指導」する役割を担う指導者の割合は男性（84.4%）、女性（76.3%）で、女性に比べて男性が高くなっている。（表 1-6）

図 1-9. 【指導者調査】指導者の「教室」での役割（全体）

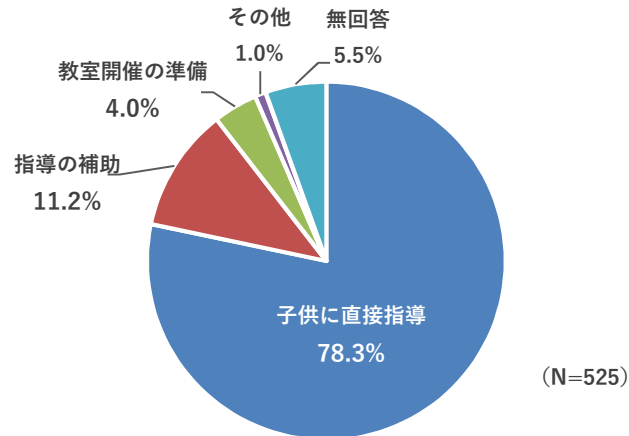


表 1-6. 【指導者調査】指導者の「教室」での役割（全体／年齢／性別）

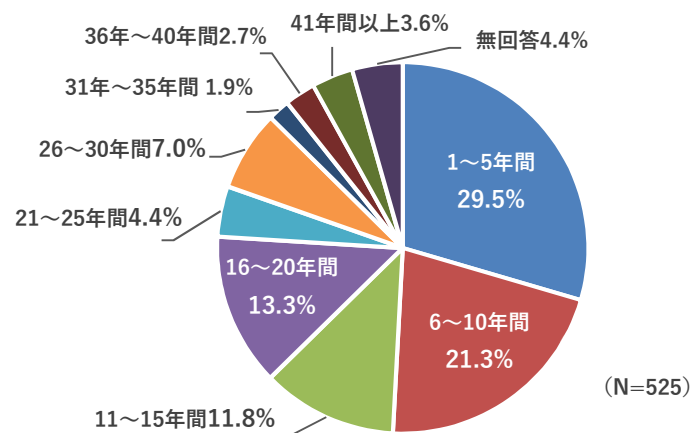
(%)

		子供に 直接指導	指導の補助	「教室」 開催の準備	その他	無回答
全 体 (N= 525)		78.3	11.2	4.2	1.0	5.5
指導者の年齢	19 歳 以下 (N= 2)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20 歳～29 歳 (N= 25)	80.0	16.0	0.0	4.0	0.0
	30 歳～39 歳 (N= 35)	82.9	11.4	0.0	2.9	2.9
	40 歳～49 歳 (N= 80)	77.5	13.8	2.5	2.5	3.8
	50 歳～59 歳 (N= 100)	84.0	13.0	2.0	0.0	1.0
	60 歳～69 歳 (N= 115)	74.8	13.0	5.2	0.0	7.0
	70 歳～79 歳 (N= 114)	78.1	8.8	7.9	0.0	5.3
	80 歳 以上 (N= 43)	86.0	4.7	4.7	2.3	2.3
無 回 答 (N= 11)		18.2	0.0	0.0	0.0	81.8
性別	男 性 (N= 119)	84.4	9.5	3.0	2.0	1.0
	女 性 (N= 312)	76.3	12.8	4.8	0.3	5.8
	そ の 他 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 14)	35.7	0.0	0.0	0.0	64.3

④ 「教室」での指導経験年数

「教室」での指導経験年数を一定年数（5 年）ごとにまとめて集計した結果が図 1-10 である。指導経験年数別に見ると「1 年～5 年間」が 29.5%、「6 年～10 年間」が 21.3%を占めており、全体の 5 割以上（50.8%）が指導経験年数 10 年間以下の指導者である。平均指導経験年数は 13.93 年であった。平均指導経験年数については、令和 4 年度は 13.23 年、令和 5 年は 13.63 年と、この 3 年間での大きな変化はない。

図 1-10. 【指導者調査】指導者の「教室」での指導経験年数（全体）



4) 指導者＜放課後子供教室＞のプロフィール

① 指導者＜放課後子供教室＞の年齢と性別

【指導者調査＜放課後子供教室＞】の調査対象の指導者の年齢は、全体では「50 歳代（50 歳～59 歳）」（46.7%）「70 歳代（70 歳～79 歳）」（20.0%）の順に多く、この二つで全体の 6 割以上（66.7%）を占めている。次いで多いのは、「40 歳代（40 歳～49 歳）」（16.7%）「60 歳代（60 歳～69 歳）」（10.0%）で、年代が高いほど割合が多く、年齢が下がるにしたがって少なくなる傾向がみられる。（表 1-7）

指導者の年齢を男女別にみると、男性・女性ともに指導者は、50 歳代が比較的多く、70 歳代・40 歳代が続く。（表 1-7）

性別では、男性（36.7%）、女性（63.3%）で、女性の指導者の割合が高い。（表 1-8）

表 1-7. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】指導者の年齢（全体／性別）

(%)

	19 歳以下	20 歳～ 29 歳	30 歳～ 39 歳	40 歳～ 49 歳	50 歳～ 59 歳	60 歳～ 69 歳	70 歳～ 79 歳	80 歳以上	無回答
全 体 (N= 30)	0.0	0.0	3.3	16.7	46.7	10.0	20.0	3.3	0.0
男 性 (N= 11)	0.0	0.0	0.0	18.2	45.5	9.1	18.2	9.1	0.0
女 性 (N= 19)	0.0	0.0	5.3	15.8	47.4	10.5	21.1	0.0	0.0
その他 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

表 1-8. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】指導者の性別（全体／年齢別）

(%)

	男 性	女 性	その他	無回答
全 体 (N= 30)	36.7	63.3	0.0	0.0
19 歳 以下 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0
20 歳～29 歳 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0
30 歳～39 歳 (N= 1)	0.0	100.0	0.0	0.0
40 歳～49 歳 (N= 5)	40.0	60.0	0.0	0.0
50 歳～59 歳 (N= 14)	35.7	64.3	0.0	0.0
60 歳～69 歳 (N= 3)	33.3	66.7	0.0	0.0
70 歳～79 歳 (N= 6)	33.3	66.7	0.0	0.0
80 歳 以上 (N= 1)	100.0	0.0	0.0	0.0
無 回 答 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0

② ＜放課後子供教室＞の「教室」の分野

【指導者調査＜放課後子供教室＞】における回答者が指導している「教室」の分野構成は、先述の【指導者調査】における分野構成と同様、「茶道、華道」が最も多く、全体の 4 分の 1（28.6%）を占めている。次いで、「百人一首、カルタ、囲碁、将棋」（17.1%）「着物の着付けや作法」（11.4%）が続いている。（表 1-9）

表 1-9. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】 指導している「教室」の分野

(%)

教室の分野	合 計 N=30
神楽、獅子舞、お囃子	0.0
民謡、民舞、民俗芸能	0.0
和太鼓	5.7
祭り行事	0.0
能楽	0.0
邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など	8.6
日本舞踊、邦舞	5.7
伝統工芸：昔から伝えられてきた物づくり	0.0
百人一首、カルタ、囲碁、将棋	17.1
茶道、華道	28.6
武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など	5.7
書道	0.0
着物の着付けや作法	11.4
昔の遊びや仕事（おりがみ、お手玉、さかなとり、田植えなど）	0.0
食文化、郷土料理	0.0
その他	17.1
無回答	0.0

③ 指導者＜放課後子供教室＞の「教室」での役割

指導者＜放課後子供教室＞の「教室」での役割としては、「子供に直接指導」している指導者が全体の約9割（86.7%）を占め、「指導の補助」をしている指導者が13.3%だった。（図 1-11）

年齢別に役割をみると、「子供に直接指導」する役割を担う指導者の割合が多いのは、指導者人数の多い「40 歳代（40 歳～49 歳）」「60 歳代（60 歳～69 歳）」「70 歳代（70 歳～79 歳）」「80 歳以上」で100.0%であった。（表 1-10）

性別では、「子供に直接指導」する役割を担う指導者の割合は、男性（100.0%）の方が女性（78.9%）より高く、「指導の補助」をする役割を担う指導者は、女性のみ（21.1%）であり、男性はみられなかった。（表 1-10）

図 1-11. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

指導者の「教室」での役割（全体）

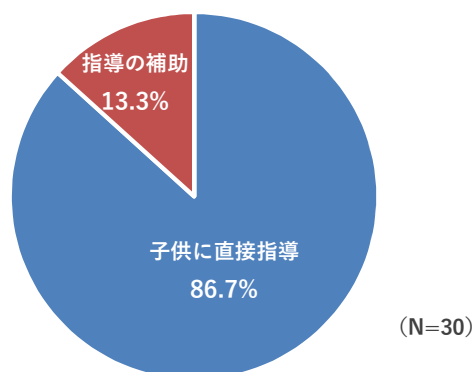


表 1-10. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

指導者の「教室」での役割（全体／年齢／性別）

(%)

		子供に 直接指導	指導の補助	「教室」 開催の準備	その他	無回答
全 体 (N= 30)		86.7	13.3	0.0	0.0	0.0
指導者の年齢	19 歳 以下 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20 歳～29 歳 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30 歳～39 歳 (N= 1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	40 歳～49 歳 (N= 5)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50 歳～59 歳 (N= 14)	78.6	21.4	0.0	0.0	0.0
	60 歳～69 歳 (N= 3)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70 歳～79 歳 (N= 6)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80 歳 以上 (N= 1)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男 性 (N= 11)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女 性 (N= 19)	78.9	21.1	0.0	0.0	0.0
	そ の 他 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

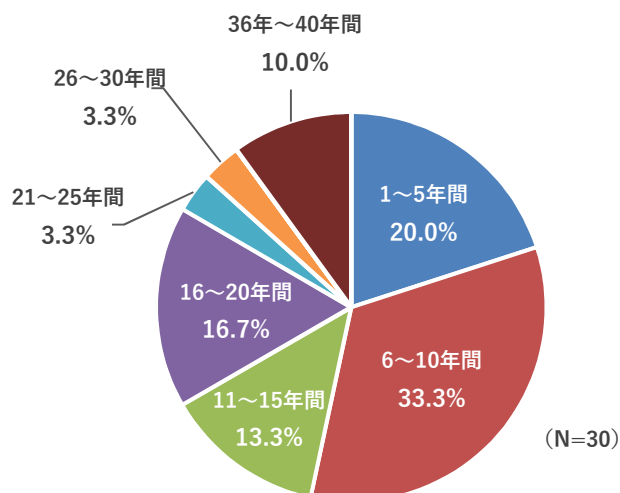
④ ＜放課後子供教室＞の「教室」での指導経験年数

「教室」での指導経験年数を一定年数（5 年）ごとにまとめて集計した結果が図 1-12 である。

指導経験年数が「1 年～5 年間」が全体の 2 割（20.0%）、「6 年～10 年間」が全体の約 3 割（33.3%）を占め、全体の 5 割以上（53.3%）が指導経験 10 年間以下の指導者であった。平均指導経験年数は 13.97 年となっている。

図 1-12. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

指導者の「教室」での指導経験年数（全体）



2. 参加についての全体的な評価

「教室」に参加したことについての全体的な評価を、「参加についての総合評価」「習っていることの意義」「継続への意欲・意向」の3つの側面から行っていく。

(1) 参加についての総合評価

ここでは、「教室」に参加したことについての総合評価を、子供の立場と保護者の立場から分析する。

1) 子供からの評価

「教室」に参加したことに関して、子供側の評価を見ていく。

「教室」に参加したことに対する子供の評価を図 2-1 に示している。「教室」に通った子供のうち、全体の6割(61.5%)が「とても、よかったと思う」と回答し、3割(30.6%)が「まあ、よかったと思う」と回答している。両方をあわせると、ほぼ全ての子供が、「教室」に通ったことを「よかった」と評価しており、「教室」に参加していることへの子供の評価は、非常に高いと言える。

学年別による分析では、全ての学年において、「とても、よかったと思う」子供の割合が6割を超えており、特に中学3年生の評価が高い。性別では、男子(59.8%)も、女子(66.7%)も約6割が「とても、よかったと思う」と回答し、なかでも男子に比べて女子の評価が高くなっている。(表2-1)

図 2-1. 【子供調査】参加についての総合評価（通ってよかったか）（全体）

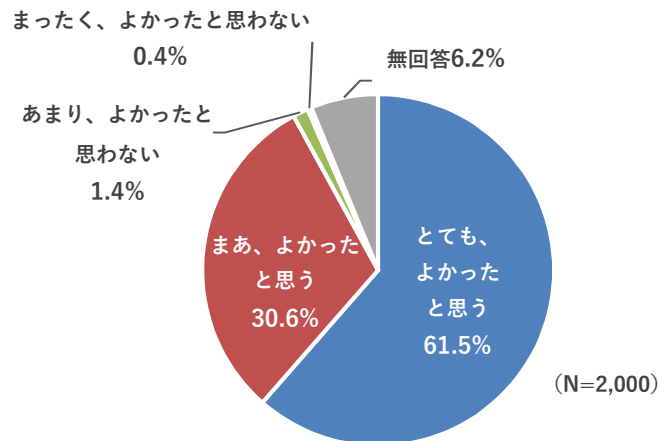


表 2-1. 【子供調査】参加についての総合評価（通ってよかったか）（全体／学年／性別）

(%)

		とても、よかった と思う	まあ、よかった と思う	あまり、よかった と思わない	まったく、よかった と思わない	無回答
全 体 (N= 2,000)		61.5	30.6	1.4	0.4	6.2
学 年	小学 4 年生 (N= 543)	65.6	29.7	1.3	0.4	3.1
	小学 5 年生 (N= 472)	60.8	33.7	2.3	0.4	2.8
	小学 6 年生 (N= 435)	61.4	34.5	1.6	0.2	2.3
	中学 1 年生 (N= 180)	64.4	31.1	0.6	1.7	2.2
	中学 2 年生 (N= 164)	65.9	31.1	1.2	0.0	1.8
	中学 3 年生 (N= 116)	70.7	26.7	0.0	0.0	2.6
	無 回 答 (N= 90)	14.4	4.4	0.0	0.0	81.1
性 別	男 子 (N= 651)	59.8	34.9	1.5	0.5	3.4
	女 子 (N= 1,217)	66.7	29.6	1.2	0.3	2.1
	そ の 他 (N= 1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 131)	21.4	18.3	2.3	0.8	57.3

2) 保護者からの評価

「教室」に参加させることに関して、保護者の評価を見ていく。

「教室」に参加したことに対する保護者の評価を図 2-2 に示している。子供を「教室」に通わせていることについて、全体の 8 割 (79.7%) が「とても、よかったと思う」と回答し、15.1%が「まあ、よかったと思う」と回答している。両方をあわせると、ほぼ全ての保護者が、子供を「教室」に通わせたことを肯定的に評価しており、「教室」への参加に対する保護者の満足度は非常に高いことがうかがえる。

子供の学年別による分析では、「とても、よかったと思う」保護者の割合が小学 4 年生を除いて 8 割を超えており、特に中学 3 年生の保護者の評価が高い (88.2%)。子供の性別による比較では、男子、女子ともに「とても、よかったと思う」保護者の割合が 8 割を超えているが、男子に比べて女子の保護者の評価のほうがやや高くなっている。(表 2-2)

図 2-2. 【保護者調査】参加させたことについての総合評価（通わせてよかったか）（全体）

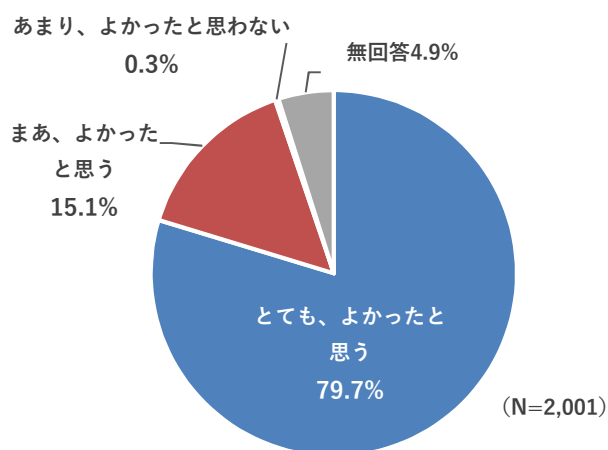


表 2-2. 【保護者調査】参加させたことについての総合評価
（通わせてよかったか）（全体／学年／性別）

(%)

		とても、よかった と思う	まあ、よかった と思う	あまり、よかった と思わない	まったく、よかった と思わない	無回答
全 体 (N=2,001)		79.7	15.1	0.3	0.0	4.9
学 年	小学 4 年生 (N= 572)	79.7	18.2	0.5	0.0	1.6
	小学 5 年生 (N= 471)	83.7	14.9	0.0	0.0	1.5
	小学 6 年生 (N= 412)	83.3	15.5	0.2	0.0	1.0
	中学 1 年生 (N= 169)	85.2	14.8	0.0	0.0	0.0
	中学 2 年生 (N= 160)	83.8	14.4	0.6	0.0	1.3
	中学 3 年生 (N= 110)	88.2	11.8	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 107)	24.3	3.7	0.9	0.0	71.0
性 別	男 子 (N= 669)	81.9	17.0	0.3	0.0	0.7
	女 子 (N=1,237)	83.3	15.0	0.3	0.0	1.4
	そ の 他 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 95)	16.8	3.2	0.0	0.0	80.0

(2) 習っていることへの意義

ここでは、「教室」で習っていることの意義を、子供の立場と保護者の立場から分析していく。

1) 子供の意義

子供たちは、「教室」で習うことの意義をどれくらい感じているのであろうか。「生活のなかで役立つか」という観点から、「教室」で習っていることの意義を探っていくことにする。(図2-3)

図2-3に示されているように、3割弱(27.3%)の子供が、「教室」で習っていることは生活のなかで「とても、役に立ちそう」と回答し、5割以上(55.7%)の子供が「まあ、役に立ちそう」と回答している。両方をあわせると、8割以上(83.0%)の子供が、生活のなかで「役立つ」と回答しており、多くの子供が「教室」で習ったことの意義を実感していることが分かる。

学年別による分析では、「とても、役に立ちそう」と回答する者の割合が、すべての学年で25%を超えている。性別では、男子に比べて女子の評価のほうがやや高くなっている。(表2-3)

図2-3.【子供調査】習っていることの意義（生活に役立つか）（全体）

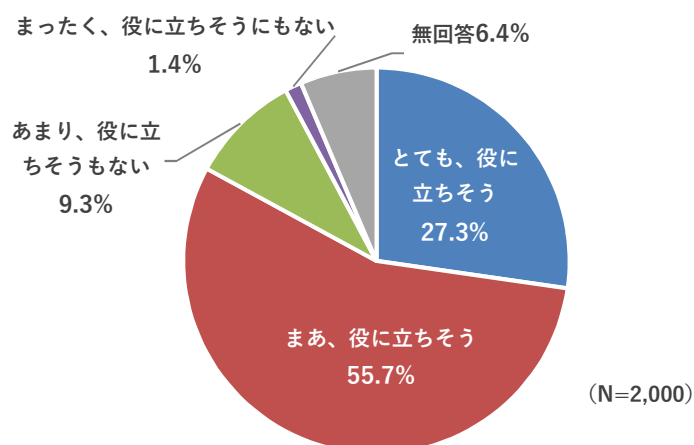


表2-3.【子供調査】習っていることの意義（生活に役立つか）（全体／学年／性別）

(%)

		とても、役に立ちそう	まあ、役に立ちそう	あまり、役に立ちそうもない	まったく、役に立ちそうもない	無回答
全 体 (N=2,000)		27.3	55.7	9.3	1.4	6.4
学 年	小学4年生 (N= 543)	32.6	54.9	8.1	0.7	3.7
	小学5年生 (N= 472)	25.2	59.5	10.8	1.9	2.5
	小学6年生 (N= 435)	28.0	57.7	10.1	2.1	2.1
	中学1年生 (N= 180)	26.1	63.3	6.7	1.1	2.8
	中学2年生 (N= 164)	26.8	55.5	13.4	1.2	3.0
	中学3年生 (N= 116)	25.9	61.2	9.5	1.7	1.7
	無 回 答 (N= 90)	7.8	8.9	1.1	0.0	82.2
性 別	男 子 (N= 651)	27.6	56.4	11.4	1.2	3.4
	女 子 (N=1,217)	29.1	58.4	8.5	1.5	2.5
	そ の 他 (N= 1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 131)	9.2	26.7	6.1	1.5	56.5

2) 保護者の意義

保護者は、子供が「教室」で習っていることに関して、どれくらい意義を感じているのでしょうか。

保護者の4割以上(43.6%)が「とても役に立ちそう」、45.8%が「まあ、役に立ちそう」と回答しており、約9割(89.4%)が「教室」での学びを生活に役立つものと捉えている。また、指導者からは「あいさつができるようになった」「礼儀正しくなった」といった変化も報告されており、保護者の評価にはこうした生活面での成長も影響していると考えられる。多くの保護者が、「教室」を実生活に活かせる学びの場として意義を感じていることがうかがえる。(図2-4)

子供の学年別による分析では、「とても、役に立ちそう」と考える保護者の割合が特に中学3年生(53.6%)で高かった。また、性別による比較では、「とても、役に立ちそう」が、男子43.9%であるのに比べ、女子は46.1%であり、女子の保護者の評価が高い。(表2-4)

図2-4.【保護者調査】習っていることの意義（生活に役立つか）（全体）

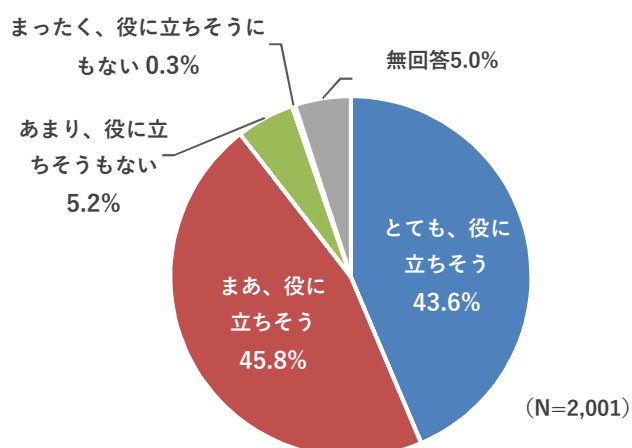


表2-4.【保護者調査】習っていることの意義（生活に役立つか）（全体／学年／性別）

		とても、役に立ちそう	まあ、役に立ちそう	あまり、役に立ちそうもない	まったく、役に立ちそうもない	無回答
全 体 (N=2,001)		43.6	45.8	5.2	0.3	5.0
学 年	小学4年生 (N= 572)	48.1	45.3	4.9	0.2	1.6
	小学5年生 (N= 471)	43.3	48.4	6.2	0.4	1.7
	小学6年生 (N= 412)	42.0	51.9	4.4	0.5	1.2
	中学1年生 (N= 169)	46.7	46.7	5.9	0.0	0.6
	中学2年生 (N= 160)	41.9	51.3	5.6	0.0	1.3
	中学3年生 (N= 110)	53.6	38.2	7.3	0.9	0.0
	無 回 答 (N= 107)	15.0	12.1	1.9	0.0	71.0
性 別	男 子 (N= 669)	43.9	48.9	5.5	0.6	1.0
	女 子 (N=1,237)	46.1	46.9	5.4	0.2	1.5
	そ の 他 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 95)	9.5	10.5	0.0	0.0	80.0

(%)

(3) 継続への意欲・意向

「教室」で習い続けていく意欲・意向を、子供と保護者双方の立場からみていく。

1) 習い続けていくことについての子供たちの意欲

子供たちが「教室」に通い続けることについての意欲をみると、8割以上(81.5%)の子供が、「教室」で習い続けたい」と回答している。ほとんどの子供が「教室」で習っていることに満足し、このまま習い続けたいと思っていることがうかがえる。(図2-5)

学年別では、「習い続けたいとは思わない」と回答する割合が中学3年生(12.1%)で他の学年に比べ高くなっている。男女別では、男子に比べ女子の方が「教室」で習い続けたい」と回答する割合がやや高くなっている。(表2-5)

図2-5.【子供調査】習い続けていくことについての意欲（全体）

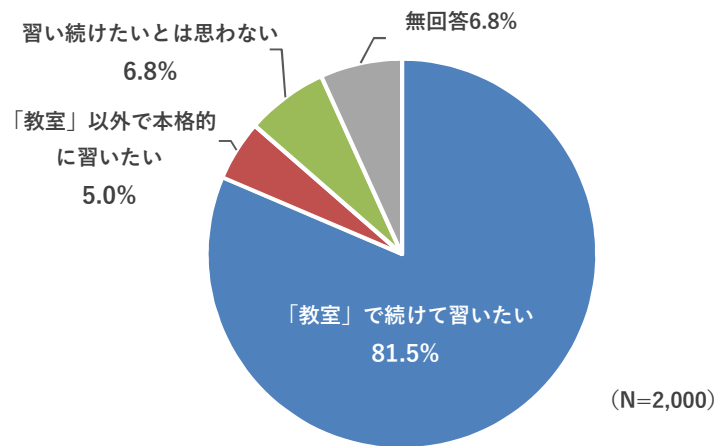


表2-5.【子供調査】習い続けていくことについての意欲（全体／学年／性別）

(%)

		「教室」で 続けて習いたい	「教室」以外で 本格的に習いたい	習い続けたい とは思わない	無回答
全 体 (N= 2,000)		81.5	5.0	6.8	6.8
学 年	小学 4 年生 (N= 543)	86.0	4.4	5.2	4.4
	小学 5 年生 (N= 472)	86.2	3.6	7.4	2.8
	小学 6 年生 (N= 435)	80.9	6.9	9.2	3.0
	中学 1 年生 (N= 180)	83.3	6.7	6.1	3.9
	中学 2 年生 (N= 164)	90.2	3.7	4.3	1.8
	中学 3 年生 (N= 116)	80.2	6.0	12.1	1.7
	無 回 答 (N= 90)	13.3	4.4	0.0	82.2
性 別	男 子 (N= 651)	84.0	5.5	6.5	4.0
	女 子 (N=1,217)	85.2	4.8	7.2	2.7
	そ の 他 (N= 1)	100.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 131)	33.6	3.8	3.8	58.8

2) 習い続けさせたいかについての保護者の意向

子供が「教室」に通い続けることについての保護者の意向をみてみる。

保護者の継続への意向は、85.3%の保護者が「「教室」で続けて習わせていきたい」と回答し、「「教室」とは別のところで本格的に習わせていきたい」が2.9%、「この「教室」で習うだけにして、習い続けさせたいとは思わない」が5.6%みられたが、大半の保護者が、「教室」での活動に満足し、このまま習い続けさせたいと思っている様子がうかがえる。(図 2-6)

子供の学年別にみると、「習い続けさせたいとは思わない」と回答する割合が小学6年生(9.5%)、中学3年生(6.4%)で他の学年に比べ高くなっている。男女別では、女子に比べ男子の方が「「教室」で続けて習わせていきたい」と回答する割合がやや高くなっている。(表 2-6)

図 2-6. 【保護者調査】子供に習い続けさせたいかについての意向（全体）

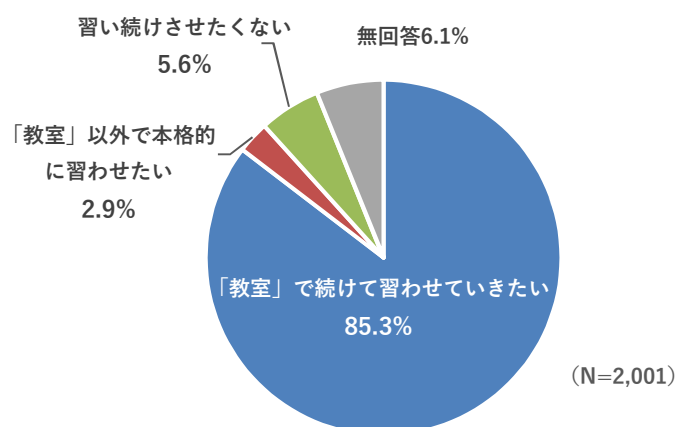


表 2-6. 【保護者調査】子供に習い続けさせたいかについての意向（全体／学年／性別）

(%)

		「教室」で続けて 習わせていきたい	「教室」以外で 本格的に習わせたい	習い続け させたくない	無回答
全 体 (N= 2,001)		86.3	2.9	5.6	6.1
学 年	小学 4 年生 (N= 572)	91.6	1.6	3.5	3.3
	小学 5 年生 (N= 471)	89.4	2.1	5.9	2.5
	小学 6 年生 (N= 412)	83.3	4.4	9.5	2.9
	中学 1 年生 (N= 169)	90.5	3.0	5.3	1.2
	中学 2 年生 (N= 160)	90.0	4.4	5.0	0.6
	中学 3 年生 (N= 110)	85.5	8.2	6.4	0.0
	無 回 答 (N= 107)	26.2	0.9	1.9	71.0
性 別	男 子 (N= 669)	90.0	3.3	5.4	1.3
	女 子 (N=1,237)	87.8	3.0	6.2	3.0
	そ の 他 (N= 0)	0.0	0.0	0.0	0.0
	無 回 答 (N= 95)	20.0	0.0	0.0	80.0

本章の「教室」に参加したことについての全体的な評価（「参加についての総合評価」、「習っていることの意義」、「継続への意欲・意向」）の結果をまとめると、以下のようになる。

① 参加についての総合評価

子供、保護者双方とも、ほぼ全員が「教室」に参加して（参加させて）「よかった」と思っており、総合評価は高い。

② 習っていることの意義

子供の約 8 割以上、保護者の約 9 割が、生活のなかで「役立つ」と評価している。

③ 継続への意欲・意向

継続への意欲・意向に関しては、子供及び保護者の 8 割以上が「教室」への継続的な参加意向を示している。

3. 参加の動機・理由ときっかけ

この章では、「教室」に参加した動機やきっかけ等に関して、子供と保護者の双方の立場からみてみる。

(1) 参加した子供の立場から

ここでは、子供の立場から「参加のきっかけ」と「参加の動機」を整理する。

1) 参加のきっかけ

子供たちが、どのようなきっかけから「教室」に通うようになったのかについて質問した。

「教室」に通うようになったきっかけとしては、「自分から通ってみようと思った」者は 約 4 割 (39.7%)、「誰かから誘われたり、言われたりして通うようになった」者は 5 割 (52.9%) となっており、周りに勧められて「教室」に通い始める子供の方がやや多い。(図 3-1)

学年別に「自分から通ってみようと思った」と回答する割合を見ると、中学生よりも小学生のほうが割合が高い傾向にあり、特に小学 5 年生の割合が高い (45.8%)。また、男女別では、男子は 38.7%であるのに比べ、女子は 42.0%であり割合が高い。(表 3-1)

図 3-1. 【子供調査】参加のきっかけ（全体）

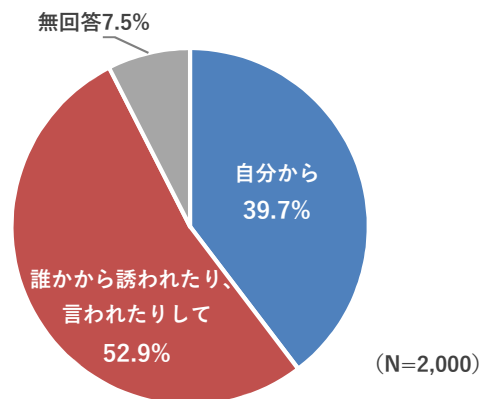


表 3-1. 【子供調査】参加のきっかけ（全体／学年／性別）

(%)

		自分から	誰かから誘われたり、言われたりして	無回答
全 体 (N= 2,000)		39.7	52.9	7.5
学 年	小学 4 年生 (N= 543)	43.3	52.5	4.2
	小学 5 年生 (N= 472)	45.8	50.4	3.8
	小学 6 年生 (N= 435)	36.6	58.2	5.3
	中学 1 年生 (N= 180)	36.7	61.7	1.7
	中学 2 年生 (N= 164)	40.2	56.1	3.7
	中学 3 年生 (N= 116)	36.2	60.3	3.4
	無 回 答 (N= 90)	11.1	8.9	80.0
性 別	男 子 (N= 651)	38.7	57.0	4.3
	女 子 (N=1,217)	42.0	54.4	3.6
	そ の 他 (N= 1)	0.0	100.0	0.0
	無 回 答 (N= 131)	23.7	17.6	58.8

前問で「誰かから誘われたり言われたりして「教室」に通い始めた」回答者に対し、誰の誘いがきっかけで、「教室」に通い始めたかについて質問した。

「両親」（59.0%）、「友達」（26.5%）の二つが多く、「兄弟」「祖父母」「お稽古ごとの先生」「学校の先生」などは比較的少ない。（図 3-2）

学年別に比較すると、「両親」と回答した割合が比較的高いのは、中学 3 年生（64.3%）と小学 5 年生（61.8%）で、「兄弟」と回答した割合は、中学生よりも小学生の方がやや高い傾向がみられる。「友達」と回答した割合も、小学生のほうが中学生よりも高い。

男女別に比較すると、「両親」に誘われるのは女子よりも男子の方が多く、「友達」に誘われるのは男子よりも女子の方が多いという傾向がみられる。友人と一緒にのお稽古ごとに通いたいという意向は、女子の方が圧倒的に強いようである。（表 3-2）

図 3-2. 【子供調査】参加のきっかけになった人（複数回答）（全体）

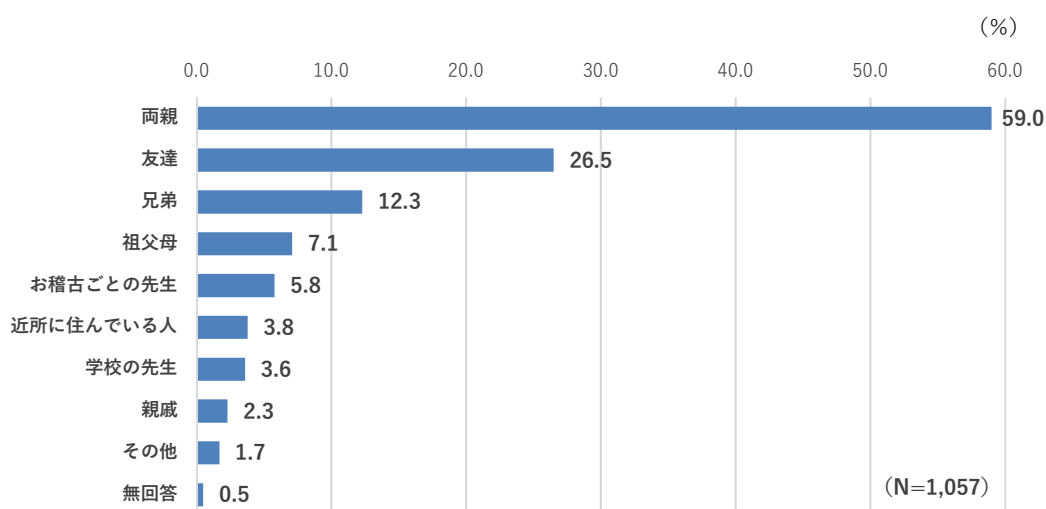


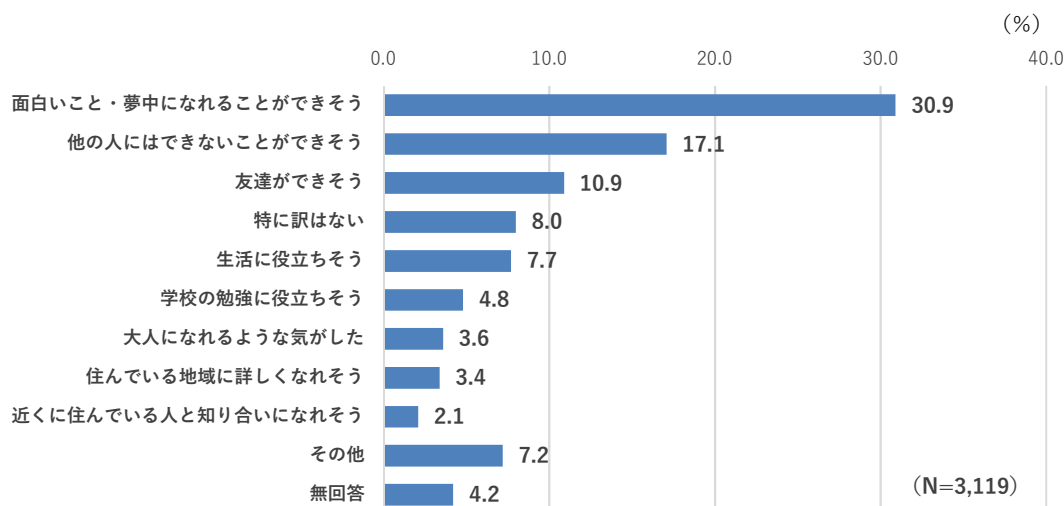
表 3-2. 【子供調査】参加のきっかけになった人（複数回答）（全体／学年／性別）

		両親	兄弟	祖父母	親戚	学校の先生	お稽古ごとの先生	友達	近所に住んでいる人	その他	無回答
全 体 (N= 1,057)		59.0	12.3	7.1	2.3	3.6	5.8	26.5	3.8	1.7	0.5
学 年	小学 4 年生 (N= 285)	58.2	11.9	7.4	1.4	4.9	5.6	26.3	3.2	1.1	0.7
	小学 5 年生 (N= 238)	61.8	14.7	6.3	1.3	2.5	5.9	25.6	2.1	0.8	0.4
	小学 6 年生 (N= 253)	57.7	11.9	7.9	2.4	2.8	4.0	30.0	5.5	2.4	0.4
	中学 1 年生 (N= 111)	58.6	11.7	7.2	5.4	2.7	5.4	25.2	4.5	2.7	0.0
	中学 2 年生 (N= 92)	54.3	12.0	7.6	1.1	6.5	8.7	26.1	6.5	2.2	1.1
	中学 3 年生 (N= 70)	64.3	7.1	5.7	2.9	1.4	10.0	21.4	1.4	1.4	0.0
	無 回 答 (N= 8)	62.5	25.0	0.0	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0
性 別	男 子 (N= 371)	63.3	12.9	8.9	1.9	4.6	6.5	20.8	4.6	1.6	0.0
	女 子 (N= 662)	56.9	11.8	6.2	2.1	3.2	5.1	29.5	3.0	1.5	0.8
	そ の 他 (N= 1)	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無 回 答 (N= 23)	47.8	13.0	4.3	13.0	0.0	8.7	34.8	13.0	4.3	0.0

2) 参加の動機

子供たちが「教室」に通う動機（教室に通うことにした理由）についての質問では、「面白いこと・夢中になれることができそう」と回答した子供が3割（30.9%）を占め、次いで「他の人にはできないことができそう」が2割弱（17.1%）を占めている。（図3-3）

図3-3.【子供調査】参加の動機（複数回答）（全体）



子供たちが「教室」に通う動機（教室に通うことにした理由）について、学年別にみると、「他の人にはできないことができそう」の回答は、中学生に多い。「学校の勉強に役立ちそう」の回答は、中学生に比べて小学生が多い。

男女別による比較を見ると、「友達ができそう」「住んでいる地域に詳しくなれそう」と回答した割合は女子よりも男子の方が高くなっている。一方で、「他の人にはできないことができそう」「生活に役立ちそう」といった項目では、男子より女子の方が高い傾向が見られる。

この結果から、男子は「教室」での体験や交流そのものに関心を寄せる傾向が強く、女子は学びの成果や実生活への応用といった実利的な面に価値を見出している様子がうかがえる。（表3-3）

表3-3.【子供調査】参加の動機（複数回答）（全体／学年／性別）

(%)

		面白いこと・夢中になれることができそう	他の人にはできないことができそう	大人になれるような気がした	友達ができそう	学校の勉強に役立ちそう	生活に役立ちそう	住んでいる地域に詳しくなれそう	近くに住んでいる人と知り合いになれそう	特に訳はない	その他	無回答
全 体 (N=3,119)		30.9	17.1	3.6	10.9	4.8	7.7	3.4	2.1	8.0	7.2	4.2
学 年	小学4年生 (N=844)	31.5	16.0	3.2	10.3	6.6	8.6	2.7	2.3	8.8	7.5	2.5
	小学5年生 (N=750)	30.0	16.1	3.6	11.9	5.5	8.3	3.5	2.5	8.8	7.9	2.0
	小学6年生 (N=726)	31.0	17.6	5.8	11.3	4.5	9.2	3.7	2.1	7.3	5.9	1.5
	中学1年生 (N=275)	35.6	18.2	2.2	12.0	2.5	6.5	3.6	2.2	8.0	8.4	0.7
	中学2年生 (N=256)	32.8	21.1	2.0	14.8	2.7	3.1	3.5	1.6	9.0	7.4	2.0
	中学3年生 (N=166)	36.7	23.5	3.0	6.0	1.8	4.2	6.0	0.6	6.6	9.0	2.4
	無 回 答 (N=102)	4.9	6.9	1.0	2.0	2.0	3.9	2.0	2.0	1.0	2.9	71.6
性 別	男 子 (N=1,019)	33.4	17.3	3.3	12.7	4.8	6.7	4.3	2.6	8.4	5.4	1.1
	女 子 (N=1,940)	30.9	18.0	4.0	10.4	4.8	8.5	2.9	1.9	7.8	8.4	2.4
	そ の 他 (N= 5)	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0
	無 回 答 (N=155)	16.1	5.2	1.3	6.5	3.2	3.9	3.2	1.3	7.7	4.5	47.1

(2) 参加させた保護者の立場から

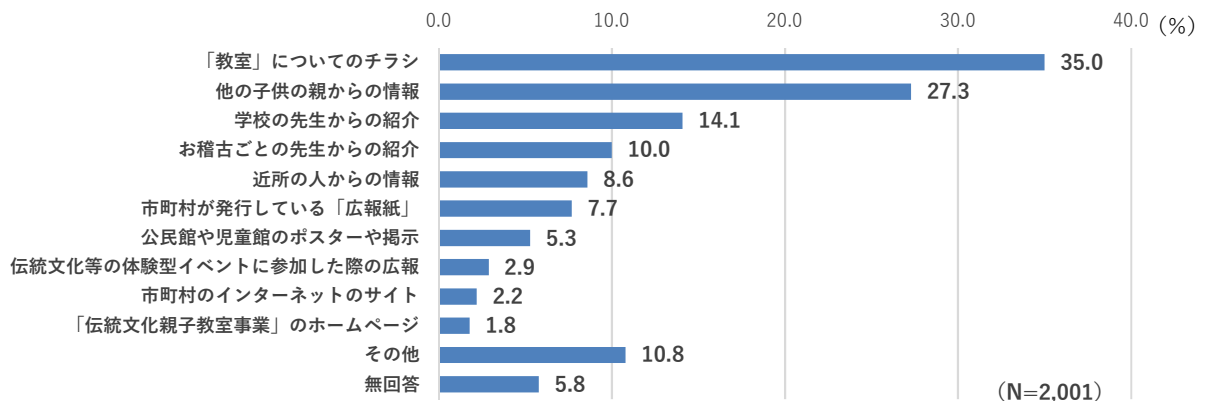
ここでは、保護者の立場から「教室」についての情報源」「子供を参加させた理由」を整理する。

1) 教室についての情報源

保護者が、「教室」があることを知ったきっかけは、「教室」についてのチラシ」(35.0%)「他の子供の親からの情報」(27.3%)の2つが、比較的高くなっている。次いで「学校の先生からの紹介」(14.1%)「お稽古ごとの先生からの紹介」(10.0%)「近所の人からの情報」(8.6%)の順に多い。

「教室」についてのチラシが主要媒体であることは間違いないが、すでに習っているとみられる「他の子供の親」や「学校の先生」などの口コミの影響も大きい。(図3-4)

図3-4. 【保護者調査】「教室」についての情報源（複数回答）（全体）

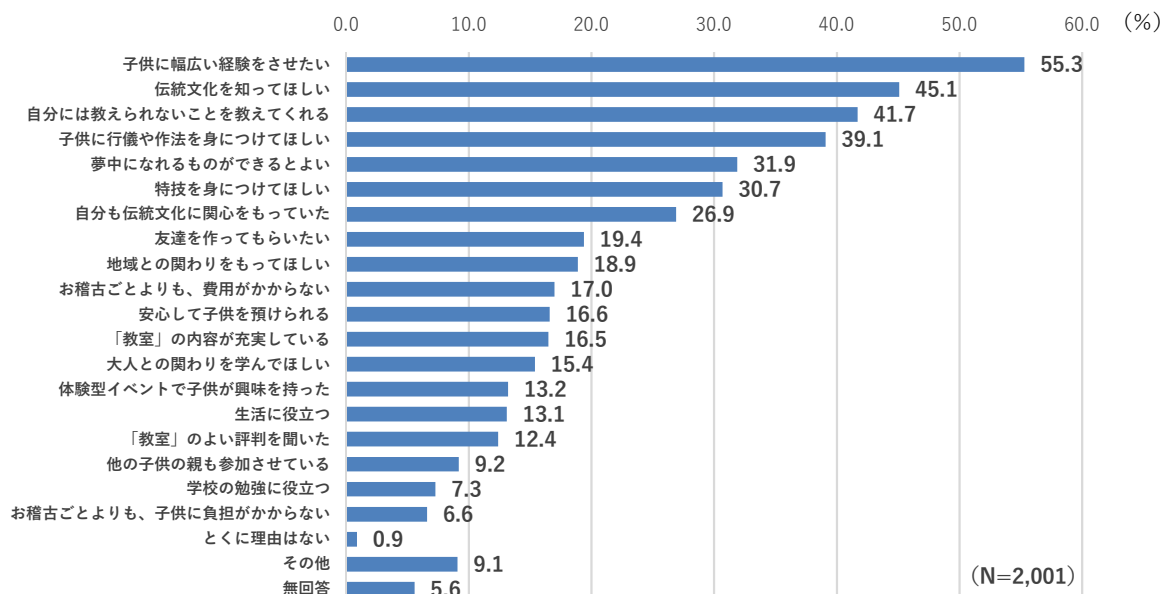


2) 子供を参加させた理由

保護者が子供を「教室」に参加させた理由では、「子供に幅広い経験をさせたい」(55.3%)「伝統文化を知ってほしい」(45.1%)の2つが5割近くある。次いで、「自分には教えられないことを教えてくれる」(41.7%)「子供に行儀や作法を身につけてほしい」(39.1%)の順に高くなっている。(図3-5)

普段の生活や学校では経験することができない伝統文化の世界にふれさせることで、経験の幅を広げ、様々な知識や作法を身につけさせたいという動機がうかがえる。

図3-5. 【保護者調査】子供を参加させた理由（複数回答）（全体）



本章で整理した参加の動機・理由ときっかけ（「参加のきっかけ」、「参加の動機」、「教室」についての情報源）の結果をまとめると、以下のようになる。

① 子供の「教室」参加のきっかけ

子供は、教室に通うことに関して自発的な意思をもつ以前に、主に「両親」「友達」に誘われて通い始める傾向が強い。男子は「両親」「兄弟」など家族の影響力が大きく、女子は「友達」の影響力が大きいことも把握された。

② 子供の「教室」参加の動機

子供は「面白いこと・夢中になれることができそう」、「他の人にはできないことができそう」という動機が多数を占めた。「友達ができそう」という「教室」での時間に対する期待は男子がやや高く、「他の人にはできないことができそう」「生活に役立ちそう」など、「教室」で学んだ結果に対する実利的な期待は女子に高いことが浮かび上がった。

③ 保護者の「教室」に関する情報源

保護者にとって「教室」に関する情報源とは、「教室」についてのチラシ」と「他の子供の親」からの口コミ情報が大きいことがわかった。

④ 保護者が子供を「教室」に参加させた理由

保護者が子供を「教室」に「参加させた理由」は、「子供に幅広い経験をさせたい」「伝統文化を知ってほしい」などの理由が多くを占め、学校とは異なる「教室」の教育的な効果を期待していることがわかった。

4. 参加による子供の変化

「教室」に参加したことによる、子供たちの変化は、学習したことによる知識や技能の向上だけでなく、対人関係やマナーが身につく、地域に対するかかわり方や伝統文化への興味・関心が変化したりなど、副次的な効果も期待できるという面がある。この章では、子供自身、保護者、指導者、指導者＜放課後子供教室＞が、「教室」参加による子供の変化をどのような視点で評価しているかを見ていく。

(1) 子供自身の認識

「教室」に参加することで、自分がどのように変わったのかを、子供たち自身に質問した。24 の項目について、「とても、そう思う」「まあ、そう思う」「あまり、そう思わない」「ぜんぜん、そう思わない」の4段階で回答を求めた。(図4-1)

変化したと自覚する項目は非常に多く、8割以上の子供が「とても、そう思う」「まあ、そう思う」と答えた項目は、24項目中10項目であった。

特に、「変化した」とする子供が目立っているのは、「ア)習っていることが、上手にできるようになった」(90.2%)「イ)習っていることが、面白く感じられるようになった」(90.2%)という学習の直接的効果を示す項目である。この2項目については、ほぼ全ての子供が変化を認めており、「教室」に参加することで習っていることが上達したり、興味をもてたと実感できている。

3番目に回答の多い項目は、「ナ)自分の楽しみが増えた」(85.7%)が昨年より上昇し、「教室」での体験が子供たちの楽しみにつながった様子がうかがえる。

4番目に回答の多い項目は、「ソ)昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった」(85.5%)で、活動の中で子供たちの意識も変化してきている。

5番目に回答の多い項目は、「タ)すごい技能を持ち、すばらしいと思える人を知った」(85.1%)であり、「教室」での体験を通して、人を尊敬する心が身についていることを示している。

6番目に多い回答は、「ネ)最後までがんばってやり遂げようと思うことが増えた」(84.6%)で、「ヌ)むずかしくてもチャレンジしてみようと思うことが増えた」(82.5%・8位)、「二)自分に自信がもてるようになった」(76.1%・15位)と合わせ、精神面での進化についての自覚を示す回答も上位にあった。

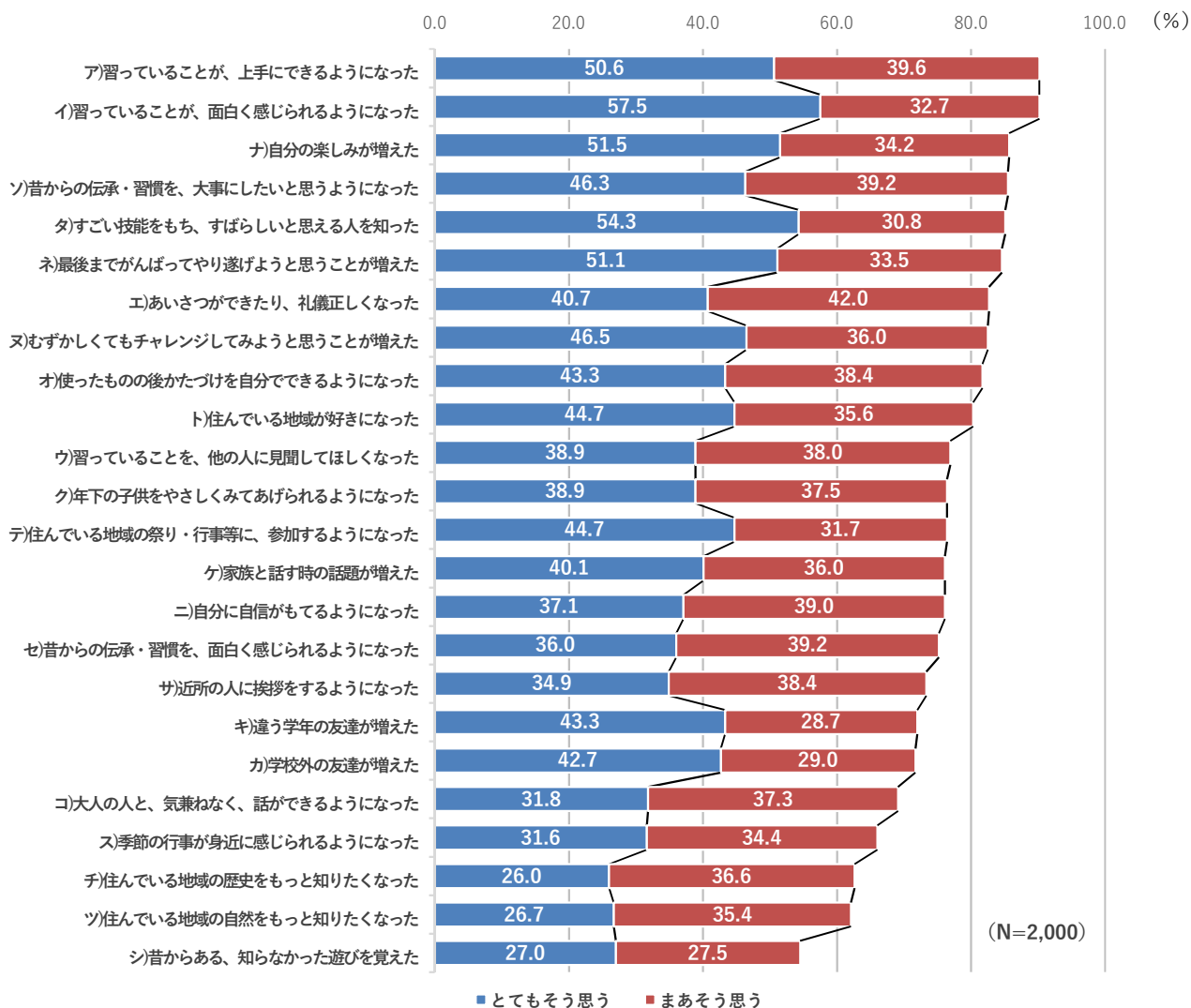
7番目に多い回答は、「エ)あいさつができたり、礼儀正しくなった」(82.7%)で、「オ)使ったものの後かたづけを自分でできるようになった」(81.7%・9位)と合わせ、マナーや礼儀に関する項目も80%以上が回答している。

「ト)住んでいる地域が好きになった」(80.3%)は10番目に多く回答され、「テ)住んでいる地域の祭り・行事等に参加するようになった」(76.4%・13位)と合わせて、「教室」に通うようになった効果として地域についての理解の増大も大きいことを示している。

11番目に多く回答されたのは、「ウ)習っていることを、他の人に見聞してほしくなった」(76.9%)で、「ク)年下の子供をやさしくみてあげられるようになった」(76.4%・12位)、「ケ)家族と話す時の話題が増えた」(76.1%・14位)と並んで対人関係を創り上げる効果が子供たちから評価されていることがわかる。

このように、「教室」に通うようになった自分自身が「変化した」と自覚する項目は多岐にわたっており、学習の直接的な成果以外にも副次的な要素について、評価されていることがうかがえる結果となっている。

図 4-1. 【子供調査】「教室」に参加したことによる変化（子供自身の認識）（全体）



続いて、「とてもそう思う」と答えた子供の割合を学年別及び性別に比較してみる。（表 4-1）

小学生と中学生の違いについてみていくと、中学生よりも小学生の回答割合が 5%以上高い項目は、「シ）昔からある、知らなかった遊びを覚えた」「ス）季節の行事が身近に感じられるようになった」「ツ）住んでいる地域の自然をもっと知りたくなった」「テ）住んでいる地域の祭り・行事等に参加するようになった」「ト）住んでいる地域が好きになった」の 5 項目で、小学生に関しては、特に自分の住む地域に対する興味や理解が増していることがわかる。

一方、小学生よりも中学生の回答割合が 5%以上高いのは、「ク）年下の子供をやさしくみてあげられるようになった」「タ）すごい技能をもち、すばらしいと思える人を知った」の 2 項目で、中学生においては、年下の子供の面倒をみることや優れた技能をもつ人物に対して敬意を払うような対人関係の向上といった点についても効果が大きいことを示している。

男女別に比較してみると、男子よりも女子の回答割合が 5%以上高いのは、「イ）習っていることが、面白く感じられるようになった」「ウ）習っていることを、他の人に見聞してほしくなった」「オ）使ったものの後かたづけを自分のできるようになった」「ク）年下の子供をやさしくみてあげられるようになった」「ケ）家族と話す時の話題が増えた」「サ）近所の人に挨拶をするようになった」「シ）昔からある、知らなかった遊びを覚えた」「ス）季節の行事が身近に感じられるようになった」「セ）昔からの伝承・習慣を、面白く感じられる

ようになった」「ソ)昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった」「ネ)最後までがんばってやり遂げようと思うことが増えた」の11項目で、女子の場合には「教室」で習っていることの直接的な効果についての自覚や、周囲とのコミュニケーション、日本の伝統や文化に対する興味や理解、精神面での進化について評価する傾向を示している。

一方、女子よりも男子の回答割合が5%以上高い項目は、今回の調査ではなかった。

表 4-1. 【子供調査】「教室」に参加したことによる変化（子供自身の認識）（全体／学年／性別）

(%)

	全 体 (N=2,000)	学 年			性 別			
		小 学 高学年 (N=1,450)	中学生 (N= 460)	無回答 (N= 90)	男 性 (N= 651)	女 性 (N=1,217)	その他 (N= 1)	無回答 (N= 131)
ア) 習っていることが、上手にできるようになった	50.6	51.9	54.8	8.9	49.9	54.4	0.0	19.1
イ) 習っていることが、面白く感じられるようになった	57.5	59.0	61.7	11.1	55.1	62.6	0.0	21.4
ウ) 習っていることを、他の人に見聞してほしくなった	38.9	40.3	40.0	10.0	36.9	42.5	100.0	15.3
エ) あいさつができた、礼儀正しくなった	40.7	41.2	45.2	8.9	39.6	43.6	0.0	18.3
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった	43.3	45.3	43.5	10.0	36.7	49.5	0.0	19.1
カ) 学校外の友達が増えた	42.7	44.0	45.0	10.0	45.8	43.7	0.0	18.3
キ) 違う学年の友達が増えた	43.3	43.9	47.6	10.0	46.9	44.1	0.0	17.6
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった	38.9	39.0	44.3	10.0	36.4	43.0	0.0	13.7
ケ) 家族と話す時の話題が増えた	40.1	42.6	38.7	7.8	36.7	44.9	0.0	13.0
コ) 大人の人と、気兼ねなく、話ができるようになった	31.8	32.8	33.7	8.9	32.4	34.0	0.0	9.9
サ) 近所の人に挨拶をするようになった	34.9	36.3	35.2	8.9	33.2	38.3	0.0	11.5
シ) 昔からある、知らなかった遊びを覚えた	27.0	29.2	23.7	8.9	24.6	30.3	100.0	7.6
ス) 季節の行事が身近に感じられるようになった	31.6	35.4	23.9	8.9	24.0	38.0	0.0	10.7
セ) 昔からの伝承・習慣を、面白く感じられるようになった	36.0	37.7	35.9	8.9	32.7	40.8	100.0	7.6
ソ) 昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった	46.3	47.5	50.2	5.6	41.2	52.2	0.0	16.8
タ) すごい技能をもち、すばらしいと思える人を知った	54.3	54.8	61.7	8.9	56.4	56.9	0.0	20.6
チ) 住んでいる地域の歴史をもっと知りたくなった	26.0	27.0	25.9	10.0	24.3	28.9	0.0	7.6
ツ) 住んでいる地域の自然をもっと知りたくなった	26.7	28.8	23.3	8.9	24.7	29.4	0.0	10.7
テ) 住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった	44.7	48.1	41.3	7.8	46.7	46.4	0.0	19.1
ト) 住んでいる地域が好きになった	44.7	49.0	38.3	8.9	44.4	47.8	0.0	17.6
ナ) 自分の楽しみが増えた	51.5	54.3	49.6	14.4	51.9	54.8	0.0	18.3
ニ) 自分に自信がもてるようになった	37.1	39.0	36.1	11.1	41.3	37.6	0.0	11.5
ヌ) むずかしくてもチャレンジしてみようと思うことが増えた	46.5	48.8	45.7	12.2	45.9	49.5	0.0	20.6
ネ) 最後までがんばってやり遂げようと思うことが増えた	51.1	52.3	55.0	10.0	49.5	55.4	0.0	19.1

注)「とてもそう思う」の割合

※網掛け部分：「小学校高学年」と「中学生」、あるいは「男子」と「女子」の間で5%以上の差があった項目

さらに、今度は、「とてもそう思う」と答えた子供の割合を、参加している「教室」の分野別に比較してみる。(表 4-2)

「祭り行事」の「教室」に参加している子供が他の分野よりも高い項目は、「テ)住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった」の項目で、地域の歴史や文化に対する関心や理解の向上が評価されている。

「伝統工芸：昔から伝えられてきた物づくり」の「教室」に参加している子供が他の分野よりも高い項目は、「オ)使ったものの後かたづけを自分でできるようになった」「ク)年下の子供をやさしくみてあげられるようになった」「タ)すごい技能を持ち、すばらしいと思える人を知った」「チ)住んでいる地域の歴史をもっと知りたくなった」「ツ)住んでいる地域の自然をもっと知りたくなった」「ト)住んでいる地域が好きになった」の6項目で、年下の子との対人関係のあり方についての学びや地域の歴史や文化に対する関心や理解の向上などが評価されている。

「百人一首、カルタ、囲碁、将棋」の「教室」に参加している子供が他の分野よりも高い項目は、「ナ)自分の楽しみが増えた」の項目で、文化に対する興味の増大が評価されている。

「武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など」の「教室」に参加している子供が他の分野よりも高い項目は、「カ)学校外の友達が増えた」「キ)違う学年の友達が増えた」「ケ)家族と話す時の話題が増えた」「ネ)

最後までがんばってやり遂げようと思うことが増えた」の4項目で、対人関係のあり方についての学びや学習の直接効果の自覚が評価されている。

「昔の遊びや仕事」の「教室」に参加している子供が他の分野よりも高い項目は、「ア)習っていることが、上手にできるようになった」「イ)習っていることが、面白く感じられるようになった」「ウ)習っていることを他の人に見聞してほしくなった」「エ)あいさつができたり、礼儀正しくなった」「コ)大人のひとと、気兼ねなく、話ができるようになった」「シ)昔からある、知らなかった遊びを覚えた」「ス)季節の行事が身近に感じられるようになった」「セ)昔からの伝承・習慣を、面白く感じられるようになった」「ソ)昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった」「ニ)自分に自信がもてるようになった」「ヌ)むずかしくてもチャレンジしてみようと思うことが増えた」の11項目で、学習の直接効果の自覚や日本の伝統行事や文化に対する興味の増大、大人との対人関係のあり方についての学びが評価されている。

「食文化、郷土料理」の「教室」に参加している子供が他の分野よりも高い項目は、「サ)近所の人に挨拶をするようになった」の項目で、マナーの向上、対人関係のあり方についての学びが評価されている。

「神楽、獅子舞、お囃子」「民謡、民舞、民俗芸能」「和太鼓」「能楽」「邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など」「日本舞踊、邦舞」「茶道、華道」「書道」「着物の着付けや作法」は、他の分野よりも高い項目は、今回の調査ではなかった。

表 4-2. 【子供調査】「教室」に参加したことによる変化（子供自身の認識）
（全体／参加している「教室」の分野別）

(%)

	全 体 N=2,000	分 野															
		神 楽 獅子舞 お囃子	民 謡 民 舞 民俗芸能	和太鼓	祭り 行 事	能 楽	邦楽：箏 三味線 尺 八 笛、太鼓 など	日本舞踊 邦 舞	伝統工芸： 昔から 伝えられ てきた 物づくり	百人一首 カルタ 囲 碁 将 棋	茶 道 華 道	武道： 柔道、剣道 弓道、相撲 古式泳法 など	書 道	着物の 着付けや 作 法	昔の遊び や仕事	食文化 郷土料理	その他
	N=209	N=92	N=164	N=111	N=64	N=229	N=151	N=46	N=269	N=430	N=185	N=78	N=66	N=17	N=19	N=154	
ア) 習っていることが、上手にできるようになった	50.6	50.7	52.2	54.3	54.1	50.0	59.4	55.0	32.6	55.4	51.6	48.6	55.1	53.0	70.6	15.8	48.7
イ) 習っていることが、面白く感じられるようになった	57.5	56.0	52.2	55.5	57.7	54.7	63.8	70.2	63.0	66.2	61.4	61.6	53.8	65.2	76.5	63.2	55.8
ウ) 習っていることを、他の人に見聞してほしくなった	38.9	39.2	47.8	44.5	41.4	40.6	42.4	51.0	41.3	36.4	40.9	39.5	46.2	39.4	58.8	31.6	48.7
エ) あいさつができたり、礼儀正しくなった	40.7	38.3	34.8	31.7	36.0	42.2	37.6	50.3	60.9	38.7	38.6	62.7	44.9	60.6	64.7	42.1	46.1
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった	43.3	38.3	32.6	42.1	39.6	37.5	48.9	44.4	56.5	45.0	51.9	47.6	48.7	47.0	29.4	36.8	46.8
カ) 学校外の友達が増えた	42.7	43.5	42.4	49.4	43.2	37.5	50.7	58.9	28.3	49.1	35.6	69.7	44.9	27.3	41.2	57.9	37.7
キ) 違う学年の友達が増えた	43.3	50.2	44.6	54.9	49.5	34.4	51.1	58.9	34.8	47.2	34.9	63.2	48.7	25.8	47.1	57.9	39.0
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった	38.9	40.2	35.9	40.9	42.3	35.9	42.4	53.0	56.5	35.3	36.5	53.5	38.5	34.8	52.9	36.8	40.9
ケ) 家族と話す時の話題が増えた	40.1	29.2	38.0	40.2	34.2	31.3	41.0	52.3	41.3	43.9	43.0	53.0	41.0	27.3	47.1	31.6	41.6
コ) 大人のひとと、気兼ねなく、話ができるようになった	31.9	32.1	34.8	36.0	25.2	35.9	27.9	40.4	26.1	33.8	33.5	38.9	37.2	24.2	41.2	26.3	31.8
サ) 近所の人に挨拶をするようになった	34.9	36.8	37.0	37.2	35.1	40.6	32.8	43.0	45.7	31.6	36.0	47.6	47.4	31.8	41.2	57.9	32.5
シ) 昔からある、知らなかった遊びを覚えた	27.0	22.5	14.1	28.7	20.7	21.9	27.1	41.1	32.6	37.9	29.5	24.3	30.8	43.9	58.8	36.8	26.0
ス) 季節の行事が身近に感じられるようになった	31.6	24.4	20.7	31.7	18.9	37.5	28.4	42.4	41.3	31.2	43.3	30.3	41.0	53.0	58.8	47.4	28.6
セ) 昔からの伝承・習慣を、面白く感じられるようになった	36.0	38.3	33.7	36.6	33.3	43.8	36.2	45.7	30.4	38.3	44.0	34.6	33.3	45.5	52.9	47.4	34.4
ソ) 昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった	46.3	49.8	37.0	45.1	50.5	54.7	51.5	58.3	60.9	45.7	51.2	48.6	44.9	42.4	70.6	26.3	49.4
タ) すごい技能をもち、すばらしいと思える人を知った	54.3	51.2	57.6	60.4	53.2	46.9	61.1	69.5	80.4	61.3	50.7	71.9	56.4	31.8	52.9	21.1	52.6
チ) 住んでいる地域の歴史をもっと知りたくなった	26.0	33.5	26.1	30.5	29.7	28.1	24.0	36.4	41.3	23.4	31.4	21.6	28.2	19.7	35.3	31.6	25.3
ツ) 住んでいる地域の自然をもっと知りたくなった	26.7	27.8	23.9	31.1	23.4	21.9	20.5	27.2	50.0	22.3	39.1	24.9	35.9	19.7	29.4	42.1	27.9
テ) 住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった	44.7	67.0	54.3	68.3	75.7	37.5	45.9	47.7	56.5	29.4	47.9	42.2	47.4	34.8	35.3	47.4	42.9
ト) 住んでいる地域が好きになった	44.7	51.7	50.0	51.2	55.9	35.9	41.0	50.3	78.3	37.9	53.3	48.1	48.7	33.3	47.1	36.8	44.2
ナ) 自分の楽しみが増えた	51.5	50.2	47.8	48.2	57.7	35.9	50.7	61.6	60.9	63.6	56.5	61.6	50.0	42.4	52.9	36.8	52.6
ニ) 自分に自信がもてるようになった	37.1	35.4	35.9	35.4	32.4	34.4	36.7	46.4	45.7	43.1	36.7	48.1	46.2	45.5	58.8	31.6	38.3
ヌ) むずかしくてもチャレンジしてみようと思うことが増えた	46.5	44.0	44.6	42.1	42.3	45.3	52.8	57.6	43.5	50.2	47.9	56.8	48.7	50.0	58.8	47.4	50.6
ネ) 最後までがんばってやり遂げようと思うことが増えた	51.1	52.2	43.5	51.2	53.2	53.1	58.5	64.9	45.7	50.2	55.1	65.4	53.8	48.5	58.8	36.8	51.9

注)「とてもそう思う」の割合

※網掛け部分：「とてもそう思う」の部分が最も高かった分野

(2) 保護者の認識

【保護者調査】の結果をもとに、「教室」に参加したことによる子供の変化を保護者がどのように認識しているかについてみていく。(図4-2)

保護者においても、多くの項目で「教室」に参加することによる「子供の変化」が認められている。8割以上の保護者が「とても、そう思う」「まあ、そう思う」と答えた項目は、24項目中4項目であった。

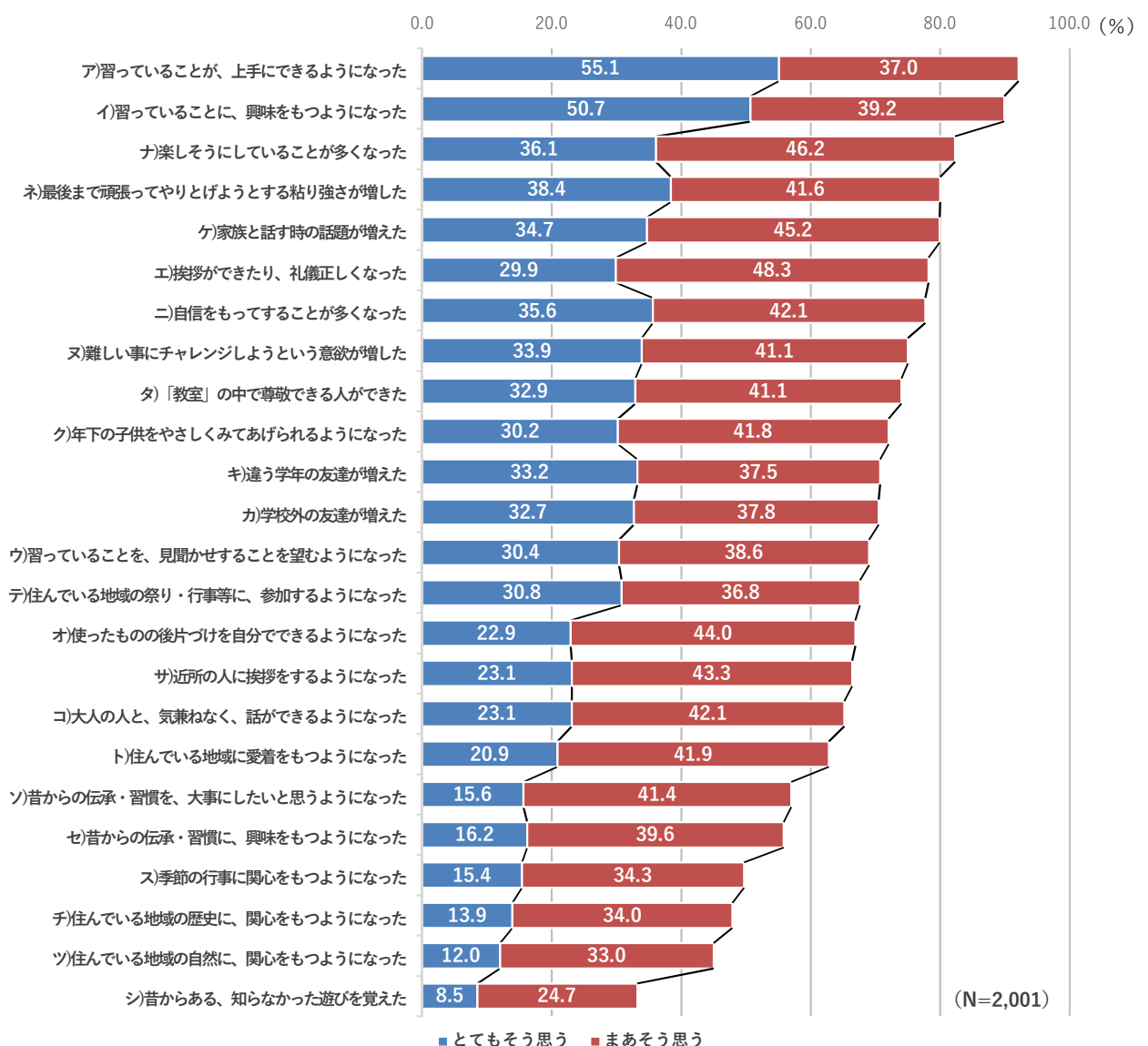
特に多くの保護者が認めている子供の変化は、子供自身の場合と同様、「ア)習っていることが、上手にできるようになった」(92.1%)「イ)習っていることに、興味をもつようになった」(89.9%)で、学習の結果に対する直接的な効果についての回答が上位にある。

3番目に多いのは、「ナ)楽しそうにしていることが多かった」(82.3%)で、「ケ)家族と話す時の話題が増えた」(79.9%・5位)と合わせ、家庭生活の上での変化も評価されていることがわかる。

4番目に多いのは、「ネ)最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した」(80.0%)で、「エ)挨拶ができたり、礼儀正しくなった」(78.2%・6位)と合わせて、子供の精神面での成長も評価されている。

一方、相対的に変化が認められる割合が低いのは、「シ)昔からある、知らなかった遊びを覚えた」(33.2%)「ツ)住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった」(45.0%)「チ)住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった」(47.9%)などである。

図4-2. 【保護者調査】 「教室」に参加したことによる子供の変化（保護者の認識）（全体）



次に保護者から見た子供の変化を、子供の学年及び性別に比較してみる。(表 4-2)

これをみると、学年別では、小学生の保護者よりも中学生の保護者が、「教室」に参加したことによる子供の変化を多くの項目で認めている。

小学生の保護者と中学生の保護者では、「ア)習っていることが、上手にできるようになった」「エ)挨拶ができたり、礼儀正しくなった」「キ)違う学年の友達が増えた」「ス)季節の行事に関心をもつようになった」「タ)「教室」の中で尊敬できる人ができた」の 5 項目について 5%以上の開きがあった。

男女別では、「コ)大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった」「ス)季節の行事に関心をもつようになった」「ナ)楽しそうにしていることが多くなった」の 3 項目について、男女間で 5%以上の開きがあった。

表 4-2. 【保護者調査】「教室」に参加したことによる子供の変化（保護者の認識）
(全体／子供の学年／子供の性別)

(%)

	全 体 (N=2,001)	学 年			性 別			
		小 学 高学年 (N=1,455)	中学生 (N= 439)	無回答 (N= 107)	男 性 (N= 669)	女 性 (N=1,237)	その他 (N= 0)	無回答 (N= 95)
ア) 習っていることが、上手にできるようになった	55.1	55.3	64.9	13.1	54.1	58.9	0.0	13.7
イ) 習っていることに、興味をもつようになった	50.7	52.3	54.4	13.1	51.3	53.2	0.0	13.7
ウ) 習っていることを、見聞かせることを望むようになった	30.4	31.6	31.7	8.4	31.4	31.6	0.0	7.4
エ) 挨拶ができたり、礼儀正しくなった	29.9	29.6	35.8	10.3	30.9	31.0	0.0	8.4
オ) 使ったものの後片づけを自分のできるようになった	22.9	23.0	26.7	6.5	22.9	24.2	0.0	6.3
カ) 学校外の友達が増えた	32.7	32.8	37.6	12.1	35.9	32.8	0.0	9.5
キ) 違う学年の友達が増えた	33.2	33.1	38.7	12.1	37.1	32.9	0.0	9.5
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった	30.2	30.1	35.5	9.3	31.1	31.2	0.0	10.5
ケ) 家族と話す時の話題が増えた	34.7	35.9	37.1	8.4	37.7	35.2	0.0	7.4
コ) 大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった	23.1	23.4	26.0	7.5	28.0	21.9	0.0	5.3
サ) 近所の人に挨拶をするようになった	23.1	24.0	24.1	7.5	26.6	22.7	0.0	4.2
シ) 昔からある、知らなかった遊びを覚えた	8.5	9.2	7.5	3.7	9.4	8.2	0.0	6.3
ス) 季節の行事に関心をもつようになった	15.4	17.3	12.3	3.7	12.4	17.8	0.0	6.3
セ) 昔からの伝承・習慣に、興味をもつようになった	16.2	17.5	14.8	4.7	14.3	18.2	0.0	4.2
ソ) 昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった	15.6	16.9	14.4	3.7	14.6	16.9	0.0	6.3
タ) 「教室」の中で尊敬できる人ができた	32.9	32.4	40.3	9.3	36.5	32.7	0.0	9.5
チ) 住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった	13.9	14.3	14.1	7.5	15.7	13.7	0.0	3.2
ツ) 住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった	12.0	12.9	10.5	6.5	12.9	12.2	0.0	3.2
テ) 住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった	30.8	31.3	33.5	14.0	34.5	30.6	0.0	8.4
ト) 住んでいる地域に愛着をもつようになった	20.9	21.5	21.9	9.3	23.8	20.5	0.0	7.4
ナ) 楽しそうにしていることが多くなった	36.1	37.7	36.7	12.1	41.3	35.1	0.0	12.6
ニ) 自信をもってすることが多くなった	35.6	35.9	40.3	12.1	37.1	36.7	0.0	10.5
ネ) 難しい事にチャレンジしようという意欲が増した	33.9	34.6	37.4	9.3	35.4	35.0	0.0	8.4
ネ) 最後まで頑張ったり逃げようとする粘り強さが増した	38.4	39.5	41.7	11.2	39.6	40.1	0.0	8.4

注)「とてもそう思う」の割合

※網掛け部分:「小学校高学年」と「中学生」、あるいは「男子」と「女子」の間で 5%以上の差があった項目

さらに、「とてもそう思う」と答えた保護者の割合を、子供が参加している「教室」の分野別に比較してみる。(表 4-3)

「祭り行事」の「教室」に参加している子供の保護者がみる子供の変化の項目が他の分野よりも高いのは、「サ)近所の人に挨拶をするようになった」「チ)住んでいる地域の歴史に、興味をもつようになった」「テ)住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった」の 3 項目で、マナーの向上、地域の歴史や文化に対する関心や理解の向上がみられる。

「日本舞踊、邦舞」の「教室」に参加している子供の保護者がみる子供の変化の項目が他の分野よりも高いのは、「ア)習っていることが、上手にできるようになった」で、学習に対する関心の増加がみられた。

「伝統工芸:昔から伝えられてきた物づくり」の「教室」に参加している子供の保護者がみる子供の変化の項目が他の分野よりも高いのは、「イ)習っていることに、興味をもつようになった」「ウ)習っていることを、見聞かせることを望むようになった」「エ)挨拶ができたり、礼儀正しくなった」「オ)使ったものの後

片付けを自分でできるようになった」「ク)年下の子供をやさしくみてあげられるようになった」「ケ)家族と話す時の話題が増えた」「コ)大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった」「ス)季節の行事に関心をもつようになった」「セ)昔からの伝承・習慣に、興味をもつようになった」「タ)「教室」の中で尊敬する人ができた」「ツ)住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった」「ト)住んでいる地域に愛着をもつようになった」「ナ)楽しそうにしていることが多くなった」「ニ)自信をもってすることが多くなった」「ヌ)難しい事にチャレンジしようという意欲が増した」「ネ)最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した」の16項目で、学習に対する関心の増加とそれを発表したいという意欲の向上、礼儀やマナーの向上、対人関係のあり方、歴史や文化、地域に対する関心や理解の向上など幅広い評価がみられる。

「武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など」の「教室」に参加している子供の保護者がみる子供の変化の項目が他の分野よりも高いのは、「カ)学校外の友達が増えた」「キ)違う学年の友達が増えた」の2項目で、友達との対人関係のあり方あり方についての評価がみられる。

「昔の遊びや仕事」の「教室」に参加している子供の保護者がみる子供の変化の項目が他の分野よりも高いのは、「シ)昔からある、知らなかった遊びを覚えた」「ソ)昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった」の2項目で、歴史や文化に対する関心や理解の向上、学習意欲の増加といった評価がみられる。

「神楽、獅子舞、お囃子」「民謡、民舞、民俗芸能」「和太鼓」「能楽」「邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など」「百人一首、カルタ、囲碁、将棋」「茶道、華道」「書道」「着物の着付けや作法」「食文化、郷土料理」は、他の分野より高い項目は、今回の調査ではなかった。

以上、みてきたように、「教室」での体験の特徴に沿った子供の変化がみられており、それに対する保護者の満足度や評価も高いとみることができる。

表 4-3. 【保護者調査】「教室」に参加したことによる子供の変化（保護者の認識）
（全体／参加している「教室」の分野別）

(%)

	全 体 N=2,001	分 野															
		神 楽 獅子舞 お囃子 N=198	民 謡 民 舞 民俗芸能 N=94	和太鼓 N=159	祭り 行 事 N=97	能 楽 N=55	邦楽：箏 三味線 尺 八 笛、太鼓 など N=188	伝統工芸： 昔から 伝えられ てきた 物づくり N=154	百人一首 カルタ 囲 碁 将 棋 N=44	茶 道 華 道 N=250	武道： 柔道、剣道 弓道、相撲 古式泳法 など N=420	着物の 着付けや 作 法 N=179	昔の遊び や仕事 N=60	食文化 郷土料理 N=99	その他 N=14	その他 N=19	その他 N=150
ア) 習っていることが、上手にできるようになった	55.1	59.6	47.9	63.5	60.8	63.6	67.6	70.1	65.9	58.8	56.7	50.8	53.3	65.7	64.3	21.1	46.0
イ) 習っていることに、興味をもつようになった	50.7	51.5	46.8	50.9	55.7	52.7	61.7	56.5	72.7	59.2	54.0	50.8	43.3	59.6	71.4	52.6	43.3
ウ) 習っていることを、見聞かせたいことを望むようになった	30.4	37.4	29.8	40.3	45.4	30.9	33.5	44.2	45.5	26.0	32.1	31.3	16.7	34.3	28.6	26.3	30.7
エ) 挨拶ができた、礼儀正しくなった	29.9	31.3	30.9	28.9	43.3	34.5	31.9	42.9	63.6	23.6	28.6	42.5	23.3	45.5	28.6	15.8	27.3
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった	22.9	20.2	21.3	19.5	27.8	18.2	24.5	28.6	61.4	25.6	25.0	25.1	30.0	31.3	14.3	36.8	18.0
カ) 学校外の友達が増えた	32.7	35.4	34.0	36.5	47.4	32.7	33.5	38.3	50.0	38.4	26.2	58.1	33.3	34.3	35.7	26.3	30.7
キ) 違う学年の友達が増えた	33.2	41.4	35.1	42.8	52.6	34.5	40.4	36.4	29.5	42.4	24.0	54.7	31.7	31.3	35.7	31.6	30.0
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった	30.2	37.9	40.4	30.8	44.3	27.3	37.2	35.1	68.2	29.2	24.3	44.7	25.0	30.3	28.6	26.3	34.0
ケ) 家族と話す時の話題が増えた	34.7	37.4	43.6	30.8	49.5	38.2	38.3	41.6	50.0	42.8	31.2	47.5	33.3	40.4	42.9	42.1	28.7
コ) 大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった	23.1	27.8	28.7	28.9	37.1	27.3	23.4	29.9	38.6	22.0	21.4	29.6	31.7	23.2	28.6	21.1	22.0
サ) 近所の人に挨拶をするようになった	23.1	29.8	23.4	27.0	42.3	27.3	26.6	35.1	47.7	16.4	21.0	34.1	20.0	26.3	7.1	26.3	23.3
シ) 昔からある、知らなかった遊びを覚えた	8.5	6.6	6.4	4.4	12.4	5.5	8.5	11.7	13.6	11.6	9.0	8.4	5.0	12.1	28.6	26.3	8.7
ス) 季節の行事に関心をもつようになった	15.4	13.1	13.8	10.1	20.6	20.0	14.4	17.5	45.5	10.0	22.6	12.3	16.7	30.3	42.9	42.1	14.7
セ) 昔からの伝承・習慣に、興味をもつようになった	16.2	17.2	17.0	8.8	25.8	25.5	18.1	21.4	45.5	13.6	19.8	12.8	8.3	33.3	42.9	26.3	18.0
ソ) 昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった	15.6	15.2	14.9	10.1	25.8	27.3	16.0	22.1	40.9	14.0	18.6	16.8	10.0	31.3	42.9	15.8	18.0
タ) 「教室」の中で尊敬できる人ができた	32.9	28.8	27.7	32.1	30.9	45.5	36.7	47.4	63.6	36.4	28.8	49.2	21.7	40.4	50.0	31.6	29.3
チ) 住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった	13.9	24.7	14.9	9.4	35.1	25.5	17.0	19.5	29.5	11.6	15.5	8.4	13.3	17.2	14.3	26.3	14.0
ツ) 住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった	12.0	21.2	13.8	5.7	27.8	12.7	10.6	15.6	31.8	9.6	15.0	8.9	15.0	14.1	14.3	26.3	12.0
テ) 住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった	30.8	66.2	37.2	50.3	70.1	38.2	34.0	31.2	50.0	15.2	26.7	24.0	30.0	31.3	21.4	26.3	32.7
ト) 住んでいる地域に愛着をもつようになった	20.9	35.9	26.6	20.8	41.2	30.9	21.3	22.1	50.0	18.0	19.3	16.8	16.7	23.2	21.4	36.8	25.3
ナ) 楽しそうにしていることが多くなった	36.1	43.9	37.2	30.2	52.6	29.1	37.2	37.7	61.4	40.8	33.8	46.4	41.7	40.4	42.9	57.9	40.0
ニ) 自信をもってすることが多くなった	35.6	38.4	36.2	31.4	38.1	41.8	36.2	48.7	61.4	34.0	34.8	41.9	41.7	49.5	35.7	52.6	38.0
ヌ) 難しい事にチャレンジしようという意欲が増した	33.9	35.4	33.0	25.8	36.1	38.2	37.8	50.0	61.4	38.4	30.7	40.8	33.3	50.5	50.0	36.8	32.7
ネ) 最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した	38.4	38.9	37.2	32.1	37.1	45.5	44.7	52.6	63.6	40.4	34.8	49.2	41.7	56.6	42.9	52.6	40.0

注)「とてもそう思う」の割合
※網掛け部分：「とてもそう思う」の部分が最も高かった分野

(3) 指導者の認識

「子供の変化」について、「教室」の指導に携わっている指導者が捉えた結果を整理してみる。(図4-3)

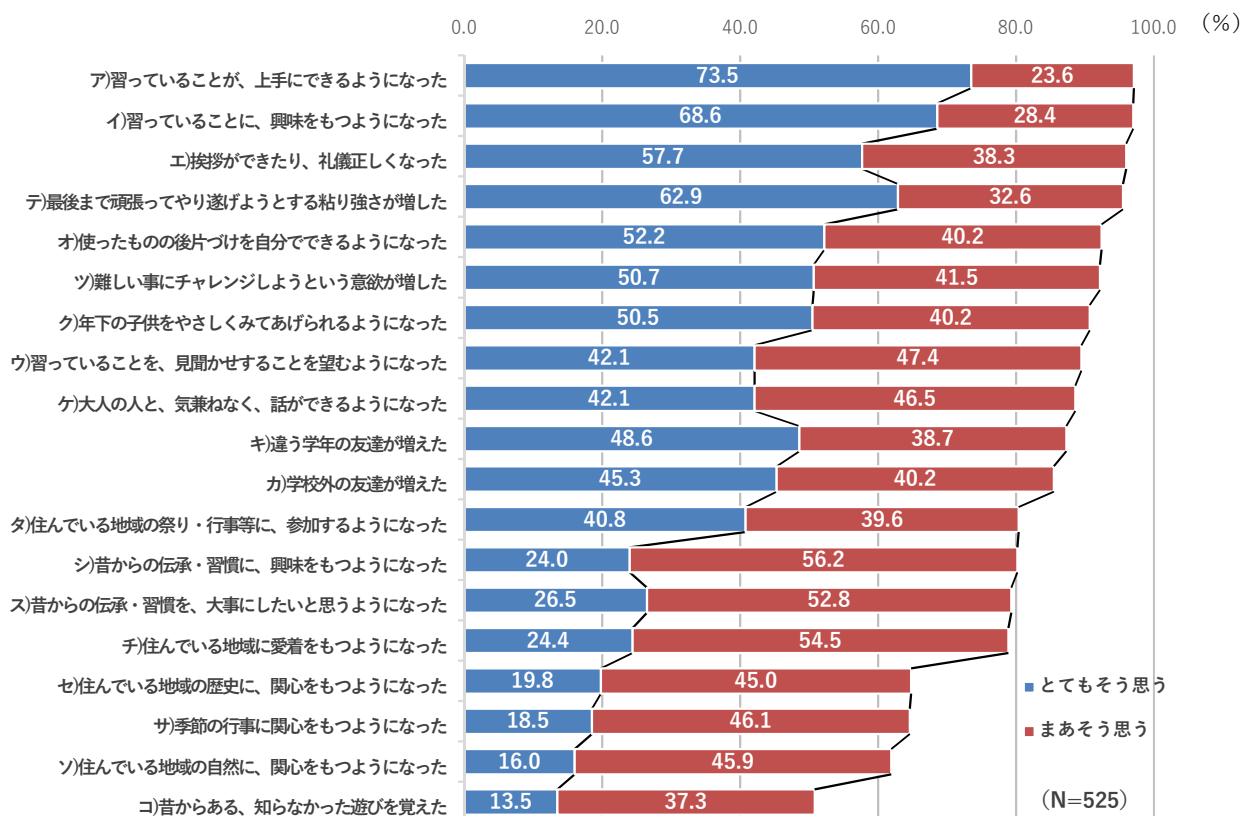
指導者においても、多くの項目で「教室」に参加することによる「子供の変化」を認めている。9割以上の指導者が「とても、そう思う」「まあ、そう思う」と答えた項目は、19項目中7項目であり、8割以上では、13項目に及んでいる。

多くの指導者が認める子供の変化は、「ア)習っていることが、上手にできるようになった」(97.1%)「イ)習っていることに、興味をもつようになった」(97.0%)である。さらに「エ)挨拶ができたり、礼儀正しくなった」(96.0%)「テ)最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した」(95.5%)「オ)使ったものの後片付けを自分でできるようになった」(92.4%)「ツ)難しい事にチャレンジしようという意欲が増した」(92.2%)「ク)年下の子供をやさしくみてあげられるようになった」(90.7%)の回答が90%を上回っており、「教室」での学習の直接的な効果の他に、礼儀やマナーの向上、技術的な上達と精神面での成長が指導者によって評価されていることがわかる。

次いで指導者からみた子供の変化の認識が多いのは、「ウ)習っていることを、見聞かせすることを望むようになった」(89.5%)のように学習の効果を発表したいという意欲の向上や、「ケ)大人の人と、気兼ねなく、話ができるようになった」(88.6%)のように、人との関わり方に関するもの、「キ)違う学年の友達が増えた」(87.3%)「カ)学校外の友達が増えた」(85.5%)など、良好な人間関係の構築に関する回答が続いている。

全体的に「変化した」とする割合が高いなかで、比較的回答割合が低いのは、「コ)昔からある、知らなかった遊びを覚えた」(50.8%)「ソ)住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった」(61.9%)「サ)季節の行事に関心をもつようになった」(64.6%)「セ)住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった」(64.8%)などであった。地域の祭りや行事等への参加は、子供自身や保護者からは変化の要素として一定割合挙げられているが、地域の歴史や自然に対する関心を高めるという点では、まだまだ変化をさせるには至っていないという現状がある。

図4-3.【指導者調査】「教室」に参加したことによる子供の変化（指導者の認識）（全体）



次に、指導者から見た子供の変化を、指導者の年齢及び性別に比較してみる。(表 4-4)

これをみると、「40 歳代 (40～49 歳)」の指導者において「とても、そう思う」とする割合が高い項目が多い。40 歳代の指導者は、礼儀やマナーの向上、良好な人間関係の構築、地域の歴史や自然に対する関心など、「教室」に参加したことによる子供の変化を多様な面から捉えている傾向がみえる。

「40～49 歳」の指導者が他の年代の指導者よりも多く認める子供の変化は、「エ)挨拶ができたり、礼儀正しくなった」「ア)使ったものの後かたづけを自分でできるようになった」「カ)学校外の友達が増えた」「キ)

違う学年の友達が増えた」「ク)年下の子供をやさしくみてあげられるようになった」「ア)大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった」「コ)昔からある、知らなかった遊びを覚えた」「セ)住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった」「ソ)住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった」「タ)住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった」「チ)住んでいる地域に愛着をもつようになった」「ツ)難しい事にチャレンジしようという意欲が増した」「テ)最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した」の 13 項目である。

これに対し、「30 歳代以下 (～39 歳)」「60 歳代 (60～69 歳)」「80 歳以上」の指導者が他の年代の指導者よりも多く認める子供の変化は、今回の調査ではなかった。

指導者の年代別の比較では、50 歳以上の年代が 40 歳代以下の年代よりも回答の割合が多い項目は、(50～59 歳)の「ア)習っていることが、上手にできるようになった」「イ)習っていることに、興味をもつようになった」「ウ)習っていることを、見聞かせすることを望むようになった」「ス)昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった」、(70～79 歳)の「サ)季節の行事に関心をもつようになった」「シ)昔からの伝承・習慣に、興味をもつようになった」「チ)住んでいる地域に愛着をもつようになった」であった。50 歳以上の指導者は、精神面での成長、伝統や伝承・習慣に関する関心や理解の高まりについての評価が高い。

また男女別の違いを見ると、男性よりも女性の指導者の方が子供の変化を認めている項目が多く、19 項目中 14 項目で、「とても、そう思う」と答えた女性の指導者の割合が、男性の指導者の割合より高くなっている。

女性の指導者が捉える「変化」の項目では、「教室」での体験の直接的な効果の他、礼儀やマナー、大人と人間関係の構築、伝統や伝承・習慣に関する関心や理解の高まり、精神面での成長などで、多様な側面から子供たちの変化を捉えている。

女性よりも男性の指導者の方が変化を答えた割合が高かったのは、「カ)学校外の友達が増えた」「キ)違う学年の友達が増えた」「ク)年下の子供をやさしくみてあげられるようになった」「タ)住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった」「チ)住んでいる地域に愛着をもつようになった」の 5 項目で、交友関係や地域との関わりについての評価が高いのが特徴である。

表 4-4. 【指導者調査】「教室」に参加したことによる子供の変化（指導者の認識）
（全体／指導者の年齢／性別）

(%)

	全 体 N=525	指導者の年齢							性 別			
		～39 歳 N= 62	40～49 歳 N= 80	50～59 歳 N=100	60～69 歳 N=115	70～79 歳 N=114	80 歳～ N= 43	無回答 N= 11	男 性 N=199	女 性 N=312	その他 N= 0	無回答 N= 14
ア) 習っていることが、上手にできるようになった	73.5	71.0	76.3	81.0	75.7	69.3	67.4	45.5	64.8	80.1	0.0	50.0
イ) 習っていることに、興味をもつようになった	68.6	62.9	76.3	77.0	69.6	67.5	51.2	36.4	61.3	74.4	0.0	42.9
ウ) 習っていることを、見聞かせることを望むようになった	42.1	35.5	40.0	52.0	46.1	39.5	32.6	27.3	32.7	48.1	0.0	42.9
エ) 挨拶ができたり、礼儀正しくなった	57.7	53.2	61.3	58.0	58.3	60.5	53.5	36.4	53.8	60.6	0.0	50.0
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった	57.2	45.2	66.3	56.0	50.4	46.5	51.2	36.4	44.2	57.7	0.0	42.9
カ) 学校外の友達が増えた	45.3	46.8	58.8	47.0	43.5	43.9	30.2	18.2	48.7	43.9	0.0	28.6
キ) 違う学年の友達が増えた	48.6	51.6	65.0	49.0	44.3	46.5	34.9	27.3	55.3	45.2	0.0	28.6
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった	50.5	48.4	65.0	54.0	45.2	51.8	34.9	27.3	51.8	50.6	0.0	28.6
ケ) 大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった	42.1	32.3	63.8	44.0	34.8	44.7	30.2	18.2	40.2	43.9	0.0	28.6
コ) 昔からある、知らなかった遊びを覚えた	13.5	21.0	21.3	14.0	7.0	13.2	4.7	18.2	11.6	14.7	0.0	14.3
サ) 季節の行事に関心をもつようになった	18.5	11.3	20.0	16.0	20.0	21.1	20.9	18.2	10.6	23.4	0.0	21.4
シ) 昔からの伝承・習慣に、興味をもつようになった	24.0	24.2	23.8	24.0	24.3	25.4	16.3	36.4	16.1	28.5	0.0	35.7
ス) 昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった	26.5	25.8	28.8	32.0	25.2	26.3	11.6	36.4	24.1	28.2	0.0	21.4
セ) 住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった	19.8	14.5	31.3	24.0	16.5	19.3	9.3	9.1	19.6	20.2	0.0	14.3
ソ) 住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった	16.0	14.5	23.8	19.0	12.2	15.8	9.3	9.1	12.1	18.6	0.0	14.3
タ) 住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった	40.8	46.8	47.5	37.0	36.5	43.9	39.5	9.1	45.7	38.5	0.0	21.4
チ) 住んでいる地域に愛着をもつようになった	24.4	22.6	32.5	25.0	13.9	32.5	20.9	9.1	27.1	23.4	0.0	7.1
ツ) 難しい事にチャレンジしようという意欲が増した	50.7	38.7	58.8	53.0	53.0	54.4	37.2	27.3	39.7	59.0	0.0	21.4
テ) 最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した	62.9	59.7	75.0	62.0	63.5	62.3	55.8	27.3	54.8	70.2	0.0	14.3

注)「とてもそう思う」の割合

※網掛け部分：「とてもそう思う」の部分が最も高かった分野

さらに、「とてもそう思う」と答えた指導者の割合を、「教室」の分野別に比較してみる。(表 4-5)

「伝統工芸：昔から伝えられてきた物づくり」の指導者からみた子供の変化の項目で「とてもそう思う」の回答が多いのは、「イ)習っていることに、興味をもつようになった」「エ)挨拶ができたり、礼儀正しくなった」「オ)使ったものの後かたづけを自分でできるようになった」の3項目で、教室での体験そのものの効果や、礼儀やマナー、精神的成長に関する項目が挙げられている。

「昔の遊びや仕事」の指導者からみた子供の変化の項目で「とてもそう思う」の回答が多いのは、19項目中 17 項目で、マナーや礼儀に関するものや人間関係の拡大に関するもの、歴史や文化、地域との関わりの上で興味や理解の増大など、幅広い項目が挙げられている。

「神楽、獅子舞、お囃子」「民謡、民舞、民俗芸能」「和太鼓」「祭り行事」「能楽」「邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など」「日本舞踊、邦舞」「百人一首、カルタ、囲碁、将棋」「茶道、華道」「武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など」「書道」「着物の着付けや作法」「食文化、郷土料理」は、指導者からみた子供の変化の項目で「とてもそう思う」の回答は他の分野より多いものは、今回の調査ではなかった。

表 4-5. 【指導者調査】「教室」に参加したことによる子供の変化（指導者の認識）
（全体／指導している「教室」の分野別）

(%)

	全 体 N=525	分 野																
		神 楽 獅子舞 お囃子	民 謡 民 舞 民俗芸能	和太鼓	祭り 行 事	能 楽	邦楽：華 三味線 尺 八 笛、太鼓 など	日本舞踊 邦 舞	伝統工芸： 昔から 伝えられ てきた 物づくり	百人一首 カルタ 囲 碁 将 棋	茶 道 華 道	武道： 柔道、剣道 弓道、相撲 古式泳法 など	着物の 着付けや 作 法	昔の遊び や仕事	食文化 郷土料理	その他		
		N=48	N=26	N=38	N=25	N=19	N=56	N=37	N=11	N=65	N=128	N=39	N=13	N=30	N=1	N=5	N=35	
ア) 習っていることが、上手にできるようになった	73.5	72.9	69.2	84.2	64.0	78.9	80.4	89.2	81.8	53.8	77.3	66.7	76.9	90.0	100.0	20.0	77.1	
イ) 習っていることに、興味をもつようになった	68.6	66.7	65.4	65.8	60.0	57.9	80.4	86.5	100.0	55.4	70.3	66.7	61.5	76.7	100.0	40.0	71.4	
ウ) 習っていることを、見聞かせずることを望むようになった	42.1	45.8	50.0	55.3	28.0	52.6	58.9	54.1	63.6	23.1	47.7	20.5	38.5	43.3	100.0	40.0	42.9	
エ) 挨拶ができた、礼儀正しくなった	57.7	58.3	65.4	42.1	52.0	63.2	66.1	78.4	81.8	43.1	58.6	66.7	38.5	73.3	0.0	40.0	62.9	
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった	52.2	54.2	50.0	47.4	36.0	47.4	66.1	64.9	72.7	43.1	54.7	48.7	30.8	50.0	0.0	20.0	48.6	
カ) 学校外の友達が増えた	45.3	47.9	42.3	52.6	44.0	31.6	50.0	59.5	54.5	56.9	33.6	69.2	23.1	40.0	100.0	20.0	51.4	
キ) 違う学年の友達が増えた	48.6	60.4	46.2	60.5	68.0	63.2	50.0	56.8	36.4	55.4	38.3	69.2	15.4	40.0	100.0	0.0	60.0	
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった	50.5	64.6	46.2	52.6	44.0	57.9	55.4	56.8	54.5	43.1	50.8	61.5	15.4	50.0	100.0	0.0	57.1	
ケ) 大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった	42.1	52.1	30.8	50.0	52.0	42.1	51.8	43.2	72.7	35.4	43.8	41.0	46.2	36.7	100.0	40.0	42.9	
コ) 昔からある、知らなかった遊びを覚えた	13.5	10.4	3.8	7.9	16.0	21.1	19.6	10.8	27.3	26.2	10.9	7.7	7.7	26.7	100.0	0.0	22.9	
サ) 季節の行事に関心をもつようになった	18.5	14.6	11.5	5.3	0.0	15.8	16.1	18.9	54.5	10.8	30.5	15.4	15.4	33.3	100.0	40.0	14.3	
シ) 昔からの伝承・習慣に、興味をもつようになった	24.0	25.0	19.2	13.2	16.0	21.1	32.1	27.0	45.5	10.8	28.9	17.9	23.1	40.0	100.0	60.0	37.1	
ス) 昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった	26.5	37.5	15.4	13.2	24.0	31.6	33.9	43.2	45.5	12.3	22.7	41.0	23.1	36.7	100.0	60.0	34.3	
セ) 住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった	19.8	33.3	42.3	21.1	28.0	31.6	16.1	27.0	63.6	10.8	13.3	7.7	0.0	13.3	100.0	40.0	25.7	
ソ) 住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった	16.0	14.6	11.5	15.8	16.0	26.3	10.7	18.9	72.7	4.6	20.3	10.3	0.0	10.0	100.0	60.0	20.0	
タ) 住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった	40.8	93.8	50.0	81.6	88.0	36.8	39.3	40.5	36.4	13.8	35.9	20.5	7.7	36.7	100.0	20.0	51.4	
チ) 住んでいる地域に愛着をもつようになった	24.4	52.1	42.3	42.1	44.0	26.3	19.6	18.9	54.5	13.8	18.8	10.3	7.7	13.3	100.0	0.0	37.1	
ツ) 難しい事にチャレンジしようという意欲が増した	50.7	39.6	57.7	50.0	16.0	47.4	64.3	67.6	54.5	41.5	49.2	61.5	46.2	56.7	100.0	80.0	54.3	
テ) 最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した	62.9	50.0	80.8	65.8	40.0	63.2	80.4	86.5	63.6	47.7	61.7	74.4	69.2	60.0	100.0	60.0	68.6	

注)「とてもそう思う」の割合

※網掛け部分：「とてもそう思う」の部分が最も高かった分野

(4) 指導者＜放課後子供教室＞の認識

「子供の変化」について、放課後子供教室の「教室」の指導者が捉えた結果を整理してみる。(図 4-4)

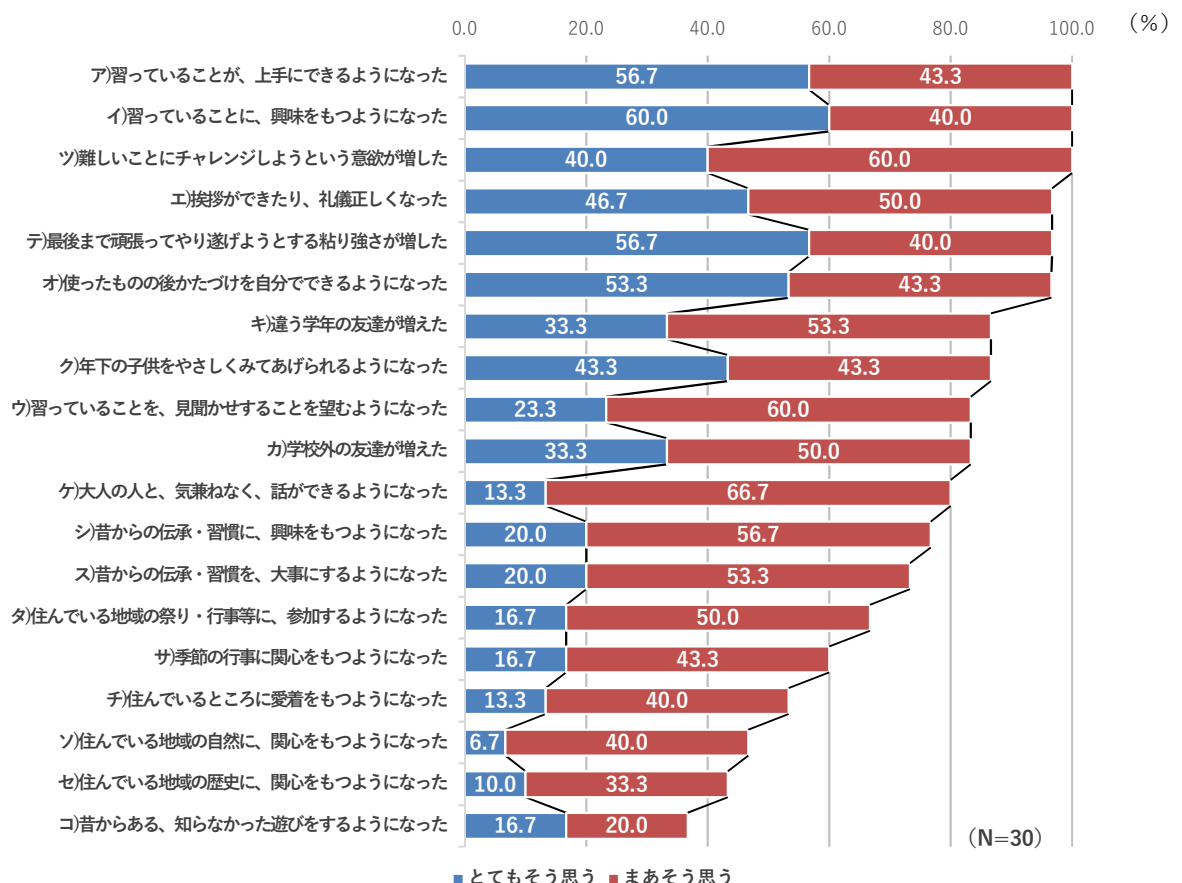
放課後子供教室の指導者においても、多くの項目で「教室」に参加することによる「子供の変化」が認められている 9 割以上の指導者が「とても、そう思う」「まあ、そう思う」と答えた項目は、19 項目中 6 項目であり、8 割以上は全部で 11 項目になる。

多くの指導者が認める子供の変化は、「ア)習っていることが、上手にできるようになった」(100.0%)「イ)習っていることに、興味をもつようになった」(100.0%)「ツ)難しいことにチャレンジしようという意欲が増した」(100.0%)である。さらに、「エ)挨拶ができたり、礼儀正しくなった」(96.7%)「テ)最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した」(96.7%)「オ)使ったものの後かたづけを自分でできるようになった」(96.6%)「キ)違う学年の友達が増えた」(86.6%)「ク)年下の子供をやさしくみてあげられるようになった」(86.6%)「ウ)習っていることを、見聞かせすることを望むようになった」(83.3%)「カ)学校外の友達が増えた」(83.3%)「ケ)大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった」(80.0%)の項目で、「とても、そう思う」「まあ、そう思う」の割合が8割を上回っている。学習の直接的な効果の他に、精神面での成長や礼儀やマナーの向上、人間関係の構築力などが指導者によって評価されていることがわかる。

全体的に「変化した」とする割合が高いなかで、比較的变化したとする回答割合が低いのは、「コ)昔からある、知らなかった遊びをするようになった」(36.7%)「セ)住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった」(43.3%)「ソ)住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった」(46.7%)「チ)住んでいるところに愛着をもつようになった」(53.3%)などであった。地域の歴史や自然に対する関心については、まだまだ関心の高まりを感じられるに至っていない現状がある。

図 4-4. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

「教室」に参加したことによる子供の変化（指導者の認識）（全体）



次に、指導者から見た子供の変化を、放課後子供教室の指導者の年齢及び性別に比較してみる。(表 4-6)

各年齢層の指導者の数が少ないため、結果の数値から傾向について判断することは難しいが、参考として表に結果を示した。年齢別の傾向としては、「40 歳～49 歳」「70 歳～79 歳」の指導者の方が、生徒の変化について「とても、そう思う」と回答した割合の高い項目が多いようである。

男女別にみると、男性よりも女性の回答割合が高くなっており、今回は女性の指導者の方が子供の変化に敏感であるという傾向が読み取れた。

表 4-6. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

「教室」に参加したことによる子供の変化（指導者の認識）（全体／指導者の年齢／性別）

(%)

	全 体 (N= 30)	指導者の年齢							性 別			
		～39 歳 (N= 1)	40～49 歳 (N= 5)	50～59 歳 (N= 14)	60～69 歳 (N= 3)	70～79 歳 (N= 6)	80 歳～ (N= 1)	無回答 (N= 0)	男 性 (N= 11)	女 性 (N= 19)	その他 (N= 0)	無回答 (N= 0)
ア) 習っていることが、上手にできるようになった	56.7	0.0	80.0	42.9	100.0	66.7	0.0	0.0	45.5	63.2	0.0	45.5
イ) 習っていることに、興味をもつようになった	60.0	0.0	60.0	57.1	100.0	66.7	0.0	0.0	36.4	73.7	0.0	36.4
ウ) 習っていることを、見聞かせずすることを望むようになった	23.3	0.0	40.0	7.1	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	36.8	0.0	0.0
エ) 挨拶ができたり、礼儀正しくなった	46.7	100.0	40.0	42.9	66.7	50.0	0.0	0.0	27.3	57.9	0.0	27.3
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった	53.3	100.0	40.0	50.0	33.3	66.7	100.0	0.0	45.5	57.9	0.0	45.5
カ) 学校外の友達が増えた	33.3	100.0	60.0	21.4	0.0	50.0	0.0	0.0	18.2	42.1	0.0	18.2
キ) 違う学年の友達が増えた	33.3	100.0	40.0	21.4	0.0	66.7	0.0	0.0	18.2	42.1	0.0	18.2
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった	43.3	100.0	40.0	35.7	0.0	83.3	0.0	0.0	27.3	52.6	0.0	27.3
ケ) 大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった	13.3	100.0	20.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	21.1	0.0	0.0
コ) 昔からある、知らなかった遊びを覚えた	16.7	0.0	20.0	7.1	0.0	50.0	0.0	0.0	18.2	15.8	0.0	18.2
サ) 季節の行事に関心をもつようになった	16.7	0.0	40.0	14.3	33.3	0.0	0.0	0.0	9.1	21.1	0.0	9.1
シ) 昔からの伝承・習慣に、興味をもつようになった	20.0	0.0	40.0	14.3	0.0	33.3	0.0	0.0	18.2	21.1	0.0	18.2
ス) 昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった	20.0	0.0	40.0	14.3	0.0	33.3	0.0	0.0	18.2	21.1	0.0	18.2
セ) 住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった	10.0	0.0	20.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	10.5	0.0	9.1
ソ) 住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった	6.7	0.0	20.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0
タ) 住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった	16.7	0.0	20.0	7.1	33.3	33.3	0.0	0.0	9.1	21.1	0.0	9.1
チ) 住んでいる地域に愛着をもつようになった	13.3	0.0	20.0	7.1	0.0	33.3	0.0	0.0	18.2	10.5	0.0	18.2
ツ) 難しい事にチャレンジしようという意欲が増した	40.0	100.0	60.0	28.6	66.7	33.3	0.0	0.0	36.4	42.1	0.0	36.4
テ) 最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した	56.7	100.0	60.0	42.9	66.7	83.3	0.0	0.0	36.4	68.4	0.0	36.4

注) 「とてもそう思う」の割合

さらに、「とてもそう思う」と答えた指導者の割合を、放課後子供教室の「教室」の分野別に比較してみる。(表 4-7)

回答者数が「伝統文化親子教室」事業に比べてかなり少ないうえ、指導内容の半分以上が「邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など」「日本舞踊、邦舞」「百人一首、カルタ、囲碁、将棋」「茶道、華道」「武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など」「着物の着付けや作法」の分野に集中しているため、放課後「子供教室」の「教室」の分野別に分析することは困難である。ここでは参考に結果の表を示しておく。

表 4-7. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

「教室」に参加したことによる子供の変化（指導者の認識）（全体／指導している「教室」の分野別）

（％）

	全 体 N=30	分 野															
		神 楽 獅子舞 お囃子	民 謡 民 舞 民俗芸能	和太鼓	祭りの 行 事	能 楽	邦楽：華 三味線 尺 八 笛、太鼓 など	日本舞踊 邦 舞	伝統工芸： 昔から 伝えられ てきた 物づくり	百人一首 カルタ 囲 碁 将 棋	茶 道 華 道	武道： 柔道、剣道 弓道、相撲 古式泳法 など	書 道	着物の 着付けや 作 法	昔の遊び や仕事	食文化 郷土料理	その他
	N=30	N= 0	N= 0	N= 2	N= 0	N= 0	N= 3	N= 2	N= 0	N= 6	N= 10	N= 2	N= 0	N= 4	N= 0	N= 0	N= 6
ア) 習っていることが、上手にできるようになった	56.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	66.7
イ) 習っていることに、興味をもつようになった	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0	0.0	66.7	50.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	66.7
ウ) 習っていることを、見聞かせすることを望むようになった	23.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	30.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
エ) あいさつができた、礼儀正しくなった	46.7	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	66.7	100.0	0.0	33.3	40.0	100.0	0.0	75.0	0.0	0.0	50.0
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった	53.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	66.7	50.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
カ) 学校外の友達が増えた	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0	0.0	33.3	20.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	66.7
キ) 違う学年の友達が増えた	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0	0.0	16.7	30.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった	43.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0	0.0	33.3	50.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
ケ) 大人のひと、気兼ねなく、話ができるようになった	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	10.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	33.3
コ) 昔からある、知らなかった遊びを覚えた	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	33.3
サ) 季節の行事に関心をもつようになった	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3
シ) 昔からの伝承・習慣に、興味をもつようになった	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
ス) 昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
セ) 住んでいる地域の歴史に、関心をもつようになった	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
ソ) 住んでいる地域の自然に、関心をもつようになった	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
タ) 住んでいる地域の祭り・行事等に参加するようになった	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3
チ) 住んでいる地域に愛着をもつようになった	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	16.7
ツ) 難しい事にチャレンジしようという意欲が増した	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	70.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
テ) 最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した	56.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	100.0	0.0	50.0	70.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	66.7

注) 「とてもそう思う」の割合

※網掛け部分：「とてもそう思う」の部分が最も高かった分野

(5) 子供自身からみた変化と保護者、指導者からみた変化

「教室」に通うことによる子供の変化について、これまで見てきたように、子供自身からみた場合と、保護者、指導者、指導者＜放課後子供教室＞からみた場合とでは、評価が異なっている。（表 4-8）

この表は、【子供調査】による子供自身の変化の認識と、【保護者調査】による保護者の立場からの子供の变化の認識、さらには【指導者調査】と【指導者調査＜放課後子供教室＞】による指導者の立場からの子供の变化について評価を比べている。「とてもそう思う」の割合」の数値の網掛けは、4 者のうち、「とても、そう思う」の割合が最も高い回答者で、表の右側には、回答者ごとに割合の高い順位を示した。

4 者に共通して変化を認める順位が高いのは、「ア）習っていることが、上手にできるようになった」「イ）習っていることに、興味をもつようになった」などの学習による技術の上達や興味の増加に関する項目と、「テ）最後まで頑張ってやり遂げようとする粘り強さが増した」という精神面の成長に関する項目である。

一方、子供自身は、「教室」での学習の直接的な効果よりも、人間関係や家族との交流、伝統や地域に対する意識の目覚めなどを変化と認める傾向が他の 3 者に比べて強い。それに対し、指導者は、学習の直接的な効果（習っていることの上達）や、マナーやルールの遵守面において子供の变化を認める傾向にある。また、保護者は他の 3 者と比べ、子供の变化を認める割合が低い傾向にある。

表 4-8. 【子供調査】【保護者調査】【指導者調査】 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

子供自身からみた変化と保護者、指導者、指導者＜放課後子供教室＞からみた変化（全体の比較）

	「とてもそう思う」の割合 (%)				順 位			
	子 供 N=2,000	保護者 N=2,001	指導者 N= 525	指導者 ＜放課後子供 教室・土曜日の 教育活動＞ N= 30	子 供 N=2,000	保護者 N=2,001	指導者 N= 525	指導者 ＜放課後子供 教室・土曜日の 教育活動＞ N= 30
ア) 習っていることが、上手にできるようになった	50.6	55.1	73.5	56.7	5	1	1	2
イ) 習っていることが、面白く感じられるようになった	57.5	50.7	68.6	60.0	1	2	2	1
ウ) 習っていることを、他の人に見聞してほしくなった	38.9	30.4	42.1	23.3	15	12	10	10
エ) 挨拶ができた、礼儀正しくなった	40.7	29.9	57.7	46.7	13	14	4	5
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった	43.3	22.9	52.2	53.3	10	17	5	4
カ) 学校外の友達が増えた	42.7	32.7	45.3	33.3	12	10	9	8
キ) 違う学年の友達が増えた	43.3	33.2	48.6	33.3	10	8	8	8
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった	38.9	30.2	50.5	43.3	15	13	7	6
ケ) 家族と話す時の話題が増えた	40.1	34.7	—	—	14	6	—	—
コ) 大人の人と、気兼ねなく、話ができるようになった	31.9	23.1	42.1	13.3	20	15	10	16
サ) 近所の人に挨拶をするようになった	34.9	23.1	—	—	19	15	—	—
シ) 昔からある、知らなかった遊びを覚えた	27.0	8.5	13.5	16.7	22	24	19	13
ス) 季節の行事が身近に感じられるようになった	31.6	15.4	18.5	16.7	21	21	17	13
セ) 昔からの伝承・習慣を、面白く感じられるようになった	36.0	16.2	24.0	20.0	18	19	15	11
ソ) 昔からの伝承・習慣を、大事にしたいと思うようになった	46.3	15.6	26.5	20.0	7	20	13	11
タ) すごい技能を持ち、すばらしいと思える人を知った	54.3	32.9	—	—	2	9	—	—
チ) 住んでいる地域の歴史を、もっと知りたくなった	26.0	13.9	19.8	10.0	24	22	16	18
ツ) 住んでいる地域の自然を、もっと知りたくなった	26.7	12.0	16.0	6.7	23	23	18	19
テ) 住んでいる地域の祭り・行事等に、参加するようになった	44.7	30.8	40.8	16.7	8	11	12	13
ト) 住んでいる地域が好きになった	44.7	20.9	24.4	13.3	8	18	14	16
ナ) 自分の楽しみが増えた	51.5	36.1	—	—	3	4	—	—
ニ) 自分に自信がもてるようになった	37.1	35.6	—	—	17	5	—	—
ヌ) 難しくてもチャレンジしてみようと思うことが増えた	46.5	33.9	50.7	40.0	6	7	6	7
ネ) 最後まで頑張ってやり遂げようと思うことが増えた	51.1	38.4	62.9	56.7	4	3	3	2

注) 「とてもそう思う」の割合

※網掛け部分：4 者のうち「とてもそう思う」の割合が最も高い回答者

5. 「伝統文化親子教室」事業の意義

本調査の目的は、この事業を通じて子供たちが計画的・継続的に伝統文化を体験・修得したことで、子供たちの伝統文化への意識や行動がどのように変化したかを調査し、この事業の実施効果を把握しようとするものである。子供たちの変化については、あくまでも子供、保護者、指導者、指導者＜放課後子供教室＞、それぞれの視点からの評価を、前章において分析してきた。

ここでは、保護者や指導者や指導者＜放課後子供教室＞がこの事業について、どのような意義を感じているのか、この事業とその意義についての保護者、指導者、指導者＜放課後子供教室＞の見方・考え方について、結果を整理する。

(1) 保護者の立場から

1) 「文化伝統」についての保護者の考え

調査結果にみるように、子供が「教室」に参加するのは子供の自主的行動ではなく、「両親」がきっかけとなっているケースが多い。その「鍵」を握る保護者が「伝統文化」についてどのように考えているかを知することは非常に重要である。「伝統文化親子教室」事業は、保護者の「伝統文化」についての考えに影響を受けるといっても過言ではない。

「伝統文化」についての考えを、保護者に聞いた結果を整理した。(図5-1)

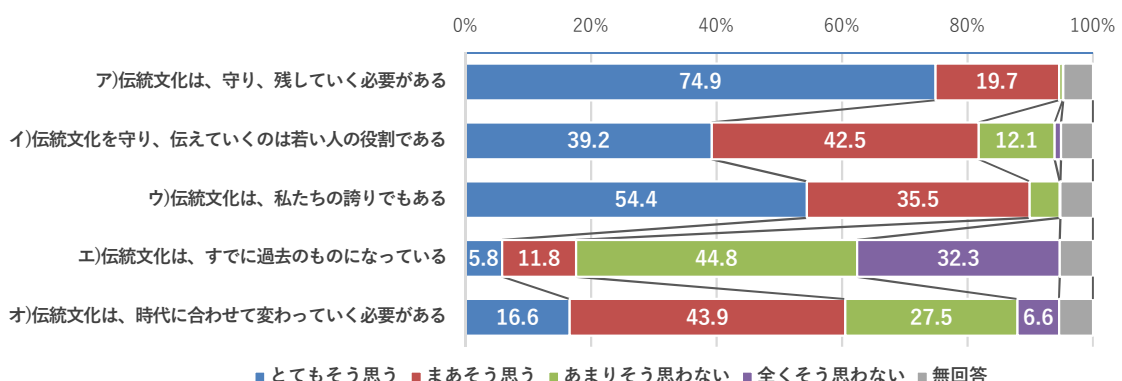
これをみると、ほぼ全ての保護者が伝統文化の保存・継承に必要性を感じている。「ア)伝統文化は、守り、残していく必要がある」では、74.9%が「とても、そう思う」と答え、ほぼ全員(94.6%)が「そう思う」(「とても、そう思う」「まあ、そう思う」の割合の合計)と回答した。

「イ)伝統文化を守り、伝えていくのは若い人の役割である」では、「とても、そう思う」(39.2%)と「まあ、そう思う」(42.5%)とに分かれるものの、合計では81.7%が、伝統文化を守り・伝えていく役割が若い人にあると考えている。

「ウ)伝統文化は、私たちの誇りでもある」では、「とても、そう思う」(54.4%)と「まあ、そう思う」(35.5%)とに分かれるものの、合計では89.9%が、伝統文化を自分たちの誇りと捉えている。

一方、「エ)伝統文化は、すでに過去のものになっている」では、「とても、そう思う」「そう思う」と回答する保護者が、17.6%と少なく、「あまり、そう思わない」(44.8%)「まったく、そう思わない」(32.3%)の方が大きく上回っている。保護者は「伝統文化」に好意的であるが、「オ)伝統文化は、時代に合わせて変わっていく必要がある」に関しては、賛否が分かれるところとなっている。この点に関しては、変化の内容や方向性によって賛否が分かれるものと推量されるところである。

図5-1. 【保護者調査】「伝統文化」についての考え（全体）

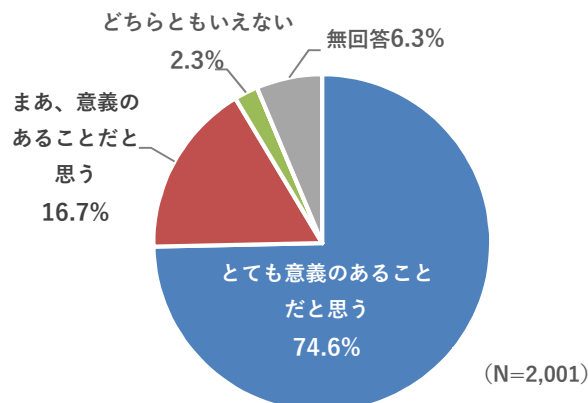


2) 保護者からみた「伝統文化親子教室」事業の意義

「伝統文化親子教室」事業が、どの程度意義のあるものかについて、保護者に尋ねた結果を示す。(図 5-2)

「伝統文化親子教室」事業について、7 割強 (74.6%) の保護者が「とても意義のあることだと思う」と回答している。「まあ、意義のあることだと思う」(16.7%) を加えると、ほぼ全て (91.3%) の保護者が事業に「意義がある」としており、高い評価結果を示している。

図 5-2. 【保護者調査】保護者からみた「伝統文化親子教室」事業の意義 (全体)



(2) 指導者の立場から

1) 指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の社会における役割

続いて、指導者がこの事業の意義をどのように捉えているのか整理する。(図 5-3)

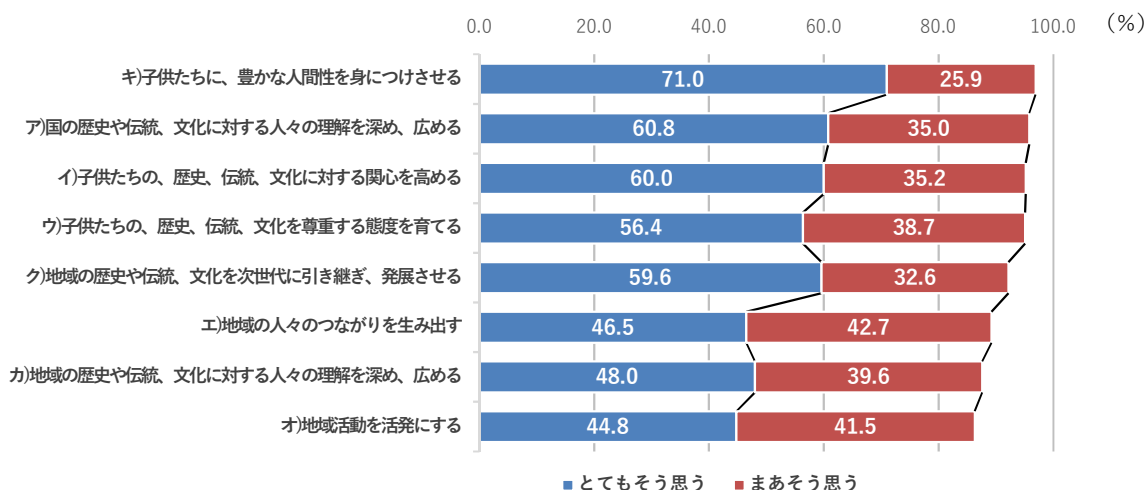
指導者に、「伝統文化親子教室」事業がどのような社会的役割を果たしているのかを尋ねた結果では、ほぼ全ての項目において事業の社会的役割を評価している。

調査で尋ねた 8 項目中 5 項目で、「役立っている」(「とても、役立っている」「まあ、役立っている」の合計) と考える指導者の割合は 9 割を超えている。90%を下回る項目は、「エ)地域の人々のつながりを生み出す」(89.2%)「カ)地域の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める」(87.6%)、「オ)地域活動を活発にする」(86.3%) であるが、それでも高い割合である。

ほぼ全指導者が「役立っている」と答えた項目が多いなかでも、「キ)子供たちに、豊かな人間性を身につけさせる」(96.9%) が最も評価が高く、「イ)子供たちの、歴史、伝統、文化に対する関心を高める」(95.2%・3 位)、「ウ)子供たちの、歴史、伝統、文化を尊重する態度を育てる」(95.1%・4 位) と共に、子供たちにとっての意義を重視する声が上位にある。

2 番目に多いのは、「ア)国の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める」(95.8%) で、「ク)地域の歴史や伝統、文化を次世代に引き継ぎ、発展させる」(92.2%)「エ)地域の人々のつながりを生み出す」(89.2%)「カ)地域の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める」(87.6%)「オ)地域活動を活発にする」(86.3%) など地域に対する役割よりも、より広い範囲での理解促進や、子供たちへの影響を重要視する意見が上位にある。

図 5-3. 【指導者調査】指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の社会における役割（全体）



次にこの事業の社会における役割を、指導者の年齢・性別に整理する。(表 5-1)

この表の中の数値は、各項目で「とても、役立っている」と回答した割合である。

年齢別では、「とても、役立っている」と回答した割合が多いのは「50 歳代 (50～59 歳)」であり、次いで「40 歳代 (40～49 歳)」で、伝統文化保護への意識が高いといえる。

また、男女別では、男性 2 つ、女性 5 つの項目の回答割合が高かった。女性よりも男性の回答割合が高いのは、「エ) 地域の人々のつながりを生み出す」「オ) 地域活動を活発にする」といった、地域に対する役割を重視する項目である。男性よりも女性の回答割合が高いのは、「ア) 国の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める」「イ) 子供たちの、歴史、伝統文化に対する関心を高める」「ウ) 子供たちの歴史、伝統、文化を尊重する態度を育てる」「キ) 子供たちに、豊かな人間性を身につけさせる」「ク) 地域の歴史や伝統、文化を次世代に引き継ぎ、発展させる」といったより広い範囲での理解促進や、子供たちへの影響を重視する項目である。

表 5-1. 【指導者調査】指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の社会における役割
(全体／指導者の年齢／性別)

(%)

	全 体 (N= 525)	指導者の年齢							性 別			
		～39 歳 (N= 62)	40～49 歳 (N= 80)	50～59 歳 (N=100)	60～69 歳 (N=115)	70～79 歳 (N=114)	80 歳～ (N= 43)	無回答 (N= 11)	男 性 (N=199)	女 性 (N=312)	その他 (N= 0)	無回答 (N= 14)
ア) 国の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める	60.8	58.1	63.8	72.0	60.0	59.6	48.8	18.2	53.8	66.7	0.0	28.6
イ) 子供たちの、歴史、伝統、文化に対する関心を高める	60.0	61.3	62.5	73.0	59.1	53.5	51.2	27.3	52.8	65.7	0.0	35.7
ウ) 子供たちの、歴史、伝統、文化を尊重する態度を育てる	56.4	58.1	62.5	65.0	56.5	52.6	41.9	18.2	49.2	62.2	0.0	28.6
エ) 地域の人々のつながりを生み出す	46.5	53.2	61.3	44.0	43.5	46.5	32.6	9.1	51.8	44.6	0.0	14.3
オ) 地域活動を活発にする	44.8	53.2	52.5	46.0	43.5	42.1	34.9	9.1	49.2	42.9	0.0	21.4
カ) 地域の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める	48.0	51.6	62.5	58.0	43.5	40.4	32.6	18.2	47.7	49.0	0.0	28.6
キ) 子供たちに、豊かな人間性を身につけさせる	71.0	71.0	77.5	79.0	71.3	70.2	53.5	27.3	66.3	75.6	0.0	35.7
ク) 地域の歴史や伝統、文化を次世代に引き継ぎ、発展させる	59.6	66.1	71.3	68.0	57.4	51.8	48.8	9.1	56.8	63.1	0.0	21.4

注)「とても思う」の割合

※網掛け部分:「とても思う」の割合が最も高かった年齢、性別

指導者が自身の「教室」以外で、伝統文化等を本格的に習いたい子供に対して、参加できる教室を開いているかどうかの割合である。(図 5-4)

3 分の 2 の方が「いいえ」と回答しており、自身の「教室」以外での活動はされていない。

またその中で「他の習い事教室等を紹介している」(30.7%)「特に何もしていない」(53.9%)と紹介でき

る環境がある、ないも考えられるが、大きな差となっている。(図 5-5)

図 5-4.【指導者調査】

「教室」以外で伝統文化を本格的に習いたい子供が参加できる教室を開いているか。(全体)

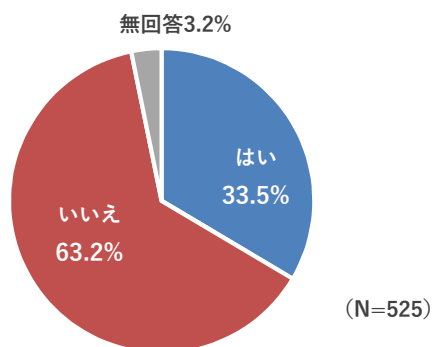
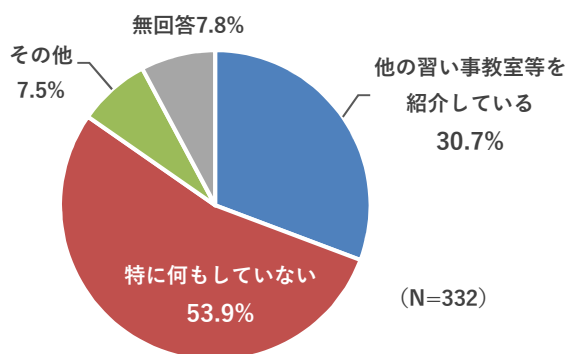


図 5-5.【指導者調査】

「教室」以外で伝統文化を本格的に習いたい子供がいる場合 どのように提供しているか。(全体)

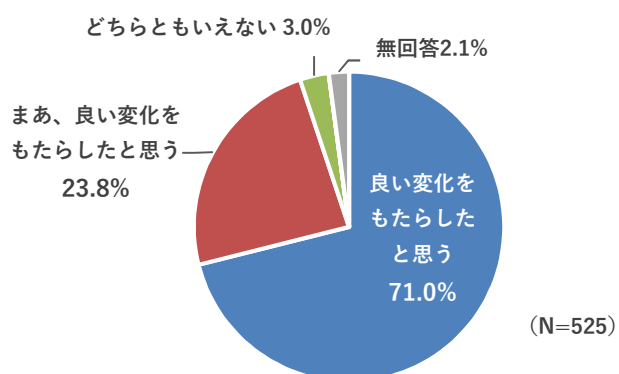


2) 指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の意義

次に、指導者からみた「伝統文化親子教室」事業が指導者にもたらした変化をみてる。(図 5-6)

これをみると指導者の大半が「教室」の事業によって指導者自身に「良い変化をもたらしたと思う」とし、「まあ、良い変化をもたらしたと思う」も合わせると「良い変化をもたらした」と評価する指導者の割合は、9割(94.8%)に達しており、指導者は、この事業の自分自身にとっての意義を大きく評価しているとみることができる。

図 5-6.【指導者調査】「伝統文化親子教室」事業が指導者にもたらした変化(全体)



3) 指導者からみた伝統文化親子教室」事業の【地域展開型】の認知

「伝統文化親子教室」事業の【地域展開型】の認知をみる（図 5-7）

これをみると、指導者の7割以上は【地域展開型】を知らない。また「はい」(25.7%)と答えた方で、【地域展開型】と「連携している」(28.1%)「連携していない」(68.1%)と大きな差がある。(図 5-8)

図 5-7 【指導者調査】地方公共団体が実施している【伝統文化親子教室】事業【地域展開型】を知っているか。(全体)

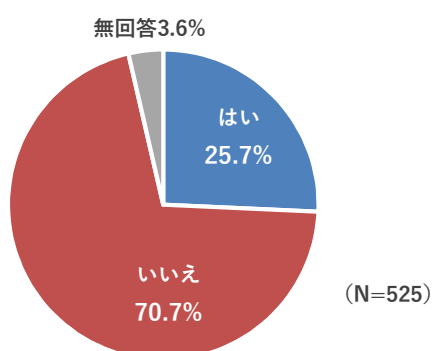
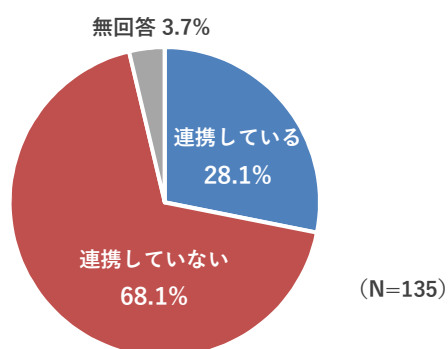
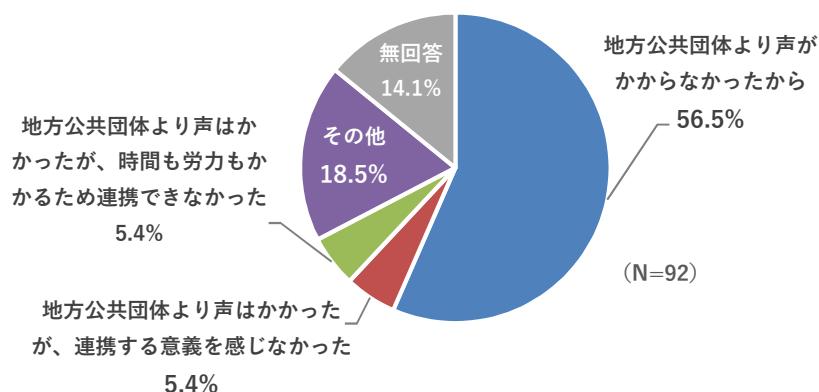


図 5-8. 【指導者調査】地方公共団体が実施している【伝統文化親子教室】事業【地域展開型】と連携をしているか (全体)



連携を行わない理由については、「地方公共団体より声がかからなかったから」(56.5%)と約6割の指導者が回答している。「地方公共団体より声はかかったが、時間も労力もかかるため連携できなかった」(5.4%)と低いので、声がかかれば、連携の広がっていく可能性があるとも予想できる。(図 5-9)

図 5-9. 【指導者調査】「伝統文化親子教室」事業【地域展開型】との連携を行わない理由 (全体)



(3) 指導者＜放課後子供教室＞の立場から

1) 指導者から見たから見た＜放課後子供教室＞の社会における役割

続いて、放課後子供教室の「教室」の指導者がこの事業の意義をどのように捉えているのか整理する。

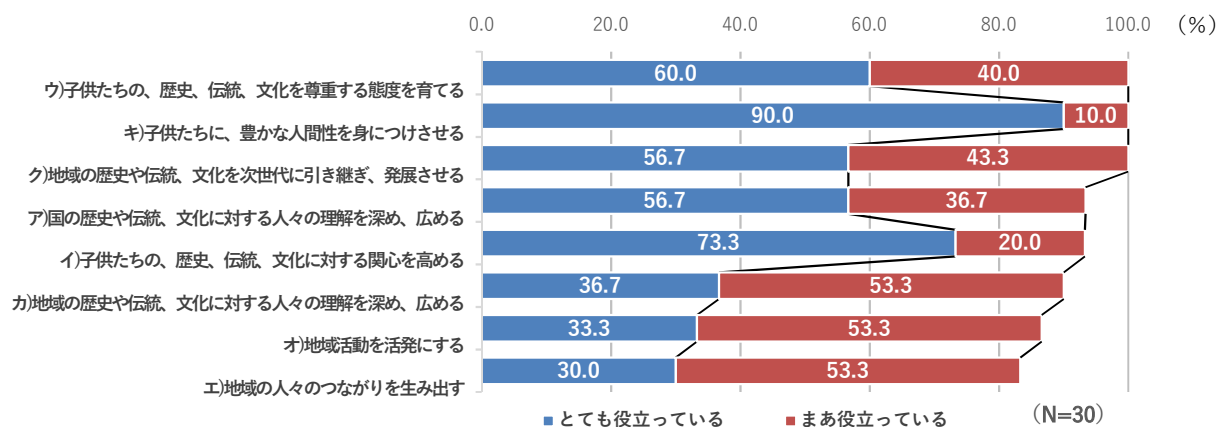
(図 5-10)

指導者に、「放課後子供教室事業」がどのような社会的役割を果たしているのかを尋ねた結果では、ほぼ全ての項目において事業の社会的役割を評価している。

全指導者が「役立っている」と答えた項目は「ウ)子供たちの、歴史、伝統、文化を尊重する態度を育てる」「キ)子供たちに、豊かな人間性を身につけさせる」「ク)地域の歴史や伝統、文化を次世代に引き継ぎ、発展させる」が 100%に達している。

さらに、「ア)国の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める」(93.4%)「イ)子供たちの、歴史、伝統、文化に対する関心を高める」(93.3%)「カ)地域の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める」(90.0%)の3項目が90%を超えている。

図 5-10. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】
指導者から見た放課後子供教室の社会における役割（全体）



放課後子供教室の社会における役割についての回答結果を、指導者の年齢・性別ごとに整理してみる。

(表 5-2)

表の中の数値は、「とても、役立っている」とした人の割合であるが、各年齢層の指導者、および男性の指導者の数が少なく、この数値から結果を断定することは難しい。

表 5-2. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】指導者から見た放課後子供教室の社会における役割
(全体／指導者の年齢／性別)

(%)

	全 体 (N=30)	年 齢							性 別			
		～39 歳 (N=1)	40～49 歳 (N=5)	50～59 歳 (N=14)	60～69 歳 (N=3)	70～79 歳 (N=6)	80 歳～ (N=1)	無回答 (N=0)	男性 (N=11)	女性 (N=19)	その他 (N=0)	無回答 (N=0)
ア)国の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める	56.7	0.0	40.0	57.1	33.3	83.3	100.0	0.0	45.5	63.2	0.0	0.0
イ)子供たちの、歴史、伝統、文化に対する関心を高める	73.3	100.0	60.0	78.6	66.7	66.7	100.0	0.0	54.5	84.2	0.0	0.0
ウ)子供たちの、歴史、伝統、文化を尊重する態度を育てる	60.0	0.0	40.0	71.4	33.3	66.7	100.0	0.0	45.5	68.4	0.0	0.0
エ)地域の人々のつながりを生み出す	30.0	0.0	40.0	14.3	33.3	50.0	100.0	0.0	18.2	36.8	0.0	0.0
オ)地域活動を活発にする	33.3	0.0	20.0	21.4	33.3	66.7	100.0	0.0	27.3	36.8	0.0	0.0
カ)地域の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深め、広める	36.7	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
キ)子供たちに、豊かな人間性を身につけさせる	90.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
ク)地域の歴史や伝統、文化を次世代に引き継ぎ、発展させる	56.7	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0

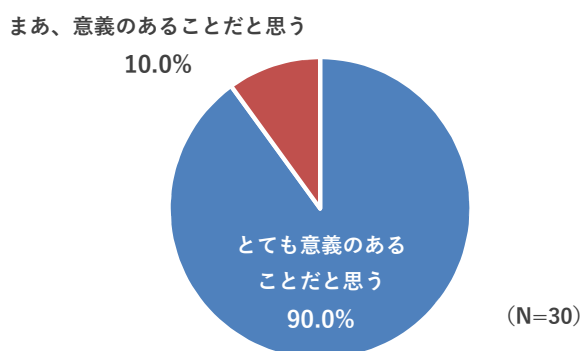
2) 指導者からみたからみた＜放課後子供教室＞の意義

指導者からみた放課後子供教室の意義についてみる。(図 5-11)

これをみると、指導者のうち 9 割以上が「教室」の事業を「とても意義のあることだと思う」(90.0%)と答えている。

「どちらともいえない」「意義のあることだと思わない」などの回答は見られなかった。

図 5-11. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】指導者からみた放課後子供教室の意義（全体）



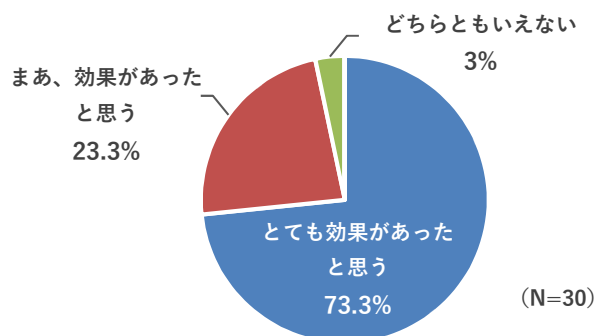
3) 指導者からみたからみた「伝統文化親子教室」事業と＜放課後子供教室＞の連携

次に、放課後子供教室の「教室」の指導者からみた、「伝統文化親子教室」事業との連携効果についてみる。(図 5-12)。

連携した結果について、「とても、効果があったと思う」(73.3%)、「まあ、効果があったと思う」(23.3%)を合わせると、96.6%が「効果があったと思う」と答えた。放課後子供教室の「教室」の指導者は、「伝統文化親子教室」事業との連携の効果を大きく評価している

図 5-12. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

指導者からみた「伝統文化親子教室」事業と、放課後子供教室の連携効果（全体）

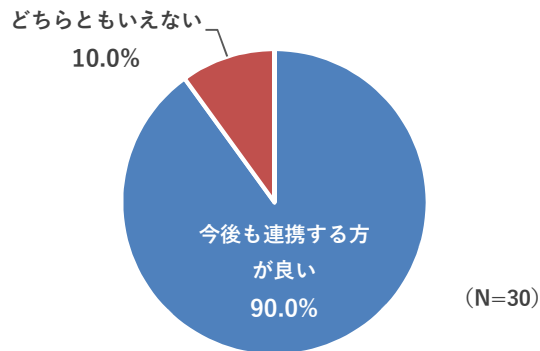


放課後子供教室の「教室」の指導者からみた、「伝統文化親子教室」事業との今後の連携についてみる。(図 5-13)

これをみると、「今後も連携する方が良い」とする指導者は 90.0%であった。「どちらともいえない」との回答は 10.0%と、「今後は事業を分けて行う方が良い」との回答は見られなかった。

図 5-13. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

指導者からみた「伝統文化親子教室」事業と、放課後子供教室の今後の連携について（全体）



「子供教室」以外で、伝統文化等を本格的に習いたい子供に対して、参加できる教室を開いているかどうかの割合である。（図 5-14）

半数の方が「はい」（50.0%）と回答しており、自身の「教室」以外での「教室」を開いている。

「いいえ」（50.0%）も半数おり、その中の 6 割の方が「特に何もしていない」（60.0%）という結果が出ている。（図 5-15）

図 5-14. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

「教室」以外で伝統文化を本格的に習いたい子供が参加できる教室を開いているか。（全体）

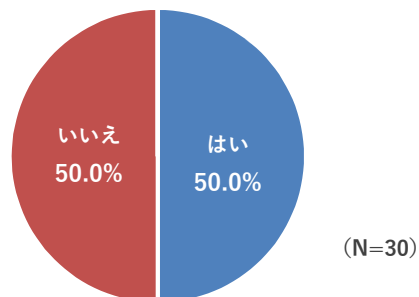
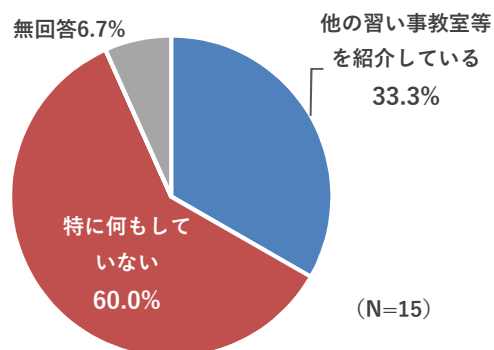


図 5-15. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

「教室」以外で伝統文化を本格的に習いたい子供がいる場合どのように提供しているか。（全体）



4) 指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の【地域展開型】の認知

放課後子供教室の「教室」の指導者からみた事業「伝統文化教室事業」【地域展開型】の認知をみる。
(図 5-16) これをみると、指導者の 4 割は【地域展開型】を知っている。

「はい」(40.0%)と答えた方で、【地域展開型】と「連携している」(16.7%)「連携していない」(75.0%)と大きな差がある。(図 5-17)

図 5-16. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

地方公共団体が実施している「伝統文化親子教室」事業【地域展開型】を知っているか。(全体)

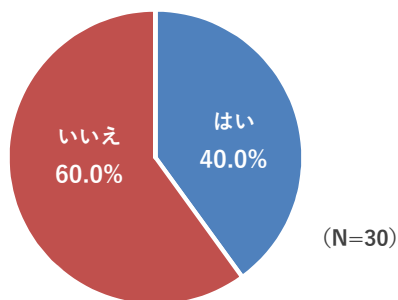
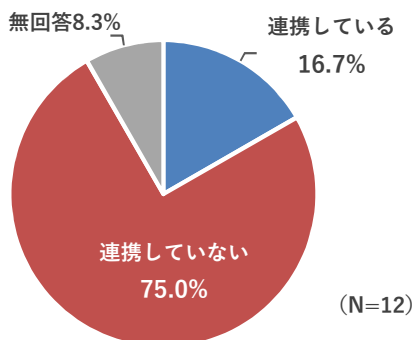


図 5-17. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

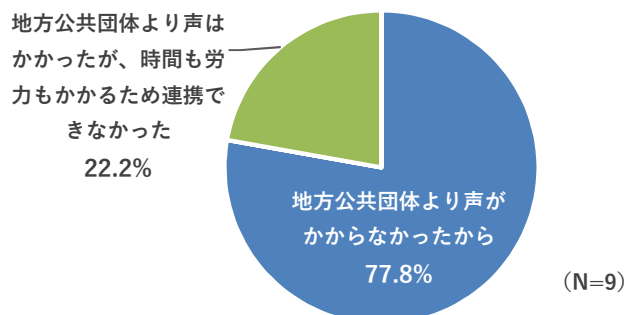
地方公共団体が実施している「伝統文化親子教室」事業【地域展開型】と連携をしているか(全体)



連携を行わない理由については、「地方公共団体より声がかからなかったから」(77.8%)と約 8 割弱の指導者が回答している。「地方公共団体より声はかかったが、時間も労力もかかるため連携できなかった」(22.2%)と、連携するにあたっての何か課題などがあるとも考えられる。(図 5-18)

図 5-18. 【指導者調査＜放課後子供教室＞】

「伝統文化親子教室」事業【地域展開型】との連携を行わない理由(全体)



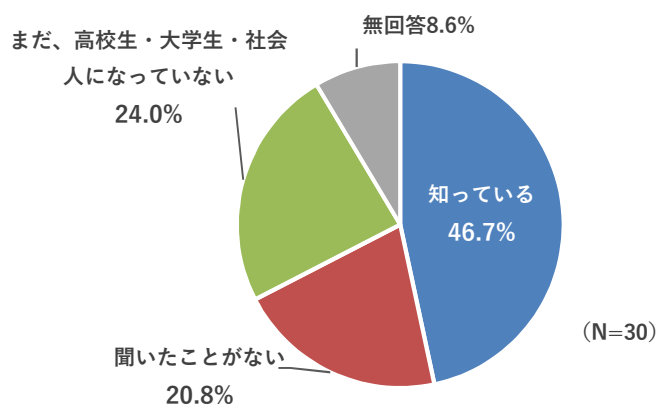
(4) 「伝統文化親子教室」事業の伝統文化の継承への効果

「伝統文化親子教室」事業が伝統文化の継承・発展に寄与しているかどうかについては、平成 29 年度の調査より、指導者に対する質問として、高校生・大学生・社会人になった今でも過去の「教室」で習ったことを続けている者を知っているかどうか、という項目を設けた。

図 5-19 は、本年度（令和 6 年度）の結果をまとめたものである。まだ 8 回目の調査であるため正確な実態・傾向を把握することはできないが、半数近くの指導者が「知っている」と回答していることから、「伝統文化親子教室」事業が、伝統文化の継承・発展に一定程度は寄与していると考えられる。

図 5-19 【指導者調査】

過去の「教室」参加者で 高校生・大学生・社会人になっても続けている者を知っているか（全体）



以上、【子供調査】【保護者調査】【指導者調査】【指導者調査＜放課後子供教室＞】の4つの調査を通じ、「伝統文化親子教室」事業の意義について概観した。

第1章では、調査対象となった子供、保護者、「伝統文化親子教室」の指導者、放課後子供教室の指導者のプロフィールを整理した。

第2章では、「伝統文化親子教室」事業に参加した子供たちとその保護者の、子供たちの「教室」への参加に対する評価と継続意向をみてきた。

第3章では、子供たちは、何をきっかけにどのような動機で「教室」に参加したか、保護者はどこから「教室」についての情報を得て、どのような動機で子供を「教室」に参加させたかをみてきた。

第4章では、「教室」に参加したことによる子供の変化を、子供自身、保護者、そして「伝統文化親子教室」事業の指導者、放課後子供教室の「教室」の指導者がどのように捉えているかを分析した。

そして、第5章では、保護者と指導者、指導者＜放課後子供教室＞が、「教室」の事業の社会的意義をどのように評価しているかについてみてきた。

本調査では、「伝統文化親子教室」事業が、参加する子供たちにもたらす変化について、子供たち自身も保護者も高く評価しているということが認められた。また、そうした現場の実感から「伝統文化親子教室」事業そのものの社会的意義についても、保護者や指導者からは高く評価されているという結果をみてきた。

調査対象が、「伝統文化親子教室」事業の第三者ではなく、当事者であることから、おのずと好印象をもった回答が多くなる要素は否めないが、「教室」で習い、今後も習い続ける意志の背景には、学校とはまた異なる教育の場で、礼儀やマナーを含めた人間形成や、精神的な成長の実感を伴う中で、この事業が評価されているのであり、子供たちも保護者も率直な意見を述べている結果の高評価であることは否定できない。

また、過去10か年以上にわたる調査結果において、その調査結果に極端な変化が認められないことも、「伝統文化親子教室」事業が一定程度の評価を得ていることを証明するものであるといえる。

総じて、「伝統文化親子教室」事業が果たす社会的役割は、子供、保護者、指導者のみならず、これらの関係者を取り巻く知人や地域の人々を通して、その高い評価とともに浸透し、伝承されていくものと考ええる。

6. 付 録

(調査票及び単純集計結果)

子供調査 単純集計結果 (N = 2, 000 / %)

「伝統文化親子教室」についての調査

この調査は、「伝統文化親子教室」に通う小学生・中学生が、「教室」の活動にどのように取り組み、そこから何を学んでいるかを調べて、これから、どのような「教室」にしていってよいかを考える時の参考にしようというものです。

テストではありませんし、名前を書いていただく必要もありません。思ったこと、考えたことなどを、ありのままに答えてください。

よろしくお願いします。

令和6年10月

伝統文化親子教室事業 事務局（株式会社KBC内）

〒135-0062 東京都江東区東雲 1-7-12 KDX 豊洲グランスクエア 3階

TEL : 0570-666-133 / FAX : 03-6730-6029

E-mail : oyakokyoshitsu@gp.knt.co.jp

【お問い合わせ対応時間：平日 10:00～17:00（土日祝及び年末年始休み）】

答えていただくときの注意

- この調査は、小学校4年生から中学校3年生にお願いをしています。
あなたがそれ以外の学年の場合には、「教室」の先生に申し出てください。
- 調査は、あなたの「教室」に通っているみなさんのうちの何人かにお願いしています。
全員にお願いをしているわけではありません。
- 数字に○をつけて答えてください。
- 「教室」で、活動の間の時間を使って答えてください。
答え終わった調査票は、「教室」の先生にわたしてください。

各教室の代表者の方へお願い

児童・生徒の皆さんが回答して下さった調査票は、以下に「団体コード」をご記入の上、取りまとめて事務局までご返送ください。

団体コード

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

この調査票は小学4年生～中学3年生の方への調査票です。

それ以外の学年の方は何も答えずに「教室」の先生に、この調査票を返してください。

◎まず、あなたのことをお聞きします。

Q1. 学年と性別について、それぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。

A) あなたの学年は…

- | | | | |
|----------|------|-----|-----|
| 1. 小学4年生 | 27.2 | | |
| 2. 小学5年生 | 23.6 | | |
| 3. 小学6年生 | 21.8 | | |
| 4. 中学1年生 | 9.0 | | |
| 5. 中学2年生 | 8.2 | | |
| 6. 中学3年生 | 5.8 | N.A | 4.5 |

B) あなたの性別は…

- | | | | |
|--------|------|-----|-----|
| 1. 男 | 32.6 | | |
| 2. 女 | 60.9 | | |
| 3. その他 | 0.1 | N.A | 6.6 |

◎ここからは、「伝統文化親子教室」（これからあと、「教室」とよびます）への参加についてお聞きします。

Q2. 「教室」では何を習っていますか？ あてはまる番号に○をつけてください。

どこに○をつけてよいか、わからないときには、「教室」の先生に聞いてください。

- | | |
|---|------|
| 1. 神楽（かぐら）、獅子舞（ししまい）、お囃子（おはやし） | 8.9 |
| 2. 民謡（みんよう）、民舞（みんぶ）：昔から伝わっている踊り、
民俗芸能（みんぞくげいのう）：お芝居（おしばい）や人形芝居（にんぎょうしばい） | 3.9 |
| 3. 和太鼓（わだいこ） | 6.9 |
| 4. 祭り行事 | 4.7 |
| 5. 能楽（のうがく） | 2.7 |
| 6. 邦楽（ほうがく）：箏（こと）、三味線（しゃみせん）、尺八（しゃくはち）、
笛（ふえ）、太鼓（たいこ）など | 9.7 |
| 7. 日本舞踊（にほんぶよう）、邦舞（ほうぶ） | 6.4 |
| 8. 伝統工芸（でんとうこうげい）：昔から伝えられてきた物づくり | 1.9 |
| 9. 百人一首（ひゃくにんいつしゅ）、カルタ、囲碁（いご）、将棋（しょうぎ） | 11.4 |
| 10. 茶道（さどう）、華道（かどう） | 18.2 |
| 11. 武道（ぶどう）：柔道（じゅうどう）、剣道（けんどう）、弓道（きゅうどう）、
相撲（すもう）、古式泳法（こしきえいほう）など | 7.8 |
| 12. 書道（しょどう） | 3.3 |
| 13. 着物の着付けや作法（さほう） | 2.8 |
| 14. 昔の遊びや仕事（おりがみ、お手玉、さかなとり、田植えなど） | 0.7 |

15. 食文化、郷土料理（きょうどりょうり）	0.8
16. その他（何ですか？：_____）	6.5
	N.A 3.2

Q 3. あなたが、習っていることは、「教室」に通うようになってはじめて習ったことですか？

それとも、「教室」に通う前にも習っていたことですか？

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 「教室」に通うようになってはじめて習ったこと	79.6
2. 「教室」に通う前にも習っていたこと	12.5
	N.A 8.0

Q 4. 「教室」に通うのは、今年で何年目ですか？

通わなかった年や「教室」が開かれなかった年はのぞいて、何年目になるのか、

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 今年はじめて	24.4
2. 2年目	20.1
3. 3年目	15.9
4. 4年目	10.6
5. 5年目	8.1
6. 6年目	6.7
7. もっと長く通っている	8.6
	N.A 5.9

「2から7」に○をつけた人だけ、答えてください。

Q 4-2. あなたはこの一年間、「教室」で習ったことをきっかけに、今参加している「教室」以外に

伝統文化等にかかわる活動を行ったことがありますか？

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. ある	21.1
2. ない	76.2
	N.A 2.7

「1」に○をつけた人だけ、答えてください。

Q 4-3. 具体的な活動に、あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 「教室」以外で伝統文化等の習い事を始めた。	36.9
2. 学校で伝統文化等のクラブや部活に入った。	30.8
3. その他（どんな活動ですか？：_____）	25.8
	N.A 6.4

Q 5. 「教室」には、自分から通ってみようと思ったのですか？

それとも、誰かからさそわれたり、言われたりして通うようになったのですか？

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | | |
|--------------------------------|------------|------|
| 1. 自分から通ってみようと思った。 | -----→Q 6へ | 39.7 |
| 2. 誰かからさそわれたり、言われたりして通うようになった。 | | 52.9 |
| | N.A | 7.5 |

「2」に○をつけた人だけ、教えてください。

S Q. それは誰ですか？

あなたをさそったり、通うように言った人、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. お父さんやお母さん | 59.0 |
| 2. きょうだい | 12.3 |
| 3. おじいさんやおばあさん | 7.1 |
| 4. しんせきの人 | 2.3 |
| 5. 学校の先生 | 3.6 |
| 6. おけいこで通っているところの先生 | 5.8 |
| 7. 友だち | 26.5 |
| 8. 近所に住んでいる人 | 3.8 |
| 9. その他（だれですか？：_____） | 1.7 |
| | N.A 0.5 |

Q 6. 「教室」に通うことにしたのは、なぜですか？

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|---------|
| 1. おもしろいこと、むちゅうになれることができそうだったから。 | 48.2 |
| 2. ほかに人にはできないことができそうだったから。 | 26.7 |
| 3. おとなになれるような気がしたから。 | 5.7 |
| 4. 友だちができそうだったから。 | 17.1 |
| 5. 学校の勉強に役立ちそうだったから。 | 7.5 |
| 6. 生活に役立ちそうだったから。 | 12.0 |
| 7. 住んでいる町や村について、もっとくわしくなれそうだったから。 | 5.4 |
| 8. 家の近くに住んでいる人と、知り合いになれるそうだったから。 | 3.3 |
| 9. とくにわけはない。 | 12.5 |
| 10. その他の理由（なぜですか？：_____） | 11.3 |
| | N.A 6.6 |

Q7.「教室」に通うようになって、あなたがどのように変わったかをお聞きます。

つぎのア)～ネ)のそれぞれの質問について、どのくらい「そう思うか」、

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

◎「教室」に通うようになって…	1. とても そう 思う	2. まあ そう 思う	3. あまり そう 思わ ない	4. ぜん ぜん そう 思わ ない	5. N. A
ア) 習っていることが、 上手にできるようになりましたか？	50.6	39.6	4.2	0.7	5.0
イ) 習っていることが、 おもしろく感じられるようになりましたか？	57.5	32.7	4.1	0.6	5.3
ウ) 習っていることを、他の人に見てもらったり、 聞いてもらったりしてほしくなりましたか？	38.9	38.0	15.3	2.6	5.3
エ) 返事やお礼がしっかり言えたり、 あいさつができたり、礼儀正しくなりましたか？	40.7	42.0	10.2	1.7	5.5
オ) 使ったものの後かたづけを 自分でできるようになりましたか？	43.3	38.4	10.5	2.2	5.7
カ) 学校の友だちのほかに、友だちがふえましたか？	42.7	29.0	13.7	8.8	5.9
キ) 年上の友だちや、年下の友だちがふえましたか？	43.3	28.7	14.8	7.6	5.7
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるよう になりましたか？	38.9	37.5	13.6	4.4	5.7
ケ) お父さんやお母さんなど、 家の人と話す時の話題がふえましたか？	40.1	36.0	14.2	4.2	5.6
コ) 大人の人と、きがるに、 話ができるようになりましたか？	31.9	37.3	20.1	4.8	6.0
サ) 近所の人にあいさつをするようになりましたか？	34.9	38.4	15.8	5.0	6.0
シ) 昔からある、知らなかった遊びを 覚えましたか？	27.0	27.5	27.2	12.0	6.3
ス) お正月や豆まき、ひな祭りや七夕などの行事が 身近に感じられるようになりましたか？	31.6	34.4	21.4	6.8	6.0
セ) 生活のなかで昔から伝えられてきていることや 守られてきていることを、おもしろく思うよう になりましたか？	36.0	39.2	15.4	3.4	6.1

◎「教室」に通うようになって…	1. とても そう 思う	2. まあ そう 思う	3. あまり そう 思わ ない	4. ぜん ぜん そう 思わ ない	5. N. A
ソ) 生活のなかで昔から伝えられてきていることや 守られてきていることを、大事にしたいと 思うようになりましたか？	46.3	39.2	8.1	1.4	5.1
タ) 「教室」のなかですごい技や力をもっていて、 素晴らしいと思える人を知りましたか？	54.3	30.8	7.6	2.0	5.4
チ) 住んでいるところの歴史をもっと知りたく なりましたか？	26.0	36.6	25.5	6.7	5.3
ツ) 住んでいるところの自然をもっと知りたく なりましたか？	26.7	35.4	26.6	6.2	5.2
テ) 住んでいるところのお祭りや行事に 参加するようになりましたか？	44.7	31.7	14.0	4.0	5.6
ト) 住んでいるところが好きになりましたか？	44.7	35.6	12.0	2.2	5.6
ナ) 自分の楽しみがふえましたか？	51.5	34.2	7.0	1.8	5.7
ニ) 自分に自信がもてるようになりましたか？	37.1	39.0	14.5	3.6	6.0
ヌ) むずかしくてもチャレンジしてみようという 気持ちになることがふえましたか？	46.5	36.0	10.2	2.0	5.4
ネ) 最後までがんばってやりとげようと 思うことがふえましたか？	51.1	33.5	8.1	1.7	5.7

Q 8. 「教室」には、どのくらいの割合で参加していますか？

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

1. 毎回、参加している。	42.7
2. 時々、休むことがある。	41.2
3. 参加することと、休むことがそれぞれ半分くらい。	5.1
4. 時々、参加するくらい。	2.9
5. ほとんど、参加していない。	0.5
N.A	7.8

※次のページに続きます。

Q 9. 「教室」で習っていることについて書かれている本を、読むことがありますか？

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------|
| 1. よく、ある。 | 8.3 |
| 2. 時々、ある。 | 25.7 |
| 3. ほとんど、ない。 | 34.4 |
| 4. ぜんぜん、ない。 | 25.6 |
| | N.A 6.1 |

Q10. 「教室」で習っていることをとりあげたテレビ番組を、見ることがありますか？

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | |
|-------------|---------|
| 1. よく、ある。 | 10.5 |
| 2. 時々、ある。 | 31.6 |
| 3. ほとんど、ない。 | 28.8 |
| 4. ぜんぜん、ない。 | 23.2 |
| | N.A 6.1 |

Q11. 「教室」に通ってよかったと思いますか？ あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------|
| 1. とても、よかったと思う。 | 61.5 |
| 2. まあ、よかったと思う。 | 30.6 |
| 3. あまり、よかったと思わない。 | 1.4 |
| 4. まったく、よかったと思わない。 | 0.4 |
| | N.A 6.2 |

(3, 4 の理由 : _____)

Q12. 「教室」で習っていることは、生活のなかで、どのくらい、役に立ちそうですか？

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------|
| 1. とても、役に立ちそう。 | 27.3 |
| 2. まあ、役に立ちそう。 | 55.7 |
| 3. あまり、役に立ちそうもない。 | 9.3 |
| 4. まったく、役に立ちそうもない。 | 1.4 |
| | N.A 6.4 |

(3, 4 の理由 : _____)

Q13. 「教室」で習っていることを、これからも続けて習っていきたいと思いますか？

あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|---------|
| 1. 「教室」で続けて習っていきたい。 | 81.5 |
| 2. 「教室」とは別のところで本格的に習っていきたい。 | 5.0 |
| 3. この「教室」で習うだけにして、習い続けたいとは思わない。 | 6.8 |
| | N.A 6.8 |

(3 の理由 : : _____)

Q14. 博物館や美術館などに行くことがありますか？あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------|
| 1. よく、ある。 | 7.5 |
| 2. 時々、ある。 | 34.9 |
| 3. ほとんど、ない。 | 32.6 |
| 4. ぜんぜん、ない。 | 18.9 |
| N.A | 6.2 |

Q15. 伝統文化は大切だと思いますか？あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------|
| 1. とても、大切だと思う。 | 56.6 |
| 2. まあ、大切だと思う。 | 34.9 |
| 3. あまり、大切だと思わない。 | 1.8 |
| 4. ぜんぜん、大切だと思わない。 | 0.4 |
| N.A | 6.5 |

(3,4の理由：_____)

Q16. 伝統文化親子教室事業のホームページ (<http://www.oyakokyoshitsu.jp/>) を見たことがありますか？あてはまる番号ひとつに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------|
| 1. 見たことがある。 | 7.9 |
| 2. 見たことがない。 | 86.0 |
| N.A | 6.2 |

質問はこれで終わりです。「教室」の先生にわたしてください。

最後まで答えてくださり、ありがとうございました。

「伝統文化親子教室」についての調査

日増しに秋の深まりを感じる季節となり、皆様ご健勝にお過ごしのことと思います。日頃、「伝統文化親子教室」についてご理解くださり、また、お子さまを「教室」の活動に参加させていただき、感謝申し上げます。

このたび、文化庁の委託を受けて「伝統文化親子教室」の事業を実施しています伝統文化親子教室事業事務局では、お子さまの「教室」への参加の実態と、お子さまが「教室」での活動に参加されたことでどのように変わられたかを調べ、「教室」の成果を検証することになりました。つきましては、お子さまの保護者の皆さんにも、調査にご協力をいただきたく、お願い申し上げます。

調査は、無記名で行います。また、書いていただいた答えは数字に直して処理いたしますので、どなたが、どのようにお答えになったかはわからないようになっていきます。調査データの保管や取扱いには、十分に注意いたします。その点、ご安心のうえ、お答えください。

調査の趣旨をご理解くださり、よろしくご協力をお願いいたします。

令和6年10月

伝統文化親子教室事業事務局（株式会社KBC内）

〒135-0062 東京都江東区東雲 1-7-12 KDX 豊洲グランスクエア 3 階

TEL : 0570-666-133 / FAX : 03-6730-6029

E-mail : oyakokyoshitsu@gp.knt.co.jp

【お問い合わせ対応時間：平日 10:00～17:00（土日祝及び年末年始休み）】

お答えいただくときの注意

1. この調査は、「伝統文化親子教室」に通っていらっしゃる小学校4年生から中学校3年生の保護者の方をお願いをしています。
2. 調査は、「教室」に通っているお子さんのうちの何人かの保護者の方をお願いをしています。すべての保護者の方をお願いをしているわけではありませんので、その点、ご承知おきください。
3. 数字に○をつけてお答えください。
4. 記入済の調査票は、活動の日に、お子さんを通じて、「教室」までご提出ください。
5. 調査のことについておわかりにならないことなどがありましたら、上記の「伝統文化親子教室事業事務局」までお問い合わせください。

各教室の代表者の方をお願い

保護者の方にお答えいただいた調査票は、以下に「団体コード」をご記入の上、取りまとめて事務局までご返送ください。

団体コード

		-				-			
----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------

※次のページに続きます。

この調査票はお子さんの学年が小学4年生～中学3年生の方への調査票です。
 それ以外の学年の方は何も答えずに、この調査票を御返却ください。
 また、兄弟、姉妹のお子さん、それぞれから調査票を受け取った場合には、まとめて回答せずに、
 それぞれについて回答をお願いします。
 その場合、同じ保護者の方が回答してくださっても、それぞれ別の保護者の方が回答してくださっても、
 構いません。

◎「伝統文化親子教室」（以下、「教室」と呼びます）より、この調査票を持ち帰ったお子さん
 （以下、「お子さん」と呼ばさせていただきます）について、お伺いします。

Q1. あなたと調査票を持ち帰ったお子さんとの関係をお聞きます。あなたは、調査票を持ち帰ったお
 子さんの何にあたりますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|------|
| 1. 母親 | 78.5 |
| 2. 父親 | 14.9 |
| 3. 祖母 | 1.7 |
| 4. 祖父 | 0.4 |
| 5. その他（どのような関係ですか：_____） | 0.1 |
| N.A | 4.3 |

Q2. 調査票を持ち帰ったお子さんの学年と性別をお聞きます。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

A) お子さんの学年は…

- | | | | | |
|----------|------|-----|-----|--|
| 1. 小学4年生 | 28.6 | | | |
| 2. 小学5年生 | 23.5 | | | |
| 3. 小学6年生 | 20.6 | | | |
| 4. 中学1年生 | 8.4 | | | |
| 5. 中学2年生 | 8.0 | | | |
| 6. 中学3年生 | 5.5 | N.A | 5.3 | |

B) お子さんの性別は…

- | | | | | |
|--------|------|-----|-----|--|
| 1. 男 | 33.4 | | | |
| 2. 女 | 61.8 | | | |
| 3. その他 | 0.0 | N.A | 4.7 | |

Q3. お子さんは、「教室」で何を習っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----|
| 1. 神楽、獅子舞、お囃子 | 8.6 |
| 2. 民謡、民舞：昔から伝わっている踊り、民俗芸能：お芝居や人形芝居 | 4.1 |
| 3. 和太鼓 | 6.9 |
| 4. 祭り行事 | 4.2 |
| 5. 能楽 | 2.4 |
| 6. 邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など | 8.2 |

7. 日本舞踊、邦舞	6.7
8. 伝統工芸：昔から伝えられてきた物づくり	1.9
9. 百人一首、カルタ、囲碁、将棋	10.9
10. 茶道、華道	18.2
11. 武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など	7.8
12. 書道	2.6
13. 着物の着付けや作法	4.3
14. 昔の遊びや仕事（おりがみ、お手玉、さかなとり、田植えなど）	0.6
15. 食文化、郷土料理	0.8
16. その他（何ですか？：_____）	6.5
N.A	5.3

Q4. お子さんが「教室」に通うのは、今年で何年目ですか？

通わなかった年や「教室」が開かれなかった年は除いて、何年目になるのか、
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 今年 はじめて	23.3
2. 2 年目	19.9
3. 3 年目	14.3
4. 4 年目	11.7
5. 5 年目	8.3
6. 6 年目	6.9
7. もっと長く通っている	9.2
N.A	6.3

「2 から 7」に○をつけた人だけ、答えてください。

Q4-2. お子さんはこの一年間、「教室」で習ったことをきっかけに、今参加している「教室」以外に
伝統文化等にかかわる活動を行ったことがありますか？

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. ある	20.7
2. ない	78.2
N.A	1.1

「1」に○をつけた人だけ、答えてください。

Q4-3. 具体的な活動に、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 「教室」以外で伝統文化等の習い事を始めた。	33.2
2. 学校で伝統文化等のクラブや部活に入った。	23.3
3. その他（どんな活動ですか？：_____）	36.0
N.A	7.5

Q 5. お子さんを「教室」に参加させたのは、なぜですか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子供に伝統文化を知ってほしいと思ったので。	45.1
2. 子供に特技を身につけてもらいたいと思ったので。	30.7
3. 子供に行儀や作法を身につけてもらいたかったので。	39.1
4. 子供に幅広い経験をさせたかったので。	55.3
5. 子供に夢中になれるものができるとよいと思ったので。	31.9
6. 子供に友だちをつくってもらいたいと思ったので。	19.4
7. 子供に大人との関わりを学んでもらいたかったので。	15.4
8. 子供に地域との関わりをもってもらいたいと思ったので。	18.9
9. 学校の勉強に役立つと思ったので。	7.3
10. 生活に役立つと思ったので。	13.1
11. 自分には教えられないことを教えてもらえるので。	41.7
12. 自分も伝統文化に関心をもっていたので。	26.9
13. おけいこごとをするよりも、費用がかからないので。	17.0
14. おけいこごとをするよりも、子供に負担がかからないので。	6.6
15. 安心して子供を預けておけるので。	16.6
16. 他の子供の親も参加させているので。	9.2
17. 「教室」の内容が充実していたので。	16.5
18. 「教室」についてよい評判を聞いたので。	12.4
19. 伝統文化等の体験型イベントに参加した際、子供が興味を持ったので。	13.2
20. とくに理由はない。	0.9
21. その他（詳しく教えてください：_____）	9.1
	N.A 5.6

Q 6. このような「教室」があることを、どのようにして知りましたか。

知るきっかけとなった番号すべてに○をつけてください。

1. 学校の先生からの紹介	14.1
2. おけいこごとの先生からの紹介	10.0
3. 「教室」についてのチラシ	35.0
4. 市町村が発行している「広報紙」	7.7
5. 市町村のインターネットのサイト	2.2
6. 公民館や児童館のポスターや掲示	5.3
7. お子さんの友だちの保護者の方からの情報	27.3
8. 近所の人からの情報	8.6
9. 「伝統文化親子教室事業」のホームページ	1.8
10. 伝統文化等の体験型イベントに参加した際の広報	2.9
11. その他（どのようにしてですか：_____）	10.8
	N.A 5.8

Q7. お子さんが「教室」に通うことについて、あなたがどのようにされているかをお聞きます。

次のア)～オ)のそれぞれの質問について、どの程度あてはまるか、

あてはまる番号1つに○をつけてください。

	1. とても あてはまる	2. まあ あてはまる	3. あまり あてはまらない	4. まったく あてはまらない	5. N. A
ア) 「教室」で学んだことやあったことを、お子さんから聞いたり、お子さんと話したりしている。	52.7	37.3	4.0	0.5	5.4
イ) 「教室」に休まずに行くようにさせている。	46.1	39.0	8.7	0.8	5.4
ウ) 「教室」でお子さんが学んでいるところを見に行っている。	39.2	25.5	18.7	9.7	6.9
エ) 「教室」で学んでいることの助けとなるように、本を買ったり、お子さんといっしょに関係するテレビ番組を見たりしている。	14.6	25.7	37.5	16.3	5.9
オ) 「教室」で学んでいることの助けとなるように、地域の行事や博物館などに出かけている	12.7	25.9	36.5	19.0	5.9

Q8. お子さんは「教室」に、どのくらいの割合で参加していますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 毎回、参加している。	47.8
2. 時々、休むことがある。	38.0
3. 参加することと、休むことがそれぞれ半分くらい。	4.5
4. 時々、参加するくらい。	2.1
5. ほとんど、参加していない。	0.6
N.A	6.9

Q9.「教室」に通うことでお子さんは変わった、と思いますか。

次のア)～ネ) にあける変化について、それぞれ、どの程度「そう思うか」、
あてはまる番号1つに○をつけてください。

◎「教室」に通うようになって、お子さんは…	1. とても そう 思う	2. まあ そう 思う	3. あまり そう 思わ ない	4. まった く そう 思わ ない	5. N. A
ア) 習っていることが、上手にできるようになった。	55.1	37.0	2.5	0.3	5.0
イ) 習っていることに、興味をもつようになった。	50.7	39.2	4.6	0.2	5.2
ウ) 習っていることを、他の人に見せたり、 聞かせたりすることを望むようになった。	30.4	38.6	22.7	2.9	5.3
エ) 返事やお礼がしっかり言えたり、 あいさつができたり、礼儀正しくなった。	29.9	48.3	15.0	1.4	5.3
オ) 使ったものの後かたづけを 自分でできるようになった。	22.9	44.0	24.9	2.7	5.4
カ) 学校の友だちのほかに、友だちが増えた。	32.7	37.8	19.2	4.7	5.6
キ) 年上の友だちや年下の友だちが増えた。	33.2	37.5	19.6	3.8	5.8
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるよう になった。	30.2	41.8	19.3	3.0	5.7
ケ) 家での話題が増えた。	34.7	45.2	13.7	0.9	5.5
コ) 大人の人と気軽に話をするようになった。	23.1	42.1	25.5	3.5	5.7
サ) 近所の人にあいさつをするようになった。	23.1	43.3	24.4	3.4	5.6
シ) 昔からある、知らなかった遊びをするよう になった。	8.5	24.7	47.3	13.7	5.7
ス) お正月や豆まき、ひな祭りや七夕などの行事に 関心をもつようになった。	15.4	34.3	35.8	8.7	5.7
セ) 生活のなかで昔から伝えられてきたことや 守られてきたことに、興味をもつようになった。	16.2	39.6	32.6	6.0	5.5
ソ) 生活のなかで昔から伝えられてきたことや 守られてきたことを、大事にするようになった。	15.6	41.4	31.3	5.8	5.8

◎「教室」に通うようになって、お子さんは…	1. とても そう 思う	2. まあ そう 思う	3. あまり そう 思わ ない	4. まった く そう 思わ ない	5. N. A
タ) 「教室」のなかで、尊敬できる人ができた。	32.9	41.1	17.4	3.1	5.5
チ) 地域の歴史に関心をもつようになった。	13.9	34.0	38.3	8.2	5.5
ツ) 地域の自然に関心をもつようになった。	12.0	33.0	40.7	8.6	5.6
テ) 地域のお祭りや行事に参加するようになった。	30.8	36.8	21.5	5.0	5.8
ト) 住んでいるところに愛着をもつようになった。	20.9	41.9	26.9	4.3	5.9
ナ) 楽しそうにしていることが多くなった。	36.1	46.2	10.7	1.2	5.7
ニ) 自信をもってすることが多くなった。	35.6	42.1	15.5	1.4	5.4
ヌ) むずかしいことにチャレンジしようという 意欲が増した。	33.9	41.1	17.9	1.7	5.4
ネ) 最後までがんばってやりとげようとする 粘り強さが増した。	38.4	41.6	13.3	1.2	5.4

Q10. この「教室」にお子さんを通わせて、あなた自身がどのように変わったか、お聞きます。

次のア)～カ)のそれぞれの質問は、あなたにどの程度、あてはまりますか。

あてはまる番号 1 につに○をつけてください。

◎お子さんが「教室」に通うようになって、 あなたは…	1. とても あてはまる	2. まあ あてはまる	3. あまり あてはまらない	4. まったく あてはまらない	5. N.A
ア) これまで見る事がなかった子供の生き生きした表情を見ることができた。	44.2	43.3	6.6	0.9	4.9
イ) これまで知らなかった能力や性格が子供にあることを知った。	44.1	41.2	8.9	0.8	4.9
ウ) 子供の成長を実感した。	60.0	32.1	2.5	0.3	5.1
エ) 伝統文化について、あなた自身、知らなかったことを新たに知ることができた。	50.9	34.4	8.1	1.2	5.3
オ) 「教室」を通じて、地域の人や他のお子さんの保護者の方と知り合いになれた。	44.5	32.1	14.2	4.2	4.9
カ) 自分も何か学びたくなった。	30.6	40.9	19.2	4.1	5.1

Q11. お子さんに、「教室」で習っていることを、これからも習わせていきたいと思いますか。

あてはまる番号 1 につに○をつけてください。

- 「教室」で続けて習わせていきたい。 85.3
- 「教室」とは別のところで本格的に習わせていきたい。 2.9
- この「教室」で習うだけにして、習い続けさせたいとは思わない。 5.6

N.A 6.1

(3の理由: _____)

Q12. お子さんを「教室」に通わせてよかったと思いますか。

あてはまる番号 1 につに○をつけてください。

- とても、よかったと思う。 79.7
- まあ、よかったと思う。 15.1
- あまり、よかったと思わない。 0.3
- まったく、よかったと思わない。 0.0

N.A 4.9

(3,4の理由: _____)

Q13. お子さんが「教室」で習っていることは、生活のなかで、どのくらい、役に立ちそうですか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|------|
| 1. とても、役に立ちそう。 | 43.6 |
| 2. まあ、役に立ちそう。 | 45.8 |
| 3. あまり、役に立ちそうもない。 | 5.2 |
| 4. まったく、役に立ちそうもない。 | 0.3 |

N.A 5.0

(3,4の理由: _____)

Q14. 「伝統文化親子教室」の事業は、どのくらい、意義のあることだと思いますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------|
| 1. とても意義のあることだと思う。 | 74.6 |
| 2. まあ、意義のあることだと思う。 | 16.7 |
| 3. どちらともいえない。 | 2.3 |
| 4. あまり、意義のあることだと思わない。 | 0.0 |
| 5. まったく、意義のあることだと思わない。 | 0.0 |

N.A 6.3

(4,5の理由: _____)

Q15. 「伝統文化」についてのあなたの考えをお聞きします。

あなたは、次のア)～オ)のそれぞれの考えについて、どの程度、そう思いますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

	1. とても そう 思う	2. まあ そう 思う	3. あまり そう 思わ ない	4. まった く そう 思わ ない	5. N. A
ア) 伝統文化は、守り、残していく必要がある。	74.9	19.7	0.6	0.1	4.7
イ) 伝統文化を守り、伝えていくのは若い人の役割である。	39.2	42.5	12.1	1.0	5.1
ウ) 伝統文化は、私たちの誇りでもある。	54.4	35.5	4.8	0.1	5.2
エ) 伝統文化は、すでに過去のものになっている。	5.8	11.8	44.8	32.3	5.3
オ) 「伝統文化は、時代に合わせて変わっていく必要がある。	16.6	43.9	27.5	6.6	5.4

Q16. 伝統文化親子教室事業のホームページ (<http://www.oyakokyoshitsu.jp/>) を閲覧したことがありますか。

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|------|
| 1. 閲覧したことがある。 | 19.2 |
| 2. 閲覧したことがない。 | 71.7 |
| N.A | 9.1 |

質問はこれで終わりです。最後まで答えてくださり、ありがとうございました。

この調査票は、お子さんを通して「教室」までご提出ください。

指導者調査 単純集計結果 (N = 525 / %)

「伝統文化親子教室」についての調査

日増しに秋の深まりを感じる季節となり、皆様ご健勝にお過ごしのことと思います。日頃、「伝統文化親子教室」の趣旨をご理解くださるとともに、子供たちの指導にご尽力くださり、感謝申し上げます。

このたび、文化庁の委託を受けて「伝統文化親子教室」の事業を実施しています伝統文化親子教室事業事務局では、「教室」における活動の実態と子供たちの「教室」参加の実際、さらには子供たちが「教室」での活動を通じて、どのように変化したかを調べ、「教室」の成果を検証することになりました。つきましては、日頃、「教室」で子供たちの指導にあたられている指導者の皆さまにも、「教室」の成果にかかわる見方や考え方をおうかがいいたしたく、お願いをすることになりました。お忙しいなか、恐縮ではございますが、調査にご協力くださるよう、お願い申し上げます。

調査は、無記名で行い、書いていただいた答えは数字に直して処理いたしますので、どなたが、どのようにお答えになったかはわからないようになっています。調査で得られたデータの保管や取扱いには、十分に注意いたします。その点、ご安心のうえ、お答えください。

調査の趣旨をご理解くださり、よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

令和6年10月

伝統文化親子教室事業事務局（株式会社KBC内）

〒135-0062 東京都江東区東雲 1-7-12 KDX 豊洲グランスクエア 3 階

TEL : 0570-666-133 / FAX : 03-6730-6029

E-mail : oyakokyoshitsu@gp.knt.co.jp

【お問い合わせ対応時間：平日 10:00～17:00（土日祝及び年末年始休み）】

お答えいただくときの注意

1. 各「教室」とも、指導者のなかからお二人を選んでお願いしています。すべての指導者の方をお願いしているわけではありませんので、その点、ご承知おきください。
※指導者がお一人の場合は、回答者は一人でも構いません。
2. 数字に○をつけてお答えください。数字を記入していただく質問もあります。
3. 記載いただいた個人情報は、伝統文化親子教室の実施成果の把握以外の目的で使用することはありません。

各教室の代表者の方へお願い

指導者の方にお答えいただいた調査票は、以下に「団体コード」をご記入の上、取りまとめて事務局までご返送ください。

団体コード

		—				—			
-------------	-------------	---	-------------	-------------	-------------	---	-------------	-------------	-------------

◎指導をされている文化庁が支援している「伝統文化親子教室」（以下、「教室」と呼びます）について、お伺いします

Q 1. 「教室」の「分野」は何ですか。 あてはまる番号に○をつけてください。

1. 神楽、獅子舞、お囃子	8.3
2. 民謡、民舞：昔から伝わっている踊り、民俗芸能：お芝居や人形芝居	4.5
3. 和太鼓	6.6
4. 祭り行事	4.3
5. 能楽	3.3
6. 邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など	9.7
7. 日本舞踊、邦舞	6.4
8. 伝統工芸：昔から伝えられてきた物づくり	1.9
9. 百人一首、カルタ、囲碁、将棋	11.2
10. 茶道、華道	22.1
11. 武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など	6.7
12. 書道	2.2
13. 着物の着付けや作法	5.2
14. 昔の遊びや仕事（おりがみ、お手玉、さかなとり、田植えなど）	0.2
15. 食文化、郷土料理	0.9
16. その他（何ですか？：_____）	6.0
	N.A 0.5

Q 2. 「教室」がある地域は、どのような地域ですか。最もよくあてはまる番号に○をつけてください。

1. 商業地域	13.0
2. 工業地域	1.9
3. 住宅地域	70.1
4. 農業・漁業・林業地域	12.8
	N.A 2.3

Q 3. 「教室」は、主にどこを会場にして開いていますか。最も使うことの多い番号に○をつけてください。

1. 公民館、自治会館	38.5
2. 市民センター、コミュニティセンター	26.9
3. 児童館	1.0
4. 学校の教室や体育館	13.0
5. 神社、お寺	2.5
6. 広場、公園	0.0
7. 指導者の自宅	1.3
8. その他（どのようなところですか：_____）	10.5
	N.A 6.5

Q 4. 伝統文化親子教室事業は平成26年度から開始されています。

※次のページに続きます。

貴団体が伝統文化親子教室事業として「教室」を実施されて今年で何年目ですか？

(Ave. 8.54) 年目

Q 5. 1 年間「教室」での活動に最後まで参加し、「教室」を終えられていく子供たちは、全体のどのくらいの割合ですか。おおよその割合で結構ですので、あてはまる番号 1 つに○ をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|---------|
| 1. ほぼ全員が最後まで参加し、「教室」を終えていく。 | 46.3 |
| 2. 9 割以上 | 16.8 |
| 3. 8 割以上～9 割未満 | 13.0 |
| 4. 7 割以上～8 割未満 | 9.5 |
| 5. 6 割以上～7 割未満 | 5.5 |
| 6. 5 割以上～6 割未満 | 2.9 |
| 7. 5 割未満 | 1.7 |
| 8. わからない | 1.3 |
| | N.A 3.0 |

Q 6. 「教室」に参加している子供たちの人数は何人ですか？

伝統文化親子教室事業の「教室」となる前に実施されていた教室も含めて、子供達の参加年数別に () のなかに人数を記入してください。

1 年目・・・(Ave. 13.90) 人	N.A	69
2 年目・・・(Ave. 12.04) 人	N.A	115
3 年目・・・(Ave. 11.83) 人	N.A	163
4 年目以降・・・(Ave. 13.55) 人	N.A	152

Q 7. 「教室」の一回当たりの平均参加人数 (子供) は何人ですか。

学年別に () のなかに人数を記入してください。

<小学生>

1 年生・・・(Ave. 2.69) 人	N.A	138
2 年生・・・(Ave. 2.94) 人	N.A	124
3 年生・・・(Ave. 3.17) 人	N.A	135
4 年生・・・(Ave. 3.46) 人	N.A	95
5 年生・・・(Ave. 3.17) 人	N.A	123
6 年生・・・(Ave. 3.10) 人	N.A	119

<中学生>

1 年生・・・(Ave. 1.89) 人	N.A	206
2 年生・・・(Ave. 1.88) 人	N.A	237
3 年生・・・(Ave. 1.58) 人	N.A	258

Q 8.「教室」では、あなたを含めて、何人の方が指導にあたっていますか。

直接、子供の指導にあたる方のほか、指導の補助をする方や「教室」開催の準備をされる方なども含めて、「教室」の開催にかかわっている方の人数を記入してください。

直接指導をしている方の人数（ Ave. 3.62 ）人 N.A 24
指導の補助をする方や開催に関っている方の人数（ Ave. 3.61 ）人 N.A 74

Q 9.「教室」に通うことで子供たちは変わった、と思いますか。次のア)～テ) にあがる変化について、それぞれ、どの程度「そう思うか」、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。
お答えは、あなたからみた全体的な印象で結構です。

◎「教室」に通うことで、子供たちは…	1. とても そう 思う	2. まあ そう 思う	3. あまり そう 思わ ない	4. まった く そう 思わ ない	5. N. A
ア) 習っていることが、上手にできるようになった。	73.5	23.6	0.6	0.0	2.3
イ) 習っていることに、興味をもつようになった。	68.6	28.4	1.1	0.0	1.9
ウ) 習っていることを、他の人に見せたり、聞かせたりすることを望むようになった。	42.1	47.4	7.6	0.2	2.7
エ) 返事やお礼がしっかり言えたり、あいさつができたり、礼儀正しくなった。	57.7	38.3	2.3	0.0	1.7
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった。	52.2	40.2	4.2	0.2	3.2
カ) 学校の友だちのほかに、友だちが増えた。	45.3	40.2	8.4	1.7	4.4
キ) 年上の友だちや年下の友だちが増えた。	48.6	38.7	7.4	1.0	4.4
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった。	50.5	40.2	6.5	0.4	2.5
ケ) 大人の人と気軽に話をするようになった。	42.1	46.5	8.4	0.2	2.9
コ) 昔からある、知らなかった遊びをするようになった。	13.5	37.3	36.2	6.5	6.5
サ) お正月や豆まき、ひな祭りや七夕などの行事に関心をもつようになった。	18.5	46.1	25.0	4.8	5.7

◎「教室」に通うことで、子供たちは…	1. とても そう 思う	2. まあ そう 思う	3. あまり そう 思わ ない	4. まった く そう 思わ ない	5. N. A
シ) 生活のなかで昔から伝えられてきたことや 守られてきたことに、興味をもつようになった。	24.0	56.2	14.7	1.7	3.4
ス) 生活のなかで昔から伝えられてきたことや 守られてきたことを、大事にするようになった。	26.5	52.8	15.0	1.7	4.0
セ) 地域の歴史に関心をもつようになった。	19.8	45.0	26.7	4.0	4.6
ソ) 地域の自然に関心をもつようになった。	16.0	45.9	29.7	4.2	4.2
タ) 地域のお祭りや行事に参加するようになった。	40.8	39.6	12.8	1.5	5.3
チ) 住んでいるところに愛着をもつようになった。	24.4	54.5	14.7	1.5	5.0
ツ) むずかしいことにチャレンジしようという 意欲が増した。	50.7	41.5	4.4	0.8	2.7
テ) 最後までがんばってやりとげようとする粘り 強さが増した。	62.9	32.6	1.9	0.4	2.3

Q10.「教室」は、社会でどのような役割を果たしているとお考えですか。

それぞれについて、どの程度、役立っているか、あてはまる番号 1つに○をつけてください。

	1. とても 役立 っている	2. まあ 役立 っている	3. あまり 役立 っていない	4. まった く 役立 っていない	5. N. A
ア) わが国の歴史や伝統、文化に対する人々の 理解を深めたり、広めたりすることに…	60.8	35.0	2.1	0.2	1.9
イ) 子供たちの、歴史、伝統、文化に対する関心を 高めることに…	60.0	35.2	2.3	0.2	2.3
ウ) 子供たちに、歴史、伝統、文化を尊重する態度を 育てることに…	56.4	38.7	2.3	0.2	2.5

	1. とても 役立っている	2. まあ 役立っている	3. あまり 役立っていない	4. まったく 役立っていない	5. N. A
エ) 地域の人々のつながりを生み出すことに…	46.5	42.7	8.0	0.4	2.5
オ) 地域活動を活発にすることに…	44.8	41.5	9.9	0.4	3.4
カ) 地域の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を 深めたり、広めたりすることに…	48.0	39.6	8.6	0.2	3.6
キ) 子供たちに、豊かな人間性を身につけさせる ことに…	71.0	25.9	1.1	0.0	1.9
ク) 地域の歴史や伝統、文化を次世代に引き継ぎ、 発展させることに…	59.6	32.6	5.3	0.0	2.5

Q11. 「教室」の指導をするなかで、あなたがどのように感じているかをお聞きます。

次のそれぞれが、どのくらい、あてはまるか、あてはまる番号1つに○をつけてください。

◎「教室」の指導をするなかで、あなたが…	1. とても あてはまる	2. まあ あてはまる	3. あまり あてはまらない	4. まったく あてはまらない	5. N. A
ア) 子供について新たな発見をしている。	74.5	21.9	1.0	0.0	2.7
イ) 自分自身について新たな発見をしている。	55.2	36.4	5.5	0.2	2.7
ウ) 教えている内容について新たな発見をしている	60.2	33.1	3.8	0.2	2.7
エ) 子供に教えることの喜びを感じている。	79.6	17.0	1.1	0.2	2.1
オ) 地域の人々とのつながりができてきている。	56.0	33.7	7.6	0.4	2.3

◎「教室」の指導をするなかで、あなたが…	1. とても あてはまる	2. まあ あてはまる	3. あまり あてはまらない	4. まったく あてはまらない	5. N.A
カ) 地域の歴史や文化、自然についての理解が深まっている。	39.6	43.4	13.5	0.8	2.7
キ) 地域の課題がわかってきている。	30.3	40.6	24.6	1.9	2.7
ク) わが国の伝統文化について、理解が深まっている。	54.3	35.4	7.0	0.4	2.9
ケ) 達成感を感じている。	67.2	27.8	2.5	0.4	2.1
コ) 生きがいを感じている。	65.5	27.4	4.6	0.2	2.3

Q12. 過去にあなたが「教室」で指導した子供で、「教室」で習ったことを高校生・大学生・社会人になっても続けているという方をご存知ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------|
| 1. 知っている。 | 46.7 |
| 2. 聞いたことがない。 | 20.8 |
| 3. まだ、高校生・大学生・社会人になっていない。 | 24.0 |
| | N.A 8.6 |

Q12-2. Q12で「1」とお答えの方にお伺いします。

その方が教室で学ばれた分野で活躍している場合、お名前と活躍の状況等を記入してください。
(ここでいう活躍している場合とは、華道や日本舞踊などの教授になった、プロの能楽師になった、将棋で奨励会に入会した、その分野で表彰されたなどです。)

	分 野	活躍の状況 (受賞歴等)
1	民謡、踊り、芝居等	人形公演 参加
2	民謡、踊り、芝居等	人形浄瑠璃公演 出演
3	民謡、踊り、芝居等	童謡、唱歌、童歌の伝承活動団体立ち上げ
4	邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など	大学で琴教師
5	邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など	琴教授
6	邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など	文楽 三味線 技芸員
7	和太鼓	プロ和太鼓集団 FUSOU&ARATA 所属
8	日本舞踊	日本舞踊協会 奨励賞藤間流名取り
9	日本舞踊	日本舞踊名取取得

10	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	全国高校囲碁選挙権 石川代表
11	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	赤旗囲碁アマ名人戦 全国ベスト 16"
12	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	全国高校囲碁総合文化部門優勝
13	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	関東学生将棋連盟 理事
14	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	アマ名人戦 長野県代表、全国将棋支部名人戦 長野県代表
15	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	全国小学生囲碁戦 東京都代表
16	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	囲碁プロ棋士六段（日本棋院）
17	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	奨励会 三段
18	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	高校選手権（囲碁）三位
19	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	家元教授小原流 45 周年花展出瓶
20	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	推奨会 1 級（将棋）
21	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権 女子優勝
22	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	プロ棋士
23	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	将棋関西奨励会 2 級、全国小学生準名人(6 年時)
24	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権 男子優勝
25	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	将棋関西奨励会 3 級
26	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	日本棋院プロ 3 段
27	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	美作アマ将棋名人(3 期連続)、全国高専将棋大会優勝
28	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	囲碁プロ棋士四段（日本棋院）
29	百人一首、カルタ、囲碁、将棋	倉敷王将戦 全国優勝、奨励会入会
30	茶道・華道	小原流いけばな 4 級家元教授
31	茶道・華道	裏千家茶道 上級(引次)
32	茶道・華道	華道家元池坊免許皆伝
33	茶道・華道	家元教授小原流 45 周年花展出瓶
34	茶道・華道	家元教授小原流 46 周年花展出瓶
35	茶道・華道	華道家元池坊免許皆伝
36	茶道・華道	小原流徳島支部青年部部長 県華道連盟青年部役員
37	茶道・華道	華教授
38	茶道・華道	小原流いけばな准教授
39	茶道・華道	裏千家茶道 上級(引次)
40	茶道・華道	前茶道師範補
41	茶道・華道	小原流いけばな 3 級家元教授
42	茶道・華道	裏千家茶道 茶名
43	茶道・華道	裏千家茶道 講師(正引次)
44	茶道・華道	小原流いけばな 4 級家元教授
45	茶道・華道	華道家元池坊免許皆伝
46	武道：柔道、剣道、古式泳法、相撲、弓道など	全日本剣道選手権大会 長野県代表
47	武道：柔道、剣道、古式泳法、相撲、弓道など	実業団で剣道
48	武道：柔道、剣道、古式泳法、相撲、弓道など	現錬心舘指導員
49	武道：柔道、剣道、古式泳法、相撲、弓道など	大相撲力士 高校横綱

※次のページに続きます。

50	武道：柔道、剣道、古式泳法、相撲、弓道など	団体空手 指導員
51	書道	書道講師
52	その他	東奥文化選賞
53	その他	社会を明るくする運動作文コンテスト 県知事賞
54	その他	八戸地区少年防犯弁論大会 奨励賞
55	その他	令和4年度公益財団法人長野市スポーツ協会 功労表彰
56	その他	教員
57	その他	高専全国大会優勝
58	その他	お寺住職

◎あなたのことをお聞きします。

Q13. あなたの年齢は、次のどこにあてはまりますか。 あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|------|-----|-----|
| 1. 19歳以下 | 0.4 | | |
| 2. 20歳～29歳 | 4.8 | | |
| 3. 30歳～39歳 | 6.7 | | |
| 4. 40歳～49歳 | 15.2 | | |
| 5. 50歳～59歳 | 19.0 | | |
| 6. 60歳～69歳 | 21.9 | | |
| 7. 70歳～79歳 | 21.7 | | |
| 8. 80歳以上 | 8.2 | N.A | 2.1 |

Q14. あなたの性別をお教えてください。 あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|--------|------|-----|-----|
| 1. 男性 | 37.9 | | |
| 2. 女性 | 59.4 | | |
| 3. その他 | 0.0 | N.A | 2.7 |

Q15. あなたは「教室」で、主にどのような役割を担っていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. 子供に、直接、指導している。 | 78.3 |
| 2. 指導の補助をしている。 | 11.2 |
| 3. 「教室」を開催するための準備をしている。 | 4.0 |
| 4. その他（どのような役割ですか：_____） | 1.0 |
| | N.A 5.5 |

Q16. これまで何年間、「教室」で子供たちの指導をされてきましたか。

続けて指導をされていなくても結構です。

伝統文化親子教室事業の「教室」となる前から指導されている教室も含め、
これまで指導された年数の総計を記入してください。

(Ave. 13.93) 年間 N.A 22

Q17. 「教室」以外で、伝統文化等を本格的に習いたい子供が参加できる教室を開いていますか。

あてはまる番号 1 につに○をつけてください。

1. はい 33.5

2. いいえ 63.2

N.A 3.2

Q17-2. Q17 で 「2」 とお答えの方にお伺いします。

「教室」以外で、伝統文化等を本格的に習いたい子供がいる場合、その機会をどのように
提供していますか。あてはまる番号 1 につに○をつけてください。

1. 他の習い事教室等を紹介している。 30.7

2. 特に何もしていない。 53.9

3. その他（どのように提供していますか： _____） 7.5

N.A 7.8

Q18. 「伝統文化親子教室」事業を通じて、ご自身の伝統文化に関わる活動において良い変化を
もたらしたと思いますか。あてはまる番号 1 につに○をつけてください。

1. 良い変化をもたらしたと思う。 71.0

2. まあ、良い変化をもたらしたと思う。 23.8

3. どちらともいえない。 3.0

4. あまり、良い変化をもたらしたと思わない。 0.0

5. まったく、良い変化をもたらしたと思わない。 0.0

N.A 2.1

(4, 5 の理由： _____)

Q19. 地方公共団体等が実施している「伝統文化親子教室」事業【地域展開型】をご存知ですか。

あてはまる番号 1 につに○をつけてください。

1. はい 25.7

2. いいえ 70.7

N.A 3.6

Q19-2. Q19で「1」とお答えの方にお伺いします。

指導している「教室」は、地方公共団体等が実施している「伝統文化親子教室」事業【地域展開型】と連携していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------|------|
| 1. 連携している。 | 28.1 |
| 2. 連携していない。 | 68.1 |
| N.A | 3.7 |

Q19-3. Q19-2で「1」とお答えの方にお伺いします。その連携先と連携内容を記入してください。

連携先	連携内容

Q19-4. Q19-2で「2」とお答えの方にお伺いします。

指導している「教室」は、【地域展開型】との連携を行わない理由を教えてください。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|------|
| 1. 地方公共団体より声がかからなかったから。 | 56.5 |
| 2. 地方公共団体より声はかかったが、連携する意義を感じなかった。 | 5.4 |
| 3. 地方公共団体より声はかかったが、時間も労力もかかるため連携できなかった。 | 5.4 |
| 4. その他（行わない理由は何ですか：_____） | 18.5 |
| N.A | 14.1 |

Q20. 伝統文化親子教室事業のホームページ（<http://www.oyakokyoshitsu.jp/>）を閲覧したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|------|
| 1. 閲覧したことがある。 | 52.8 |
| 2. 閲覧したことがない。 | 41.5 |
| N.A | 5.7 |

Q21. 伝統文化親子教室の参加者を募集するにあたって、どのような工夫や努力をしていますか。

（自由記載）

--

Q22. 伝統文化親子教室に携わるなかで、どのような改善や支援が必要だと思いますか。

(自由記載)



質問はこれで終わりです。最後までお答えくださり、ありがとうございました。

この調査票は、「教室」の代表者の方にお渡してください。

指導者調査＜放課後子供教室＞ 単純集計結果 (N = 30 / %)

「放課後子供教室」についての調査

日増しに秋の深まりを感じる季節となり、皆様ご健勝にお過ごしのことと思います。日頃、「伝統文化親子教室」の趣旨をご理解くださるとともに、子供たちの指導にご尽力くださり、感謝申し上げます。

このたび、文化庁の委託を受けて「伝統文化親子教室」の事業を実施しています伝統文化親子教室事業事務局では、「伝統文化親子教室」における調査に加え、「放課後子供教室」においても、その活動の実態と子供たちの参加の実際、さらには子供たちが活動を通じて、どのように変化したかを調べ、成果を検証することになりました。

「放課後子供教室」と連携した取組を実施されている指導者の皆さまにも、成果にかかわる見方や考え方をおうかがいいたしたく、お願いをすることになりました。お忙しいなか、恐縮ではございますが、調査にご協力くださるよう、お願い申し上げます。

調査は、無記名で行い、書いていただいた答えは数字に直して処理いたしますので、どなたが、どのようにお答えになったかはわからないようになっていきます。調査で得られたデータの保管や取扱いには、十分に注意いたします。その点、ご安心のうえ、お答えください。

調査の趣旨をご理解くださり、よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

令和6年10月

伝統文化親子教室事業 事務局（株式会社KBC内）

〒135-0062 東京都江東区東雲 1-7-12 KDX 豊洲グランスクエア 3階

TEL：0570-666-133／FAX：03-6730-6029

E-mail：oyakokyoshitsu@gp.knt.co.jp

【お問い合わせ対応時間：平日 10:00～17:00（土日祝及び年末年始休み）】

お答えいただくときの注意

1. 各「教室」とも、指導者のなかからお二人を選んでお願いしています。すべての指導者の方をお願いしているわけではありませんので、その点、ご承知おきください。

※指導者がお一人の場合は、回答者は一人でも構いません。

2. 数字に○をつけてお答えください。数字を記入していただく質問もあります。

各教室の代表者の方をお願い

指導者の方にお答えいただいた調査票は、以下に「団体コード」をご記入の上、取りまとめて事務局までご返送ください。

団体コード

--	--

 -

--	--	--

 -

--	--	--

◎指導をされている「放課後子供教室」(以下、「子供教室」と呼びます)について、お伺いします。

Q1.「子供教室」の「分野」は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 神楽、獅子舞、お囃子	0.0
2. 民謡、民舞：昔から伝わっている踊り、民俗芸能：お芝居や人形芝居	0.0
3. 和太鼓	5.7
4. 祭り行事	0.0
5. 能楽	0.0
6. 邦楽：箏、三味線、尺八、笛、太鼓など	8.6
7. 日本舞踊、邦舞	5.7
8. 伝統工芸：昔から伝えられてきた物づくり	0.0
9. 百人一首、カルタ、囲碁、将棋	17.1
10. 茶道、華道	28.6
11. 武道：柔道、剣道、弓道、相撲、古式泳法など	5.7
12. 書道	0.0
13. 着物の着付けや作法	11.4
14. 昔の遊びや仕事（おりがみ、お手玉、さかなとり、田植えなど）	0.0
15. 食文化、郷土料理	0.0
16. その他（何ですか？：_____）	17.1
N.A	0.0

Q2.「子供教室」の開催場所がある地域は、どのような地域ですか。

最もよくあてはまる番号に○をつけてください。

1. 商業地域	6.7
2. 工業地域	3.3
3. 住宅地域	76.7
4. 農業・漁業・林業地域	13.3
N.A	0.0

Q3.「子供教室」は、主にどこを会場にして開いていますか。

最も使うことの多い番号に○をつけてください。

1. 小学校、学校内施設	46.7
2. 児童館	0.0
3. 公民館	26.7
4. 市民センター、コミュニティセンター	16.7
5. その他（どのようなところですか：_____）	6.7
N.A	3.3

Q4. 「子供教室」は、何をきっかけに知りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 都道府県の担当部局からの情報提供	0.0
2. 市区町村の担当部局からの情報提供	43.3
3. 「子供教室」に申請・参加している他団体からの紹介	20.0
4. 文部科学省のホームページ	6.7
5. 「伝統文化親子教室事業」の募集案内	23.3
6. 「伝統文化親子教室事業」の「親子教室」に参加している子供の保護者からの紹介	0.0
7. その他 ()	13.3
	N.A 0.0

Q5. 「子供教室」の一回当たりの平均参加人数（子供）は何人ですか。

学年別に（ ）のなかに人数を記入してください。

<小学生>

1年生・・・(Ave. 7.06) 人	N.A	8
2年生・・・(Ave. 9.85) 人	N.A	8
3年生・・・(Ave. 4.12) 人	N.A	6
4年生・・・(Ave. 4.83) 人	N.A	6
5年生・・・(Ave. 4.97) 人	N.A	7
6年生・・・(Ave. 3.74) 人	N.A	7

<中学生>

1年生・・・(Ave. 4.58) 人	N.A	18
2年生・・・(Ave. 4.67) 人	N.A	18
3年生・・・(Ave. 3.46) 人	N.A	17

Q6. 「子供教室」では、あなたを含めて、何人の方が指導にあたっていますか。

直接、子供の指導にあたる方のほか、指導の補助をする方や「子供教室」開催の準備をされる方なども含めて、「子供教室」開催にかかわっている方の人数を記入してください。

直接指導をしている方の人数 (Ave. 3.83) 人	N.A	0
指導の補助をする方や開催に関わっている方の人数 (Ave. 3.37) 人	N.A	1

Q7.「子供教室」に通うことで子供たちは変わった、と思いますか。

次のア)～テ) にあげる変化について、それぞれ、どの程度「そう思うか」、

あてはまる番号 1 つに○をつけてください。お答えは、あなたからみた全体的な印象で結構です。

◎「子供教室」に通うことで、子供たちは…	1. とても そう 思う	2. まあ そう 思う	3. あまり そう 思わ ない	4. まった く そう 思わ ない	5. N. A
ア) 習っていることが、上手にできるようになった。	56.7	43.3	0.0	0.0	0.0
イ) 習っていることに、興味をもつようになった。	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
ウ) 習っていることを、他の人に見せたり、聞かせたりすることを望むようになった。	23.3	60.0	13.3	0.0	3.3
エ) 返事やお礼がしっかり言えたり、あいさつができたり、礼儀正しくなった。	46.7	50.0	3.3	0.0	0.0
オ) 使ったものの後かたづけを自分でできるようになった。	53.3	43.3	3.3	0.0	0.0
カ) 学校の友だちのほかに、友だちが増えた。	33.3	50.0	10.0	3.3	3.3
キ) 年上の友だちや年下の友だちが増えた。	33.3	53.3	13.3	0.0	0.0
ク) 年下の子供をやさしくみてあげられるようになった。	43.3	43.3	13.3	0.0	0.0
ケ) 大人の人と気軽に話をするようになった。	13.3	66.7	20.0	0.0	0.0
コ) 昔からある、知らなかった遊びをするようになった。	16.7	20.0	50.0	10.0	3.3
サ) お正月や豆まき、ひな祭りや七夕などの行事に関心をもつようになった。	16.7	43.3	30.0	6.7	3.3
シ) 生活のなかで昔から伝えられてきたことや守られてきたことに、興味をもつようになった。	20.0	56.7	23.3	0.0	0.0
ス) 生活のなかで昔から伝えられてきたことや守られてきたことを、大事にするようになった。	20.0	53.3	26.7	0.0	0.0
セ) 地域の歴史に関心をもつようになった。	10.0	33.3	46.7	6.7	3.3
ソ) 地域の自然に関心をもつようになった。	6.7	40.0	50.0	3.3	0.0

※次のページに続きます。

◎「子供教室」に通うことで、子供たちは…	1. とても そう思う	2. まあ そう思う	3. あまり そう思わない	4. まったく そう思わない	5. N. A
タ) 地域のお祭りや行事に参加するようになった。	16.7	50.0	30.0	3.3	0.0
チ) 住んでいるところに愛着をもつようになった。	13.3	40.0	40.0	3.3	3.3
ツ) むずかしいことにチャレンジしようという意欲が増した。	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0
テ) 最後までがんばってやりとげようとする粘り強さが増した。	56.7	40.0	3.3	0.0	0.0

Q8.「子供教室」は、社会でどのような役割を果たしているとお考えですか。

それぞれについて、どの程度、役立っているか、あてはまる番号 1つに○をつけてください。

	1. とても 役立っている	2. まあ 役立っている	3. あまり 役立っていない	4. まったく 役立っていない	5. N. A
ア) わが国の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深めたり、広めたりすることに…	56.7	36.7	6.7	0.0	0.0
イ) 子供たちの、歴史、伝統、文化に対する関心を高めることに…	73.3	20.0	6.7	0.0	0.0
ウ) 子供たちに、歴史、伝統、文化を尊重する態度を育てることに…	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
エ) 地域の人々のつながりを生み出すことに…	30.0	53.3	16.7	0.0	0.0
オ) 地域活動を活発にすることに…	33.3	53.3	13.3	0.0	0.0
カ) 地域の歴史や伝統、文化に対する人々の理解を深めたり、広めたりすることに…	36.7	53.3	10.0	0.0	0.0
キ) 子供たちに、豊かな人間性を身につけさせることに…	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0
ク) 地域の歴史や伝統、文化を次世代に引き継ぎ、発展させることに…	56.7	43.3	0.0	0.0	0.0

Q9.「子供教室」の指導をするなかで、あなたがどのように感じているかをお聞きます。

次のそれぞれが、どのくらい、あてはまるか、あてはまる番号1つに○をつけてください。

◎「子供教室」の指導をするなかで、あなたが…	1. とても あてはまる	2. まあ あてはまる	3. あまり あてはまらない	4. まったく あてはまらない	5. N.A
ア) 子供について新たな発見をしている。	63.3	36.7	0.0	0.0	0.0
イ) 自分自身について新たな発見をしている。	53.3	43.3	3.3	0.0	0.0
ウ) 教えている内容について新たな発見をしている	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0
エ) 子供に教えることの喜びを感じている。	76.7	23.3	0.0	0.0	0.0
オ) 学校関係者とのつながりができてきている。	46.7	30.0	20.0	3.3	0.0
カ) 地域の人々とのつながりができてきている。	26.7	60.0	13.3	0.0	0.0
キ) 地域の歴史や文化、自然についての理解が深まっている。	26.7	46.7	26.7	0.0	0.0
ク) 地域の課題がわかってきている。	23.3	36.7	36.7	3.3	0.0
ケ) わが国の伝統文化について、理解が深まっている。	43.3	50.0	6.7	0.0	0.0
コ) 達成感を感じている。	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
サ) 生きがいを感じている。	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0

◎あなたのことをお聞きします。

Q10. あなたの年齢は、次のどこにあてはまりますか。 あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|------------|------|-----|-----|
| 1. 19歳以下 | 0.0 | | |
| 2. 20歳～29歳 | 0.0 | | |
| 3. 30歳～39歳 | 3.3 | | |
| 4. 40歳～49歳 | 16.7 | | |
| 5. 50歳～59歳 | 46.7 | | |
| 6. 60歳～69歳 | 10.0 | | |
| 7. 70歳～79歳 | 20.0 | | |
| 8. 80歳以上 | 3.3 | N.A | 0.0 |

Q11. あなたの性別をお教えてください。 あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|----------|------|-----|-----|
| 1. 男性 | 36.7 | | |
| 2. 女性 | 63.3 | | |
| 3. その他 | 0.0 | | |
| 4. 回答しない | 0.0 | N.A | 0.0 |

Q12. あなたは「子供教室」で、主にどのような役割を担っていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|---------|
| 1. 子供に、直接、指導している。 | 86.7 |
| 2. 指導の補助をしている。 | 13.3 |
| 3. 「教室」を開催するための準備をしている。 | 0.0 |
| 4. その他（どのような役割ですか：_____） | 0.0 |
| | N.A 0.0 |

Q13. 「子供教室」をはじめ、あなたは、これまで何年間、子供たちの指導をされてきましたか。

続けて指導をされていなくても結構です。これまで指導された年数の総計を記入してください。

（ Ave. 13.97 ） 年間 N.A 0.0

Q14. 「子供教室」の事業は、どのくらい、意義のあることだと思いますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------|
| 1. とても意義のあることだと思う。 | 90.0 |
| 2. まあ、意義のあることだと思う。 | 10.0 |
| 3. どちらともいえない。 | 0.0 |
| 4. あまり、意義のあることだと思わない。 | 0.0 |
| 5. まったく、意義のあることだと思わない。 | 0.0 |
| | N.A 0.0 |

（ 4, 5 の理由： _____ ）

Q15. 「子供教室」の事業と、「伝統文化親子教室事業」が連携することに、どのくらい、効果があったと思いますか。 あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------|
| 1. とても効果があったと思う。 | 73.3 |
| 2. まあ、効果があったと思う。 | 23.3 |
| 3. どちらともいえない。 | 3.3 |
| 4. あまり、効果があったと思わない。 | 0.0 |
| 5. まったく、効果があったと思わない。 | 0.0 |
| | N.A 0.0 |

(4, 5 の理由: _____)

Q16. 「子供教室」の事業と、「伝統文化親子教室事業」との今後の連携について、どのように思っていますか。 あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------|
| 1. 今後も連携する方が良い。 | 90.0 |
| 2. どちらともいえない。 | 10.0 |
| 3. 今後は事業を分けて行う方が良い。 | 0.0 |
| | N.A 0.0 |

(3 の理由: _____)

Q17. 「子供教室」以外で、伝統文化等を本格的に習いたい子供が参加できる教室を開いていますか。 あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. はい | 50.0 |
| 2. いいえ | 50.0 |
| | N.A 0.0 |

Q17-2. Q17 で「2.いいえ」とお答えの方にお伺いします。

「子供教室」以外で、伝統文化等を本格的に習いたい子供がいる場合、その機会をどのように提供していますか。 あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---------|
| 1. 他の習い事教室等を紹介している。 | 33.3 |
| 2. 特に何もしていない。 | 60.0 |
| 3. その他 (どのように提供していますか: _____) | 0.0 |
| | N.A 6.7 |

Q18. 地方公共団体等が実施している「伝統文化親子教室」事業【地域展開型】をご存知ですか。 あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|--------|---------|
| 1. はい | 40.0 |
| 2. いいえ | 60.0 |
| | N.A 0.0 |

Q18-2. Q18で「1.はい」とお答えの方にお伺いします。

指導している「子供教室」は、地方公共団体等が実施している「伝統文化親子教室」事業【地域展開型】と連携していますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|------------|------|
| 1. 連携している | 16.7 |
| 2. 連携していない | 75.0 |
| N.A | 8.3 |

Q18-3. Q18-2で「1.連携している」とお答えの方にお伺いします。

その連携先と連携内容を記入してください。

連携先	連携内容

Q18-4. Q18-2で「2.連携していない」とお答えの方にお伺いします。

指導している「子供教室」は、【地域展開型】との連携を行わない理由について教えてください。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---|------|
| 1. 地方公共団体より声がかからなかったから。 | 77.8 |
| 2. 地方公共団体より声はかかったが、連携する意義を感じなかった。 | 0.0 |
| 3. 地方公共団体より声はかかったが、時間も労力もかかるため連携できなかった。 | 22.2 |
| 4. その他（行わない理由は何ですか：_____） | 0.0 |
| N.A | 0.0 |

Q19. 伝統文化親子教室事業のホームページ（<http://www.oyakokyoshitsu.jp/>）を閲覧したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|------|
| 1. 閲覧したことがある。 | 66.7 |
| 2. 閲覧したことがない。 | 33.3 |
| N.A | 8.3 |

Q20. 伝統文化親子教室の参加者を募集するにあたって、どのような工夫や努力をしていますか。

（自由記載）

Q21. 伝統文化親子教室に携わるなかで、どのような改善や支援が必要だと思いますか。

(自由記載)



質問はこれで終わりです。最後までお答えくださり、ありがとうございました。

この調査票は、代表者の方にお渡しください。

7. 資 料

■調査実施計画

伝統文化親子教室 子供たちの意識・行動に関する調査 実施計画

1. 調査の目的

伝統文化親子教室事業の目的である「伝統文化・生活文化に関する活動を計画的・継続的に体験・修得できる機会を提供する取組に対して支援を行うことにより、伝統文化・生活文化の継承・発展と、子供たちの豊かな人間性の涵養（かんよう）に資する」（令和6年度募集案内）ことを踏まえ、本事業を通じて子供たちが計画的・継続的に伝統文化を体験・修得したことで、子供たちの伝統文化への意識や行動がどのように変化したかを調査し、本事業の実施成果を把握する。

2. 調査の概要

上記の目的を達成するために、以下の質問紙調査を実施する。

- (1) 「親子教室」に参加した子供に対する質問紙調査（子供調査）
- (2) 「親子教室」に子供を参加させた保護者に対する質問紙調査（保護者調査）
- (3) 「親子教室」の指導者に対する質問紙調査（指導者調査）
- (4) 「放課後子供教室」と連携した取組における指導者に対する質問紙調査（指導者調査＜放課後子供教室＞）

3. 調査の実施計画

3-1. 各調査における調査対象者

調 査	対 象 者	対象者数
(1) 子供調査	親子教室に参加している小学4年～中学3年の子供	5,000 名
(2) 保護者調査	上記の子供の保護者	5,000 名
(3) 指導者調査	親子教室の指導者	1,000 名
(4) 指導者調査 ＜放課後子供教室＞	放課後子供教室の指導者	60 名

3-2. 調査項目

- ・平成26年度文化庁委託事業「伝統文化親子教室 子供たちの意識・行動に関する調査」の調査項目を基本とする

調 査	調 査 項 目
(1) 子供調査	1 A. 学年 1 B. 性別 2. 参加している「教室」の分野 3. 参加前の経験の有無 4. 参加年数（今年で何年目か） 4-2 伝統文化等にかかわる活動 4-3 具体的な活動 5. 参加のきっかけ 5. 参加のきっかけになった人 6. 参加の動機 7. 「教室」に参加したことによる変化（子供自身の認識） 8. 参加の度合い 9. 習っていることに関連する読書 10. 習っていることに関連するテレビ視聴 11. 参加についての総合評価（通ってよかったか） 12. 習っていることの意義（生活に役立つか） 13. 習い続けていくことについての意欲 14. 博物館・美術館の見学・参観 15. 伝統文化の大切さについての考え 16. 伝統文化親子教室事業専用 HP の閲覧
(2) 保護者調査	1. 子供との続柄 2 A. 子供の学年 2 B. 子供の性別 3. 子供が参加している「教室」の分野 4. 子供の参加年数（今年で何年目か） 4-2 子供の伝統文化等にかかわる活動 4-3 子供の具体的な活動 5. 子供を参加させた理由 6. 「教室」についての情報源 7. 子供の参加についての対応 8. 子供の参加の度合い 9. 「教室」に参加したことによる子供の変化（保護者の認識） 10. 子供の参加による保護者自身の変化の認識 11. 子供に習い続けさせたいかについての意向 12. 参加させたことについての総合評価（通わせてよかったか） 13. 習っていることの意義（生活に役立つか） 14. 保護者からみた「伝統文化親子教室」事業の意義 15. 「伝統文化」についての考え 16. 伝統文化親子教室事業専用 HP の閲覧
(3) 指導者調査	1. 指導している「教室」の分野 2. 指導している「教室」の所在地域特性 3. 「教室」開催場所・施設 4. 「教室」への参加年数 5. 修了する子供の割合

	6. 参加している子供の人数（参加年数別） 7. 参加している子供の人数（学年別） 8. 指導者の人数 9. 「教室」に参加したことによる子供の変化（指導者の認識） 10. 指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の社会における役割 11. 指導するなかで感じていること 12. 参加した子供の継続性 12-2 参加した子供の活躍状況 13. 指導者の年齢 14. 指導者の性別 15. 指導者の「教室」での役割 16. 指導者の「教室」での指導経験年数 17. 指導者の「教室」以外での教室開催の有無 17-2 指導者の「教室」以外での機会の提供 18. 指導者からみた「伝統文化親子教室」事業の意義 19. 地域展開型の認知 19-2 地域展開型との連携 19-3 地域展開型との連携先 19-4 地域展開型の未連携理由 20. 伝統文化親子教室事業専用 HP の閲覧
(4) 指導者調査 <放課後子供教室>	1. 指導している「子供教室」の分野 2. 指導している「子供教室」開催場所の地域特性 3. 「子供教室」開催場所・施設 4. 「子供教室」を知ったきっかけ 5. 参加している子供の人数（学年別） 6. 指導者の人数 7. 「子供教室」に参加したことによる子供の変化（指導者の認識） 8. 指導者からみた「子供教室」の社会における役割 9. 指導するなかで感じていること 10. 指導者の年齢 11. 指導者の性別 12. 指導者の「子供教室」での役割 13. 指導者の「子供教室」等での指導経験年数 14. 指導者からみた「子供教室」の意義 15. 「子供教室」と「伝統文化親子教室事業」との連携効果 16. 「子供教室」と「伝統文化親子教室事業」との今後の連携 17. 指導者の「子供教室」以外での教室開催の有無 17-2 指導者の「子供教室」以外での機会の提供 18. 地域展開型の認知 18-2 地域展開型との連携 18-3 地域展開型との連携先 18-4 地域展開型との未連携の理由 19. 伝統文化親子教室事業専用 HP の閲覧

3－3. 調査対象者の抽出法

◆調査対象者の抽出：親子教室実施団体を基礎に抽出

【第1段階】親子教室実施団体の抽出

- 抽出の母体の設定：第2次審査に合格した令和6年度親子教室実施団体のうち、事業の完了日が令和7年1月31日であり、小学4年生～中学3年生が参加する実施団体から500団体を抽出（「放課後子供教室」にも参加する団体を考慮し抽出）
- 抽出法：無作為抽出を基本とし、都道府県及び活動分野等が偏らないよう調整

【第2段階】第1段階で抽出した親子教室実施団体から調査対象者を抽出

- 子供調査：当該教室に参加している子供(小学4年生～中学3年生)から10名までを抽出
 - 抽出は当該教室に一任（特定の学年や性別に集中しないように依頼）
 - 10名×500団体＝5,000名
- 保護者調査：子供調査の対象となった子供の保護者（1団体あたり10名まで）
 - 集計に際しては、子供とのマッチングは図らない
 - 10名×500団体＝5,000名
- 指導者調査：当該教室の指導者から2名までを抽出
 - 抽出は、当該教室に一任
 - 2名×500団体＝1,000名
- 指導者調査＜放課後子供教室＞：当該の子供教室の指導者から2名までを抽出
 - 抽出は、当該教室に一任
 - 2名×30団体＝60名

3－4. 調査票（質問紙）

- 調査票の素案を作成し、『調査研究委員会』において検討（大幅に変更する場合のみ）
- 調査票確認のため調査研究委員会委員から助言を仰ぐ（大幅に変更する場合のみ）
- 各調査票は別添のとおり

3－5. 調査系統と調査の方法

- 伝統文化親子教室事業 事務局から調査対象団体の代表者に調査を依頼

〔内容物〕 依頼文書（別添のとおり）

子供調査・調査票 10部

保護者調査・調査票 10部

指導者調査・調査票 2部

指導者調査＜放課後子供教室＞・調査票 2部

返信用封筒 1部

- ・ 回答依頼・調査票の回収
 - (1) 子供調査：教室開催時に調査対象の子供に記入を依頼 → 回収
 - (2) 保護者調査：子供を通して記入を依頼 → 子供を通して回収
 - (3) 指導者調査：指導者が記入
 - (4) 指導者調査＜放課後子供教室＞：指導者が記入
- ・ 調査対象団体において（１）～（４）の調査票を取りまとめ、
各調査票に「団体コード」を記入
- ・ 調査対象団体の代表者は、回収した調査票を返信用封筒に封入し提出

３－６．調査票の作成実務及び検票作業・データの入力・集計作業

◆作業の役割分担

- ・ 調査票の作成実務 ： 素案の作成 → 株式会社ＫＢＣ
- ・ 調査票検票作業 ： 株式会社ＫＢＣ
- ・ データの入力 ： 株式会社ＫＢＣ
- ・ データの集計・分析 ： 素案の作成 → 株式会社ＫＢＣ
 確認・助言 → 調査研究委員会

３－７．集計計画及び結果報告の方針

◆集計計画

調 査	集 計 計 画
(1) 子供調査	単純集計 クロス集計：子供の学年別、子供の性別、教室の分野別、他
(2) 保護者調査	単純集計 クロス集計：子供の学年別、子供の性別、教室の分野別、他
(3) 指導者調査	単純集計 クロス集計：教室の分野別、指導者の年齢別、指導者の性別、他
(4) 指導者調査 ＜放課後子供教室＞	単純集計 クロス集計：教室の分野別、指導者の年齢別、指導者の性別、他

◆結果報告の方針

- ・ 方針：単純集計結果を中心に報告、クロス集計結果で補足
図表中心（可能な限り、グラフ化）、結果について短く解説

3-8. スケジュール

- ・ 調査計画の立案 : 9 月
- ・ 調査計画／調査票の素案検討 : 9 月
- ・ 調査対象の抽出・選定・確定 : 9 月下旬
- ・ 調査票の確定 : 9 月下旬
- ・ 調査票の印刷 : 9 月 27 日
- ・ 調査票の発送・調査の依頼 : 10 月 25 日
- ・ 調査の実施 : 10 月 25 日～12 月 6 日
- ・ 調査票の回収期限 : 12 月 6 日 ※回収済から順次、検票・入力
- ・ 調査票の検票・データ入力の完了 : 12 月 9 日～1 月上旬
- ・ データクリーニング・集計 : 1 月中旬～2 月上旬
- ・ 集計結果アウトプット完了 : 2 月上旬
- ・ 集計結果の分析・報告書草案検討 : 2 月上旬～2 月中旬
- ・ 報告書執筆 : 2 月中旬～2 月下旬
- ・ 報告書原稿脱稿 : 3 月上旬
- ・ 報告書編集 : 3 月中旬～3 月下旬
- ・ 報告書文化庁提出 : 3 月下旬

4. 伝統文化親子教室調査研究の専門家意見聴取

(1) 専門家意見聴取

伝統文化親子教室の事業成果に関する調査の客観的意見を頂くため、
専門家へ報告書データを送付し意見を頂くこととする。

(2) 委員名簿

菊 池 健 策	元文化庁文化財部伝統文化課 主任文化財調査官
星 野 紘	東京文化財研究所名誉研究員
小 松 弥 生	東京国立近代美術館館長

(3) 委員への意見聴取スケジュール

- ◆ 委員の委嘱 令和 7 年 1 月
- ◆ 委員へ意見聴取 令和 7 年 3 月上旬 ※報告書を送付
- ◆ 委員への聴取方法 郵送、E-mail、電話等

令和6年10月25日

伝統文化親子教室実施団体

代 表 者 殿

伝統文化親子教室事業 事務局

「伝統文化親子教室 子供たちの意識・行動に関する調査」の 実施について（依頼）

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和6年度伝統文化親子教室につきましては、計画に沿ってお進めいただいておりますことと存じます。親子教室事業の目的達成に向けてのご尽力に感謝申し上げます。

さて当事務局は、今年度、文化庁から「伝統文化親子教室事業」業務を委託され、このたび、「伝統文化親子教室 子供たちの意識・行動に関する調査」を実施することになりました。この調査のねらいは、伝統文化親子教室事業を通じて子供たちが計画的・継続的に伝統文化を体験・修得したことで、子供たちの伝統文化への意識や行動がどのように変化したかを調査し、親子教室の実施成果を把握することです。調査の対象は、教室に参加されている「子供」とその「保護者」、そして教室の「指導者」の3者であり、調査の実施については、令和6年度伝統文化親子教室実施団体の中から約500団体を無作為に抽出させていただき、調査票の配布・回収にご協力をいただくことにいたしました。

目下、このような計画にて調査を進めておりますが、このたび、調査にご協力いただく団体を抽出しましたところ、貴団体が、協力団体としてリストにあげてまいりました。

ご協力をいただきたいことは、「別紙」に記させていただいております。詳細は、そちらをご参照いただきたく存じますが、「子供」「保護者」「指導者」のそれぞれに調査票を配布し、記入をお願いしていただき、その後、これらを回収、取りまとめの上、ご返送いただきたいということが概略でございます。返送の期限は、令和6年12月6日（金）までとしております。なお、回収された調査票は集計し、報告書にまとめることとしております。

貴殿におかれましては、伝統文化親子教室の実施にご尽力いただいているところ、ご面倒な調査をお願いし申し訳ございませんが、この調査の趣旨にご理解を賜り、調査の実施にご協力くださるようお願い申し上げます。

伝統文化親子教室事業 事務局（株式会社KBC内）

〒135-0062 東京都江東区東雲 1-7-12 KDX 豊洲グランスクエア 3 階

TEL：0570-666-133／FAX：03-6730-6029

E-mail：oyakokyoshitsu@gp.knt.co.jp

【お問い合わせ対応時間：平日 10:00～17:00（土日祝及び年末年始休み）】

別紙

「親子教室」の代表者の方にご協力いただきたいこと

1. 調査の種類

- ① 親子教室に参加している子供にお願いする質問紙調査（「子供調査」）
- ② 親子教室に子供を参加させている保護者にお願いする質問紙調査（「保護者調査」）
- ③ 親子教室の指導者にお願いする質問紙調査（「指導者調査」）

2. 調査対象者の抽出

① 「子供調査」

親子教室に参加している子供の中から、小学校4年生から中学校3年生までの子供10名までを選んでください。

子供を選ぶときは、特定の学年や性別に集中しないようにしてください。

※参加している子供が、特定の学年や性別に偏っている場合は、その中から10名までを選んでください。

② 「保護者調査」

「子供調査」の対象となった子供の保護者（10名）にお願いしてください。

兄弟、姉妹が対象となる場合は、まとめて回答せず、子供1名に対して保護者1名の回答となるようお願いしてください。複数の子供に同じ保護者が回答することになっても構いません。

③ 「指導者調査」

親子教室の指導者の中から2名までを選んでください。

※指導者が1名の場合は、1名のみで結構です。

3. 調査の流れ（調査票の配布・回収・提出）

（1）調査対象の「親子教室」の代表者あてに調査を依頼します。

以下4点の資料をお送りします。

- 「子供調査・調査票」 10部
- 「保護者調査・調査票」 10部
- 「指導者調査・調査票」 2部
- 返信用封筒 1部

（2）「親子教室」の代表者は、それぞれの調査票を配布し、記入をお願いしてください。

そして記入の終わった調査票を回収してください。

※複数の団体により構成された実行委員会の場合、実行委員会から各構成団体へ配布してください。

① 「子供調査」

教室開催時などに、調査対象の子供に「子供調査・調査票」の記入をお願いし、調査票を回収してください。

② 「保護者調査」

「子供調査」の調査対象となった子供に、「保護者調査・調査票」を持たせて保護者に記入をお願いし、子供を通して調査票を回収してください。

③ 「指導者調査」

指導者に「指導者調査・調査票」の記入をお願いし、調査票を回収してください。

(3) 「親子教室」の代表者は、調査票回収後に、当事務局からの通知等に記されている「団体コード」を、すべての調査票に記入してください。

(4) 「親子教室」の代表者は、回収した調査票を取りまとめて、同封の返信用封筒を用いて、令和6年12月6日（金）までに、返送してください。

※ 「親子教室」の開催日程の都合により、令和6年12月6日（金）を過ぎて返送となる場合は、事前に伝統文化親子教室事業 事務局までご連絡ください。

令和6年10月25日

伝統文化親子教室実施団体

代 表 者 殿

伝統文化親子教室事業 事務局

「伝統文化親子教室 子供たちの意識・行動に関する調査」の 実施について（依頼）

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

令和6年度伝統文化親子教室につきましては、計画に沿ってお進めいただいておりますことと存じます。親子教室事業の目的達成に向けてのご尽力に感謝申し上げます。

さて当事務局は、今年度、文化庁から「伝統文化親子教室事業」業務を委託され、このたび、「伝統文化親子教室 子供たちの意識・行動に関する調査」を実施することになりました。この調査のねらいは、伝統文化親子教室事業を通じて子供たちが計画的・継続的に伝統文化を体験・修得したことで、子供たちの伝統文化への意識や行動がどのように変化したかを調査し、親子教室の実施成果を把握することであり、調査の対象は、教室に参加されている「子供」とその「保護者」、そして教室の「指導者」の3者であり、調査の実施については、令和6年度伝統文化親子教室実施団体の中から約500団体を無作為に抽出させていただき、調査票の配布・回収にご協力をいただくことにいたしました。

目下、このような計画にて調査を進めておりますが、このたび、調査にご協力いただく団体を抽出しましたところ、貴団体が、協力団体としてリストにあがってまいりました。

ご協力をいただきたいことは、「別紙」に記させていただいております。詳細は、そちらをご参照いただきたく存じますが、「子供」「保護者」「指導者」のそれぞれに調査票を配布し、記入をお願いしていただき、その後、これらを回収、取りまとめの上、ご返送いただきたいということが概略でございます。返送の期限は、令和6年12月6日（金）までとしております。なお、回収された調査票は集計し、報告書にまとめることとしております。

また、「放課後子供教室」と連携した取組を実施している場合は、同様に「指導者」の方に調査票の配布、記入をお願いしていただき、回収、取りまとめの上、ご返送をお願い申し上げます。返送の期限は、同様に令和6年12月6日（金）までとしております。

貴殿におかれましては、伝統文化親子教室の実施にご尽力いただいているところ、ご面倒な調査をお願いし申し訳ございませんが、この調査の趣旨にご理解を賜り、調査の実施にご協力くださるようお願い申し上げます。

伝統文化親子教室事業 事務局（株式会社KBC内）

〒135-0062 東京都江東区東雲 1-7-12 KDX 豊洲グランスクエア 3階

TEL：0570-666-133／FAX：03-6730-6029

E-mail：oyakokyoshitsu@gp.knt.co.jp

【お問い合わせ対応時間：平日 10:00～17:00（土日祝及び年末年始休み）】

「親子教室」の代表者の方にご協力いただきたいこと

1. 調査の種類

- ① 親子教室に参加している子供にお願いする質問紙調査（「子供調査」）
- ② 親子教室に子供を参加させている保護者にお願いする質問紙調査（「保護者調査」）
- ③ 親子教室の指導者にお願いする質問紙調査（「指導者調査」）
- ④ 「放課後子供教室」と連携した取組における指導者にお願いする質問紙調査（「指導者調査＜放課後子供教室＞」）

2. 調査対象者の抽出

① 「子供調査」

親子教室に参加している子供の中から、小学校4年生から中学校3年生までの子供10名までを選んでください。

子供を選ぶときは、特定の学年や性別に集中しないようにしてください。

※参加している子供が、特定の学年や性別に偏っている場合は、その中から10名までを選んでください。

② 「保護者調査」

「子供調査」の対象となった子供の保護者（10名）にお願いしてください。

兄弟、姉妹が対象となる場合は、まとめて回答せず、子供1名に対して保護者1名の回答となるようお願いしてください。複数の子供に同じ保護者が回答することになっても構いません。

③ 「指導者調査」

親子教室の指導者の中から2名までを選んでください。

※指導者が1名の場合は、1名のみで結構です。

④ 「指導者調査＜放課後子供教室＞

上記③と同様に、指導者の中から2名までを選んでください。

※指導者が1名の場合は、1名のみで結構です。

3. 調査の流れ（調査票の配布・回収・提出）

（１）調査対象の「親子教室」の代表者あてに調査を依頼します。

以下５点の資料をお送りします。

- ・「子供調査・調査票」 １０部
- ・「保護者調査・調査票」 １０部
- ・「指導者調査・調査票」 ２部
- ・「指導者調査＜放課後子供教室＞・調査票」 ２部
- ・返信用封筒 １部

（２）「親子教室」の代表者は、それぞれの調査票を配布し、記入をお願いしてください。

そして記入の終わった調査票を回収してください。

※複数の団体により構成された実行委員会の場合、実行委員会から各構成団体へ配布してください。

① 「子供調査」

教室開催時などに、調査対象の子供に「子供調査・調査票」の記入をお願いし、調査票を回収してください。

② 「保護者調査」

「子供調査」の調査対象となった子供に、「保護者調査・調査票」を持たせて保護者に記入をお願いし、子供を通して調査票を回収してください。

③ 「指導者調査」

指導者に「指導者調査・調査票」の記入をお願いし、調査票を回収してください。

④ 「指導者調査＜放課後子供教室＞」の記入をお願いし、調査票を回収してください。

（３）「親子教室」の代表者は、調査票回収後に、当事務局からの通知等に記されている

「団体コード」を、すべての調査票に記入してください。

（４）「親子教室」の代表者は、回収した調査票を取りまとめて、同封の返信用封筒を用いて、

令和６年１２月６日（金）までに、返送してください。

※ 「親子教室」「放課後子供教室」の開催日程の都合により、
令和６年１２月６日（金）を過ぎて返送となる場合は、
事前に伝統文化親子教室事業 事務局までご連絡ください。